

就学前児童のいる世帯を対象としたニーズ調査

1. 調査の概要

(1) 目的

事業計画策定の基礎データとして、就学前児童のいる世帯の子育てに関する生活実態や潜在ニーズ等を把握すること。

(2) 調査対象と回収サンプル数：

○住民基本台帳から無作為に抽出した、就学前児童（5歳以下）の保護者 15,000人

○回収数：5,394件（回収率 36.0%）

(3) 調査手法：

郵送アンケート調査（郵送発送、郵送回収）。また、ウェブアンケートフォームでも回答を受け付けた。

(4) 調査期間：

令和5年12月11日（調査票発送）～令和6年1月5日（回収締切、当日消印有効）

調査結果の凡例

○<SA> シングルアンサー（単一回答）

○<MA> マルチアンサー（複数回答）

○<IN> 数値記述回答

○N サンプルサイズ

注記

○サンプルサイズ N は、注記のない限り、非該当者（その設問に答える必要のない方）を除いた数であるため、回収数以下になる。

○不明は、未回答（未記入）などで回答内容が不明であることを示す。

○割合は原則として、児童の属性を示す設問については回答不明者を含めて集計し、それ以外は回答不明者を除いて集計している。なお、回答不明者を除いて集計している場合は図表タイトルに「※不明除く」と表記している。

○マルチアンサー設問<MA>では、表記の割合の合計は100%を超える。

○シングルアンサー設問<SA>に関しても、表記の割合は選択肢ごとに少数点第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

○クロス集計表の色付きのセルは、各行について濃い順に1・2・3番めに高い値であることを示している。

○中間値とはデータを小さいものから順に並べた際にちょうど中間に来る値である（データが偶数個の際は中央2データの平均値をとる）。

2. 調査結果

(1) 子どもと家族の状況

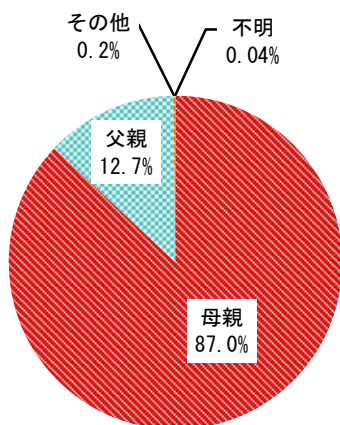
問1 この調査票にお答えいただく方はどなたですか。宛名の方（お子さん）からみた関係でお答えください。（○は1つだけ）

1. 母親 2. 父親 3. その他（ ）

問2 問1でお答えいただいた方の現在の年齢(年代)を教えてください。（○は1つだけ）

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代以上

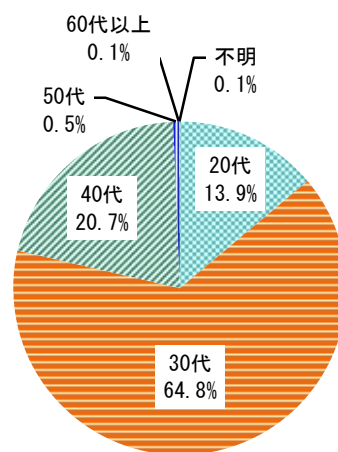
問1 回答者の宛名児童との関係<SA>
(N=5,394)



その他

- 両親 (3)
- 祖母 (3)
- 里母 (2) など

問2 回答者の年代<SA>
(N=5,394)



問3 宛名の方（お子さん）がお住まいの区はどちらですか。（○は1つだけ）

1. 中央区 2. 北区 3. 東区 4. 白石区 5. 厚別区 6. 豊平区
7. 清田区 8. 南区 9. 西区 10. 手稲区
11. 札幌市外（ ）市・町・村

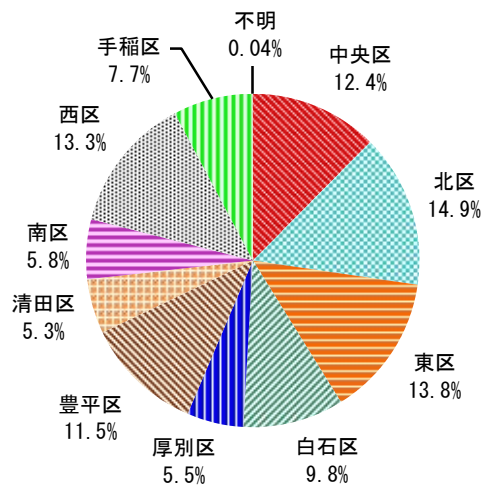
問4 宛名の方（お子さん）の生年月をご記入ください。

平成・令和□□年□□月生まれ

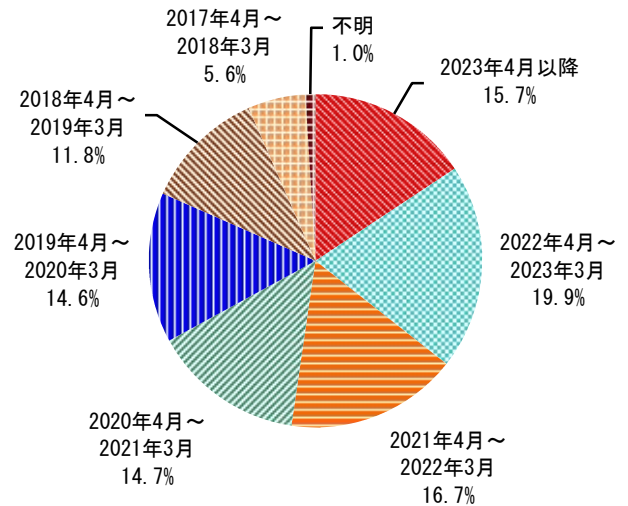
問5 宛名の方（お子さん）を含めて、お子さんは何人いますか。（数字を記入）

お子さんの人数 □人

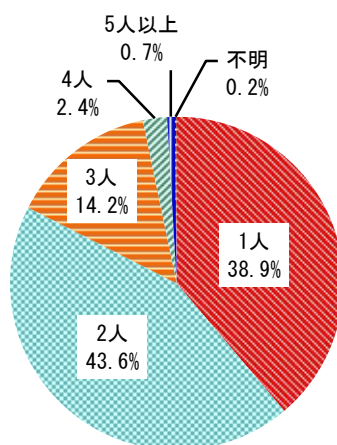
問3 居住区<SA>
(N=5,394)



問4 宛名児童の生年月日<SA>
(N=5,394)



問5 子どもの人数<IN>
(N=5,394)



最小値	1
最大値	9
平均値	1.8
中間値	2

問6 宛名の方（お子さん）の世帯は次のうちのどれに当たりますか。（○は1つだけ）

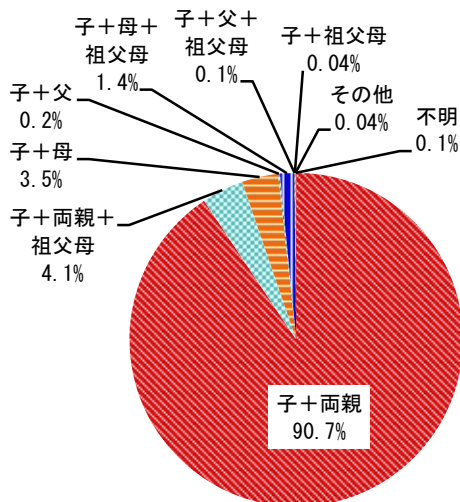
1. お子さん+ご両親（二世帯世帯）
2. お子さん+ご両親+祖父母（三世帯世帯）
3. お子さん+母親（ひとり親・二世帯世帯）
4. お子さん+父親（ひとり親・二世帯世帯）
5. お子さん+母親+祖父母（ひとり親・三世帯世帯）
6. お子さん+父親+祖父母（ひとり親・三世帯世帯）
7. お子さん+祖父母
8. その他（ ）

問7 宛名の方（お子さん）の身の回りのお世話などを主に行っているのはどなたですか。

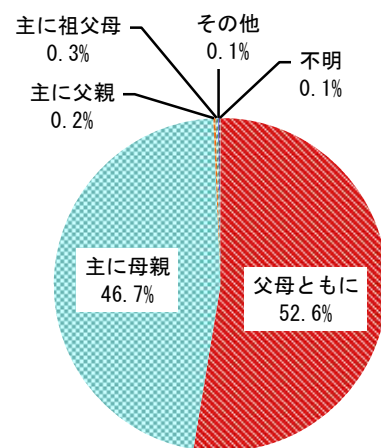
お子さんからみた関係でお答えください。（○は1つだけ）

1. 父母ともに
2. 主に母親
3. 主に父親
4. 主に祖父母
5. その他（ ）

問6 世帯構成<SA>
(N=5,394)



問7 子育ての主な担い手<SA>
(N=5,394)



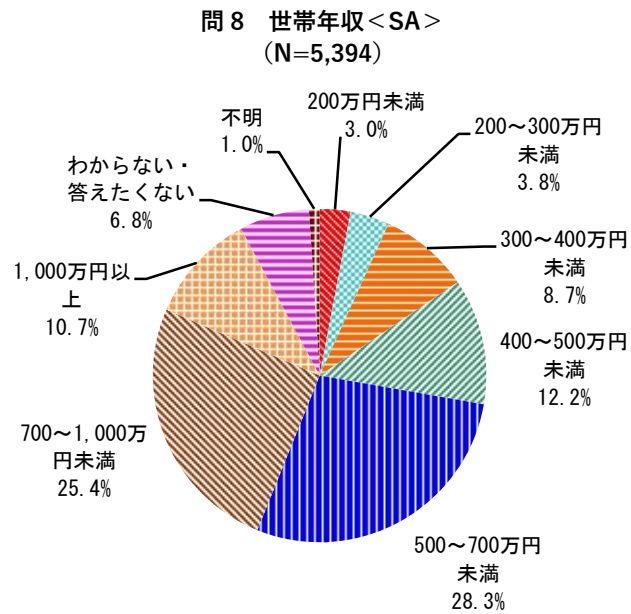
その他

- 里母
- 他人
- 未熟児のため入院中
- 姉、兄

問8 世帯の年収（税込）についてお答えください。（○は1つだけ）

※社会保険料や源泉所属税その他の控除差し引き前の総支給額

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 200万円未満 | 2. 200～300万円未満 |
| 3. 300～400万円未満 | 4. 400～500万円未満 |
| 5. 500～700万円未満 | 6. 700～1,000万円未満 |
| 7. 1,000万円以上 | 8. わからない・答えたくない |



(クロス集計表) 問 8 世帯年収～各属性別<SA>

	N	2 0 0 万円 未満	満 2 0 5 3 0 万円 未満	満 3 0 5 4 0 万円 未満	満 4 0 5 5 0 万円 未満	満 5 0 5 7 0 万円 未満	円 7 未 0 満 5 1 0 0 万円 以上	1 0 0 0 万円 以上	な わ か ら な い ・ 答 え た く	不 明
全体	5,394	3.0	3.8	8.7	12.2	28.3	25.4	10.7	6.8	1.0
問6 世帯構成										
お子さん＋ご両親 (二世帯世帯)	4,890	1.0	3.0	8.4	12.3	29.6	27.0	11.2	6.4	1.0
お子さん＋ご両親＋ 祖父母(三世帯世帯)	219	0.5	5.5	10.0	19.2	26.5	17.4	9.1	11.0	0.9
お子さん＋母/父親 (ひとり親・二世帯 世帯)	200	42.0	17.0	12.5	5.0	6.0	4.5	4.0	9.0	-
お子さん＋母/父親 ＋祖父母(ひとり 親・三世帯世帯)	78	32.1	11.5	16.7	10.3	10.3	2.6	2.6	12.8	1.3
問20 「平日の定期的な教育・保育の事業」の利用有無										
利用している	3,406	3.5	3.9	7.6	11.4	27.9	26.5	11.5	6.7	1.0
利用していない	1,979	2.1	3.5	10.6	13.8	29.1	23.4	9.4	7.0	1.1
問20-1 年間を通じて「定期的に」利用している事業										
幼稚園(通常の就園 時間の利用)	723	1.9	3.0	7.1	11.5	31.5	24.5	10.9	8.6	1.0
幼稚園一時預かり (通常の就園時間を 延長して預かる事業 ※定期的な利用の み)	233	2.6	3.0	6.9	9.0	36.5	24.0	10.3	7.3	0.4
認可保育所・公立保 育所	1,022	4.6	4.7	8.6	11.0	25.6	28.0	10.9	6.1	0.6
認定こども園	1,211	3.2	3.4	7.3	10.9	30.4	27.2	10.0	6.4	1.3
家庭的保育事業(保 育ママ)	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
小規模保育事業	115	6.1	3.5	11.3	19.1	26.1	19.1	9.6	4.3	0.9
事業所内保育事業 (認可/認可外)	37	2.7	5.4	-	13.5	29.7	29.7	13.5	5.4	-
認可外保育施設	110	4.5	5.5	5.5	8.2	10.9	26.4	30.9	7.3	0.9
企業主導型保育事業	192	4.2	4.2	6.8	12.5	19.3	27.1	19.8	6.2	-
居宅訪問型保育事業 (ベビーシッター)	4	-	25.0	25.0	-	-	-	50.0	-	-
さっぽろ子育てサ ポートセンター	13	7.7	-	23.1	23.1	15.4	23.1	-	7.7	-
その他	66	6.1	3.0	12.1	12.1	27.3	15.2	10.6	10.6	3.0

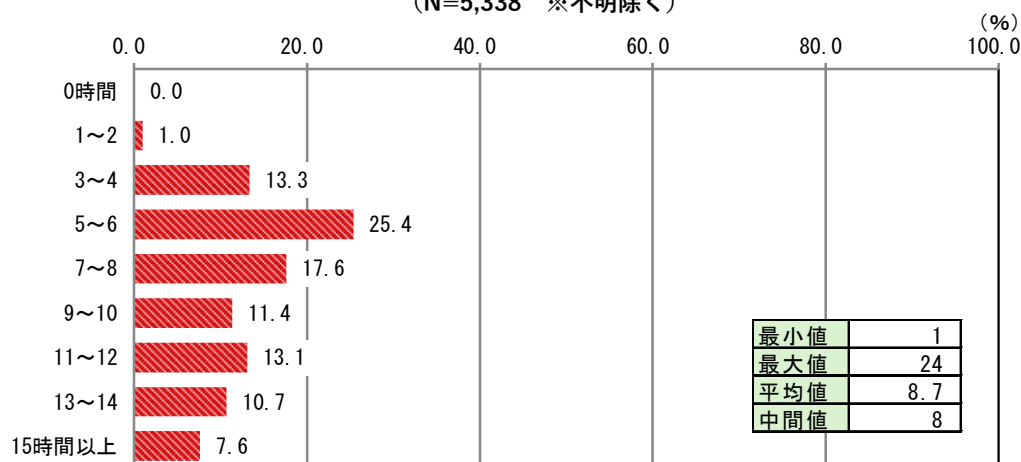
問9 平日、宛名の方（お子さん）が起きている間に、お子さんと一緒に過ごす時間は何時間くらいですか。

【母親】おおよそ □時間 【父親】おおよそ □時間

○母親が平日に子と一緒に過ごす時間は平均で8.7時間であることに對して、父親のそれは3.0時間にとどまっている。

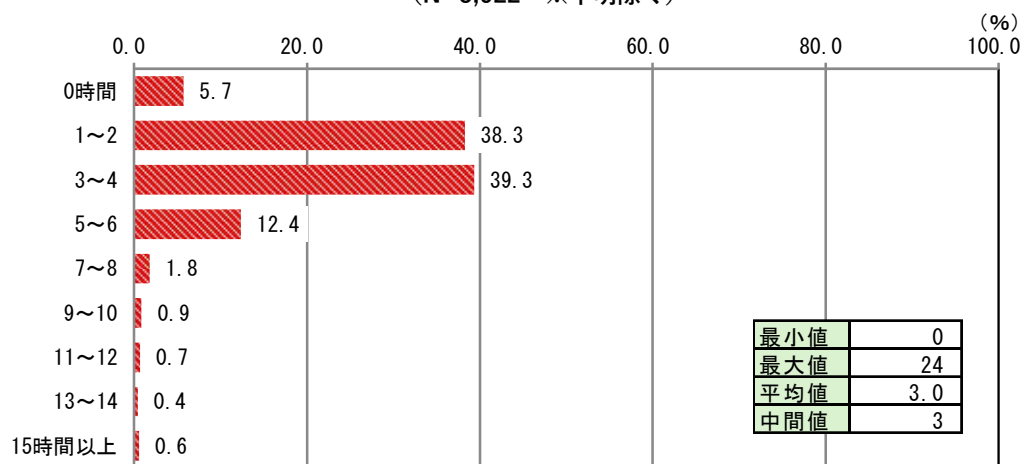
問9 母親が平日に子と一緒に過ごす時間<IN>

(N=5,338 ※不明除く)



問9 父親が平日に子と一緒に過ごす時間<IN>

(N=5,022 ※不明除く)

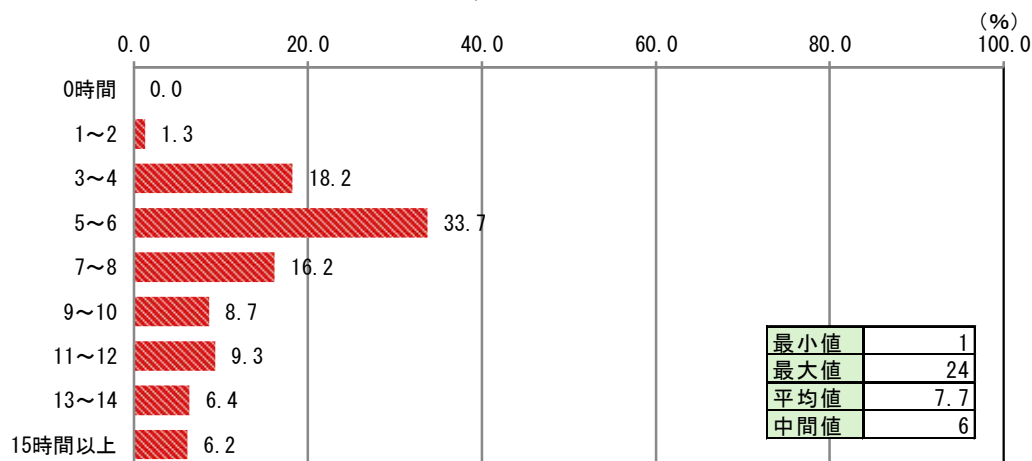


- また、就労中の親に限定して平日に子どもと過ごす時間をみると、母親は「5～6 時間」(33.7%) が最も多いのに対し、父親は「3～4 時間」(39.6%) が最も多くなっており、母親は働きながらも育児の多くを担っていることが推測される。
- 父母が子どもと過ごす時間を比較すると、母親が子どもと過ごす時間が圧倒的に多い結果となっており、依然として子育ての担い手は母親となっている現状がうかがえる（就労中の母親の平均：7.7 時間、就労中の父親の平均 3.0 時間）。

問 9 【現在就労中（育児休業等含む）の方限定】

母親が平日に子と一緒に過ごす時間＜IN＞

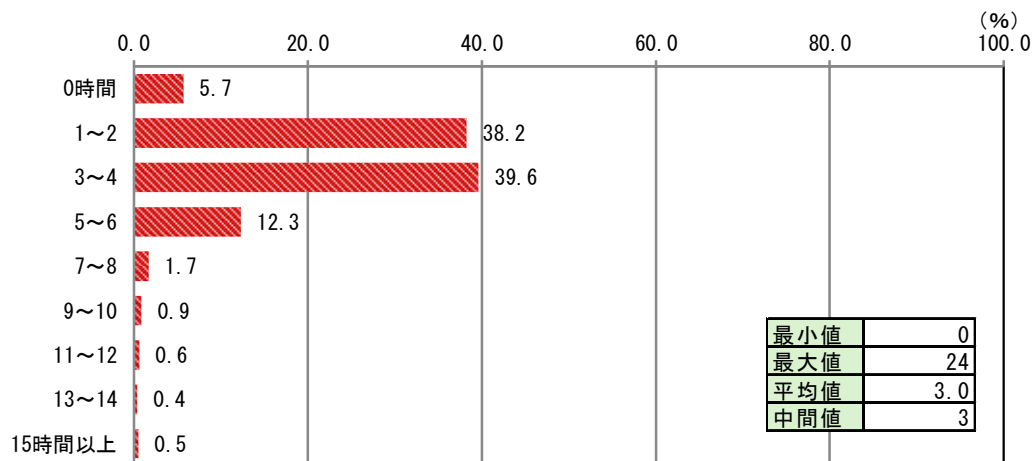
(N=3,797 ※不明除く)



問 9 【現在就労中（育児休業等含む）の方限定】

父親が平日に子と一緒に過ごす時間＜IN＞

(N=4,777 ※不明除く)

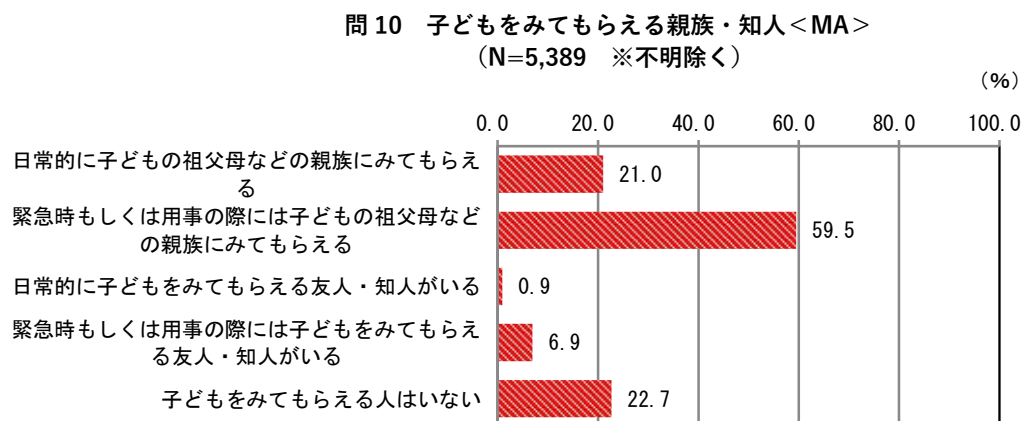


(2) 子どもの育ちをめぐる環境

問 10 日頃、宛名の方（お子さん）をみてもらえる親族・知人はいますか。（〇はいくつでも）

1. 日常的に子どもの祖父母などの親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には子どもの祖父母などの親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. 子どもをみてもらえる人はいない

○「緊急時もしくは用事の際には子どもの祖父母などの親族にみてもらえる」が 59.5%で最も多かった。「子どもをみてもらえる人はいない」との回答者は 22.7%と 2 割を超えている。



問 11 宛名の方（お子さん）の子育てをする上で、気軽に相談できる先（人や機関・場所）はどちらですか。（○はいくつでも）

1. 配偶者	2. 子どもの祖父母などの親族
3. 友人や知人	4. 近所の人
5. 子育て支援施設（児童会館等）や NPO 法人	6. 保健所・保健センター
7. 保育所などの保育士	8. 幼稚園などの教諭
9. 民生委員・児童委員	10. かかりつけの医師
11. 行政の子育て関連担当窓口	
12. その他（	）
13. 気軽に相談できる先はない	

「配偶者」が最も多く 86.4%、以下「祖父母などの親族」(72.4%)、「友人や知人」(60.4%)と続く。

問 11 子育てについて気軽に相談できる相談先<MA>
(N=5,390 ※不明除く)

相談先	割合 (%)
配偶者	86.4
子どもの祖父母などの親族	72.4
友人や知人	60.4
近所の人	3.4
子育て支援施設（児童会館等）やNPO法人	6.7
保健所・保健センター	5.1
保育所などの保育士	26.0
幼稚園の教諭	11.4
民生委員・児童委員	0.0
かかりつけの医師	8.0
行政の子育て関連担当窓口	0.7
その他	1.9
気軽に相談できる先はない	1.7

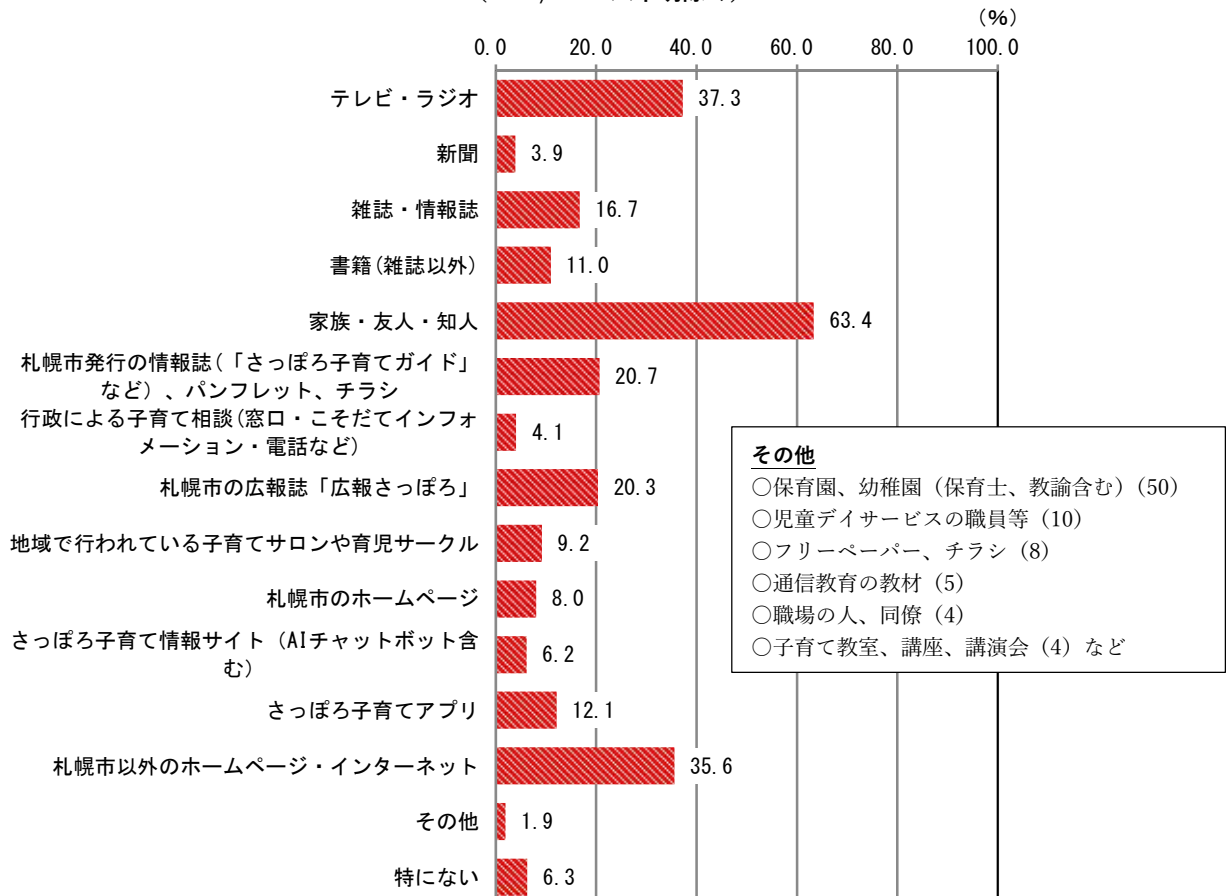
- 児童デイサービスの職員等 (49)
- 助産院、助産師、看護師、保健師 (18)
- SNS、オンラインコミュニティ (13)
- ネット上のサービス、アプリ (3)
- 職場の人 (2) など

問 12（１） 子育てや子育て支援に関する情報をどこから入手していますか。（〇はいくつでも）

1. テレビ・ラジオ
2. 新聞
3. 雑誌・情報誌
4. 書籍（雑誌以外）
5. 家族・友人・知人
6. 札幌市発行の情報誌（「さっぽろ子育てガイド」など）、パンフレット、チラシ
7. 行政による子育て相談（窓口・こそだてインフォメーション・電話など）
8. 札幌市の広報誌「広報さっぽろ」
9. 地域で行われている子育てサロンや育児サークル
10. 札幌市のホームページ
11. さっぽろ子育て情報サイト（AI チャットボット含む）
12. さっぽろ子育てアプリ
13. 札幌市以外のホームページや SNS⇒ 具体的に（ ）
14. その他（ ）
15. 特にない

○「家族・友人・知人」が最も多く挙げられた（63.4%）。以下「テレビ・ラジオ」（37.3%）、
「札幌市以外のホームページ・インターネット」（35.6%）が続く。

問 12 子育てや子育て支援情報の入手先＜MA＞
(N=5,392 ※不明除く)

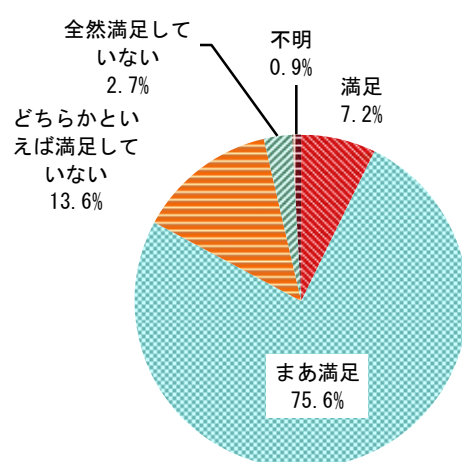


問 12 (2) 問 12 (1) で「11. さっぽろ子育て情報サイト」に○をつけた方にかがいます。 あなたは、その内容に満足していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 満足 | 2. まあ満足 |
| 3. どちらかといえば満足していない | 4. 全然満足していない |

○「さっぽろ子育てサイト」について満足している人(「満足」「まあ満足」との回答者)の割合は82.8%であった。

問 12 (2) 「さっぽろ子育て情報サイト」への満足度<SA>
(N=332)

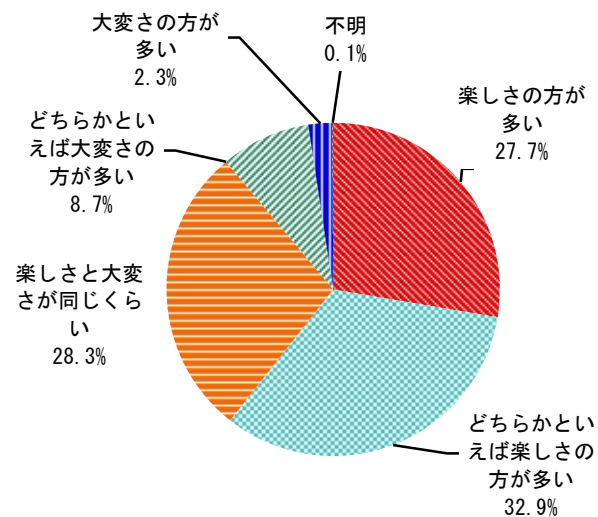


問 13 子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いですか。(〇は1つだけ)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 楽しさの方が多い | 2. どちらかといえば楽しさの方が多い |
| 3. 楽しさと大変さが同じくらい | 4. どちらかといえば大変さの方が多い |
| 5. 大変さの方が多い | |

○「楽しさの方が多い」「どちらかといえば楽しさの方が多い」と答えた人は計 60.6%で約 6割であった。「どちらかといえば大変さの方が多い」「大変さの方が多い」と答えた人は計 11.0%であった。

問 13 子育てに楽しさと大変さ、どちらを感じる人が多いか
<SA> (N=5,394)



(クロス集計表・前半) 問 13 子育てに楽しさと大変さ、
どちらを感じる人が多いか～各属性別<SA>

	N	楽し さの 方 が 多 い	さ ど ち ら か と い え ば 楽 し い	く 楽 し さ と 大 変 さ が 同 じ	さ ど ち ら か と い え ば 大 変	大 変 さ の 方 が 多 い	不 明
全体	5,394	27.7	32.9	28.3	8.7	2.3	0.1
問4 宛名児童の生年月日							
2023年4月以降	847	40.4	29.6	23.3	4.8	1.7	0.2
2022年4月～2023年3月	1,075	32.4	34.3	25.2	6.4	1.6	0.1
2021年4月～2022年3月	900	27.6	33.4	28.3	8.6	2.1	0.0
2020年4月～2021年3月	794	23.0	34.5	31.0	7.9	3.5	0.0
2019年4月～2020年3月	785	21.3	33.0	30.6	11.6	3.4	0.1
2018年4月～2019年3月	639	20.8	32.9	31.3	12.7	2.2	0.2
2017年4月～2018年3月	301	20.3	33.6	31.9	13.3	1.0	0.0
問6 世帯構成							
お子さん+ご両親 (二世帯世帯)	4,890	27.7	33.5	27.8	8.7	2.2	0.1
お子さん+ご両親+ 祖父母(三世帯世帯)	219	31.5	27.9	30.6	7.8	2.3	0.0
お子さん+母/父親 (ひとり親・二世帯 世帯)	200	19.0	28.5	36.0	10.0	5.0	0.0
お子さん+母/父親 +祖父母(ひとり 親・三世帯世帯)	78	37.2	24.4	32.1	5.1	1.3	0.0
問8 世帯年収							
200万円未満	162	22.2	30.2	28.4	13.6	5.6	0.0
200～300万円未満	204	26.0	26.5	34.8	9.3	3.4	0.0
300～400万円未満	471	28.5	30.4	29.3	9.8	2.1	0.0
400～500万円未満	660	25.6	34.4	29.2	8.5	2.3	0.0
500～700万円未満	1,528	27.6	34.4	27.0	8.6	2.4	0.1
700～1,000万円未満	1,370	29.1	34.2	27.3	7.4	1.9	0.1
1,000万円以上	577	31.7	31.4	27.6	6.9	2.3	0.2
わからない・答え たくない	367	22.9	31.9	30.8	12.0	2.2	0.3

(クロス集計表・後半) 問13 子育てに楽しさと大変さ、
どちらを感じる人が多いか～各属性別＜SA＞

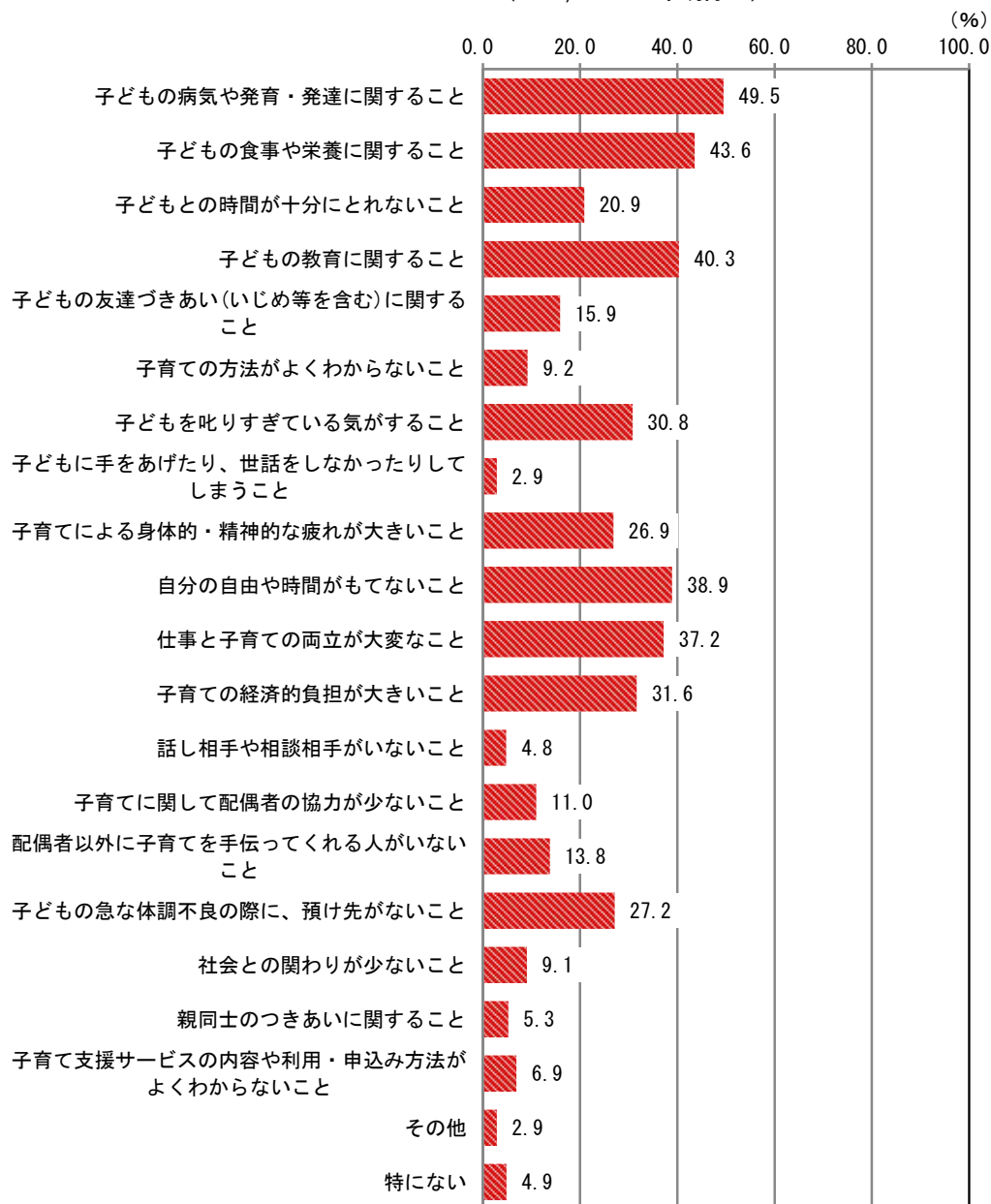
	N	楽しさの方が多い	さどちらが多い いえば楽し	く楽しさと大変さが同じ	さどちらが多い いえば大変	大変さの方が多い	不明
問10 子どもを預けることができる親族・知人							
日常的に子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	1,134	35.6	32.4	25.0	5.0	1.9	0.1
緊急時もしくは用事の際には子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	3,206	27.6	34.1	28.2	8.3	1.8	0.0
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	49	51.0	20.4	26.5	2.0	0.0	0.0
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	373	37.0	33.5	23.9	4.6	1.1	0.0
子どもをみてもらえる人はいない	1,222	21.5	31.1	31.1	12.3	3.7	0.3
問18/19 世帯の就労状況							
共働き（両方フルタイム）	2,373	32.0	33.3	25.9	7.2	1.6	0.0
共働き（片方／両方がパートタイム）	1,091	23.3	34.5	29.9	9.9	2.5	0.0
片働き（専業主婦）	1,368	24.5	32.4	30.2	9.7	2.9	0.3
片働き（専業主夫）	20	25.0	70.0	5.0	0.0	0.0	0.0
両方就労していない	75	29.3	20.0	34.7	12.0	4.0	0.0
その他	372	24.2	28.8	32.8	9.9	4.0	0.3
問20 「平日の定期的な教育・保育の事業」の利用有無							
利用している	3,406	23.7	33.4	29.8	10.3	2.7	0.1
利用していない	1,979	34.5	32.1	25.6	6.0	1.6	0.2

問 14（１） 子育てをしていて感じる悩みはどのようなことですか。（○はいくつでも）

1. 子どもの病気や発育・発達に関すること
2. 子どもの食事や栄養に関すること
3. 子どもと過ごす時間を十分にとれないこと
4. 子どもの教育に関すること
5. 子どもの友達づきあい（いじめ等を含む）に関すること
6. 子育ての方法がよくわからないこと
7. 子どもを叱りすぎている気がする
8. 子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと
9. 子育てによる身体的・精神的な疲れが大きいこと
10. 自分の自由な時間がもてないこと
11. 仕事と子育ての両立が大変なこと
12. 子育ての経済的負担が大きいこと
13. 話し相手や相談相手がいらないこと
14. 子育てに関して配偶者の協力が少ないこと
15. 配偶者以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
16. 子どもの急な体調不良の際に、預け先がないこと
17. 社会との関わりが少ないこと
18. 親同士のつきあいに関する
19. 子育て支援サービスの内容や利用・申込方法がよくわからないこと
20. その他（ ）
21. 特にな

○「子どもの病気や発育・発達に関すること」が49.5%で最も多く挙げられた。以下「子どもの食事や栄養に関すること」(43.6%)、「子どもの教育に関すること」(40.3%)、「自分の自由な時間がもてないこと」(38.9%)、「仕事と子育ての両立が大変なこと」(37.2%)と続く。

問 14 (1) 子育ての悩み
 <MA> (N=5,381 ※不明除く)



その他

- 行政等による支援が少ない・ないこと（所得制限含む）（14）
- 子どものしつけ、しかり方、接し方（13）
- 希望する保育園に入れない・入れるか不安なこと（11）
- 金銭面の負担が大きいこと（10）
- 自身・子の体調不良時の対応、預け先がないこと（10）など

(クロス集計表・前半) 問 14 (1)
子育ての悩み～各属性別＜MA＞（※不明除く）

	N	子どもの病 気や発育・ 発達に関 すること	子どもの食 事や栄養 に関する こと	子どもと の時間 が十分 に とれない こと	子ども の教育 に関す ること	（いじめ 等を含 む）に 関する こと	子ども の友 達づき あい に関 する こと	子育て の 方 法 が よ く わ か ら な い こ と	子ども が す る こ と が 多 い こ と	子ども に 手 を あ げ た り し て し ま う こ と	こ れ が 身 体 的 な 疲 れ が 大 き い こ と	自 分 の 自 由 や 時 間 が も た ない こ と	大 変 な こ と と 子 育 て の 両 立 が し 難 い こ と	子 育 て の 経 済 的 負 担 が 大 き い こ と	話 し 合 い の こ と が あ ら な い こ と	子 育 て に 関 し て 配 偶 者 と の 協 力 が あ ら な い こ と
全体	5,381	49.5	43.6	20.9	40.3	15.9	9.2	30.8	2.9	26.9	38.9	37.2	31.6	4.8	11.0	
問4 宛名児童の生年月日																
2023年4月以降	844	58.4	45.4	9.4	35.5	11.1	11.0	14.1	1.9	26.3	36.5	28.0	31.0	5.3	9.0	
2022年4月～2023年3月	1,073	50.7	52.3	18.0	34.6	11.0	10.9	19.2	1.6	28.4	45.5	36.7	34.9	5.6	11.8	
2021年4月～2022年3月	900	45.7	46.7	21.4	37.2	14.0	7.9	31.3	4.0	27.0	40.4	39.9	33.6	4.0	8.8	
2020年4月～2021年3月	791	46.6	43.7	25.3	41.8	14.7	7.8	36.2	3.0	25.4	38.8	38.6	28.4	5.3	11.3	
2019年4月～2020年3月	784	47.7	38.6	26.0	46.4	19.6	9.3	45.5	4.5	27.8	37.8	41.3	30.5	4.8	12.1	
2018年4月～2019年3月	637	49.3	35.8	25.9	48.5	24.6	8.6	42.1	2.7	26.1	33.8	38.6	30.5	4.1	12.7	
2017年4月～2018年3月	301	46.2	28.6	24.3	43.9	25.6	7.0	39.9	3.3	24.3	31.6	38.5	28.6	2.7	12.3	
問6 世帯構成																
お子さん＋ご両親 （二世帯世帯）	4,878	49.8	44.2	20.3	40.7	16.0	9.3	30.2	2.7	27.2	39.3	36.6	31.3	4.7	11.0	
お子さん＋ご両親＋ 祖父母（三世帯世帯）	219	45.2	39.7	20.5	30.6	16.9	5.5	33.3	1.8	20.5	32.4	36.1	27.4	2.3	13.2	
お子さん＋母／父親 （ひとり親・二世帯 世帯）	200	48.0	35.5	37.5	42.0	13.0	9.5	44.0	8.0	28.5	41.0	53.0	43.5	11.0	10.0	
お子さん＋母／父親 ＋祖父母（ひとり 親・三世帯世帯）	78	48.0	35.5	37.5	42.0	13.0	9.5	44.0	8.0	28.5	41.0	53.0	43.5	11.0	10.0	
問8 世帯年収																
200万円未満	162	51.2	42.6	25.9	34.6	13.6	16.0	38.3	7.4	30.9	43.2	45.1	50.6	11.7	11.7	
200～300万円未満	204	48.0	38.2	23.5	36.3	14.2	9.3	27.9	4.4	25.0	32.4	35.3	46.1	4.9	14.7	
300～400万円未満	471	52.2	46.5	15.9	41.0	14.4	9.8	29.3	5.3	28.7	38.6	32.7	42.0	5.5	13.4	
400～500万円未満	658	53.0	45.0	16.9	38.3	16.0	9.1	30.2	2.9	28.3	38.9	32.2	41.2	5.8	11.7	
500～700万円未満	1,526	49.3	44.5	20.5	39.1	15.8	9.4	31.3	2.6	25.0	39.6	35.8	31.3	4.8	10.4	
700～1,000万円未満	1,367	49.4	44.7	24.7	42.9	18.3	9.7	31.2	2.5	27.4	38.6	43.8	26.5	3.7	9.5	
1,000万円以上	574	47.0	34.3	21.4	44.1	12.4	5.7	27.0	1.6	26.8	41.5	40.4	18.8	3.5	11.8	
わからない・答え たくない	366	45.6	45.9	17.5	37.2	15.3	9.0	34.2	1.9	26.8	35.8	27.0	26.2	5.2	11.5	
問10 子どもを預けることができる親族・知人																
日常的に子どもの祖 父母などの親族に みてもらえる	1,131	51.2	47.2	18.5	39.5	14.3	9.2	25.9	2.7	21.0	31.5	33.2	29.0	1.6	8.8	
緊急時もしくは用 事の際には子ども の祖父母などの 親族にみてもら える	3,198	49.4	42.9	22.0	40.5	15.7	8.5	30.6	2.6	26.7	38.9	39.3	31.5	3.3	10.3	
日常的に子どもを みてもらえる友 人・知人がいる	49	42.9	44.9	16.3	36.7	20.4	6.1	22.4	－	14.3	20.4	26.5	28.6	－	4.1	
緊急時もしくは用 事の際には子ども をみてもらえる 友人・知人が いる	371	45.6	36.9	16.4	37.5	16.7	6.2	28.8	3.0	19.9	30.5	28.8	28.8	1.6	8.1	
子どもをみてもら える人はいない	1,220	50.5	45.6	21.3	42.1	18.3	11.3	34.8	3.8	31.1	45.1	35.8	34.2	11.2	14.8	
問18/19 世帯の就労状況																
共働き（両方フル タイム）	2,369	48.8	43.6	30.2	41.2	13.9	8.8	28.2	2.1	25.1	39.4	52.3	32.0	3.3	8.9	
共働き（片方／両 方がパートタイ ム）	1,087	48.6	38.8	17.0	41.5	18.0	8.9	34.9	3.5	27.2	38.2	39.1	35.1	4.4	13.6	
片働き（専業主 婦）	1,366	51.8	49.2	5.5	38.2	17.1	9.9	30.5	2.9	30.5	39.2	7.6	25.9	7.0	12.2	
片働き（専業主 夫）	20	50.0	45.0	40.0	30.0	10.0	10.0	20.0	－	5.0	50.0	40.0	45.0	－	5.0	
両方就労してい ない	74	51.4	41.9	10.8	41.9	17.6	10.8	29.7	5.4	37.8	36.5	18.9	32.4	12.2	17.6	
その他	370	48.4	35.9	33.8	41.4	16.5	10.5	37.3	5.4	23.8	38.1	54.9	41.1	6.5	10.8	

(クロス集計表・後半) 問 14 (1)
子育ての悩み～各属性別<MA> (※不明除く)

	N	な い こ と	手 伝 つ て く れ る 子 人 が い を	配 偶 者 以 外 に 子 育 て い を	こ と に 、 預 け な 先 が 不 良	子 ど も の 急 な 体 調 不 良	い こ と の 関 わ り が 少 な	社 会 と の 関 わ り が 少 な	す 親 同 士 の つ き あ い に 関	と 法 が よ く わ か ら な い こ 方	内 容 や 支 援 サ ー ビ ス の 申 込 み 方	子 育 て に 関 連 し た お 悩 み	そ の 他	特 に な い
全体	5,381	13.8	27.2	9.1	5.3	6.9	2.9	4.9						
問4 宛名児童の生年月日														
2023年4月以降	844	10.7	17.7	13.0	4.7	8.8	2.3	7.6						
2022年4月～2023年3月	1,073	14.5	25.9	13.4	4.2	7.8	3.1	4.8						
2021年4月～2022年3月	900	14.7	28.9	7.4	5.0	9.1	3.7	3.8						
2020年4月～2021年3月	791	14.0	30.1	6.4	5.4	5.6	2.3	4.3						
2019年4月～2020年3月	784	15.2	33.0	7.1	5.0	5.2	2.4	3.3						
2018年4月～2019年3月	637	12.6	27.8	6.1	6.4	3.8	3.0	4.6						
2017年4月～2018年3月	301	15.9	27.9	5.6	8.6	6.3	3.7	7.3						
問6 世帯構成														
お子さん＋ご両親 (二世帯世帯)	4,878	14.8	27.4	9.2	5.2	6.7	2.8	4.8						
お子さん＋ご両親＋ 祖父母(三世帯世帯)	219	2.7	13.2	8.7	4.1	9.6	1.8	5.9						
お子さん＋母/父親 (ひとり親・二世帯 世帯)	200	5.5	43.5	7.0	8.5	11.0	5.0	4.5						
お子さん＋母/父親 ＋祖父母(ひとり 親・三世帯世帯)	78	5.5	43.5	7.0	8.5	11.0	5.0	4.5						
問8 世帯年収														
200万円未満	162	11.1	33.3	8.6	7.4	10.5	3.1	4.9						
200～300万円未満	204	9.3	24.5	6.4	5.4	12.3	3.9	6.9						
300～400万円未満	471	9.8	22.3	9.1	7.0	7.2	1.5	3.8						
400～500万円未満	658	14.1	27.7	10.9	5.6	8.4	3.3	4.0						
500～700万円未満	1,526	14.0	26.9	9.4	4.7	6.4	2.6	4.7						
700～1,000万円未満	1,367	15.7	27.8	8.6	4.7	5.6	3.0	4.6						
1,000万円以上	574	16.4	31.4	7.8	4.2	5.7	4.7	5.2						
わからない・答え たくない	366	10.1	22.7	9.8	7.1	7.9	1.6	7.7						
問10 子どもを預けることができる親族・知人														
日常的に子どもの祖 父母などの親族にみ てもらえる	1,131	0.4	7.7	8.8	6.4	6.8	2.8	7.0						
緊急時もしくは用事 の際には子どもの祖 父母などの親族にみ てもらえる	3,198	5.7	22.1	8.3	5.3	6.4	2.7	4.8						
日常的に子どもをみ てもらえる友人・知 人がいる	49	2.0	12.2	2.0	-	8.2	-	16.3						
緊急時もしくは用事 の際には子どもをみ てもらえる友人・知 人がいる	371	7.5	23.2	5.9	3.8	5.4	3.2	9.2						
子どもをみてもらえ る人はいない	1,220	43.9	53.1	11.6	4.6	8.6	3.7	2.6						
問18/19 世帯の就労状況														
共働き(両方フルタ イム)	2,369	13.7	29.7	5.7	4.3	6.5	3.0	4.3						
共働き(片方/両方 がパートタイム)	1,087	14.4	33.3	4.3	4.5	5.8	2.5	4.8						
片働き(専業主婦)	1,366	15.5	17.9	19.0	6.8	7.6	2.8	5.5						
片働き(専業主夫)	20	10.0	5.0	-	5.0	-	5.0	15.0						
両方就労していない	74	10.8	31.1	16.2	10.8	9.5	2.7	9.5						
その他	370	8.9	31.6	6.2	5.9	10.3	3.5	3.5						

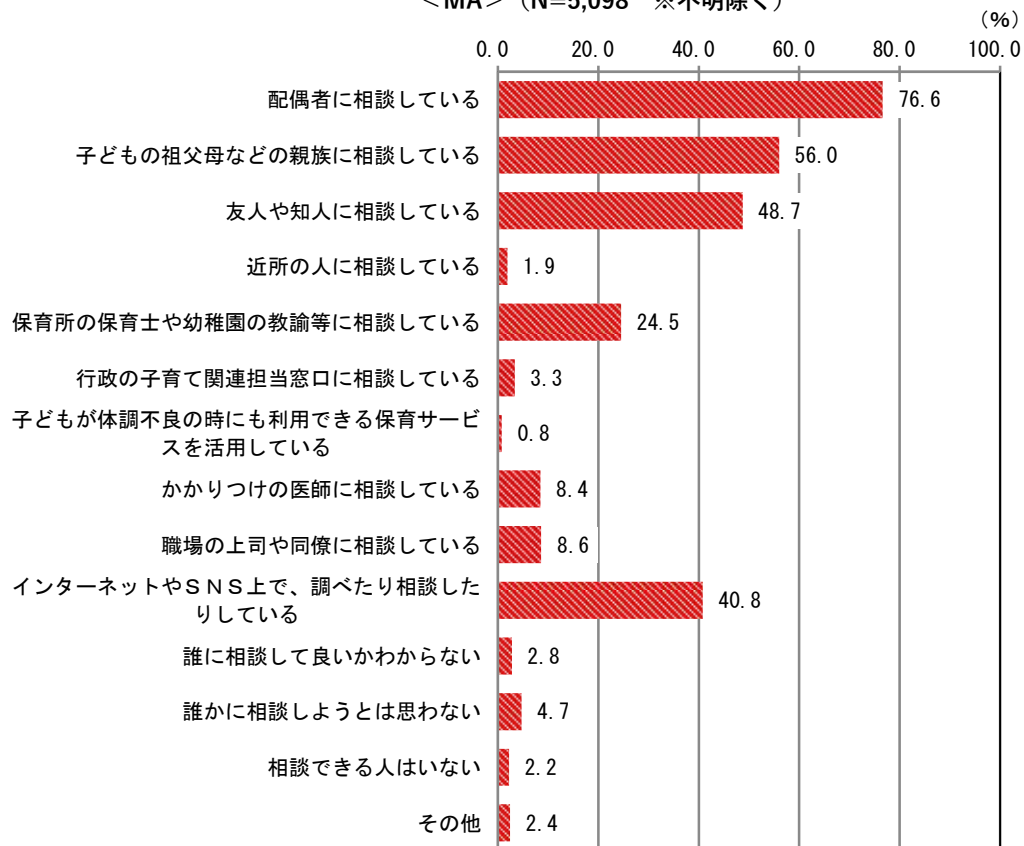
問 14 (2) 問 14 (1) で「1」～「20」(悩みがある)に○をつけた方にうかがいます。

あなたが子育てをされていて感じる悩みについて、解決する方法はありますか。あなたが、今の時点で行っていることがあれば教えてください。(○はいくつでも)

1. 配偶者に相談している
2. 子どもの祖父母などの親族に相談している
3. 友人や知人に相談している
4. 近所の人に相談している
5. 保育所の保育士や幼稚園の教諭等に相談している
6. 行政の子育て関連担当窓口相談している
7. 子どもが体調不良の時にも利用できる保育サービスを活用している
8. かかりつけの医師に相談している
9. 職場の上司や同僚に相談している
10. インターネットやSNS上で、調べたり相談したりしている
11. 誰に相談して良いかわからない
12. 誰かに相談しようとは思わない
13. 相談できる人はいない
14. その他 ()

- 「配偶者に相談している」が76.6%で最も多く挙げられた。以下「子どもの祖父母などの親族に相談している」(56.0%)、「友人や知人に相談している」(48.7%)、「インターネットやSNS上で、調べたり相談したりしている」(40.8%)と続く。

問 14 (2) 子育ての悩みの解決方法
 <MA> (N=5,098 ※不明除く)



その他

- 解決できない、我慢する、気にしないようにする (30)
- 児童デイサービスのスタッフに相談 (20)
- 子どもの祖父母以外の親族に相談する (6)
- 子育てサロンで相談する (4)
- 書籍を読む (3)
- 助産院で相談する (3)
- 職場の人に相談する (3) など

(クロス集計表) 問 14 (2) 子育ての悩みの相談先～各属性別<MA> (※不明除く)

	N	配偶者	親族 子どもの 祖父母 などの	友人や 知人	近所 の人	子育て 支援施設 (児童 会館等) やNPO 法人	保健所・ 保健セン ター	保育所な どの保育 士	幼稚園 の教諭	民生委員 ・児童委員	かかりつ けの医師	行政の 子育て 関連担 当	その他	気軽 に相談 できる 先は
全体	5,390	86.4	72.4	60.4	3.4	6.7	5.1	26.0	11.4	0.0	8.0	0.7	1.9	1.7
問4 宛名児童の生年月日														
2023年4月以降	847	90.8	81.9	62.0	1.9	6.5	10.7	9.9	2.6	-	10.0	0.9	1.7	0.9
2022年4月～2023年3月	1,074	87.3	76.4	61.2	3.1	9.5	7.4	24.0	3.3	-	8.3	0.4	1.7	1.3
2021年4月～2022年3月	900	87.8	72.6	58.6	3.4	8.3	3.7	36.9	5.2	0.1	8.4	1.0	1.1	2.2
2020年4月～2021年3月	793	87.3	71.8	60.7	2.9	5.7	2.3	31.8	12.1	0.1	5.7	0.4	1.4	1.4
2019年4月～2020年3月	784	84.4	65.6	62.5	4.2	3.8	3.8	28.8	22.1	-	7.9	0.8	1.7	1.8
2018年4月～2019年3月	639	81.7	66.0	57.7	4.4	5.6	2.7	26.1	24.6	-	7.8	0.6	3.9	1.3
2017年4月～2018年3月	301	79.4	65.8	58.5	4.3	4.3	2.0	24.9	26.2	-	7.0	0.7	3.7	4.0
問20 「平日の定期的な教育・保育の事業」の利用有無														
利用している	3,403	84.4	68.1	60.4	4.0	4.2	3.6	38.5	16.0	0.1	8.1	0.6	2.0	1.9
利用していない	1,978	89.8	79.7	60.6	2.3	11.0	7.8	4.8	3.5	-	7.8	0.7	1.7	1.3
問20-1 年間を通じて「定期的に」利用している事業														
幼稚園(通常の就園時間の利用)	721	87.9	67.8	63.0	6.5	5.5	2.5	5.3	39.5	-	6.7	0.4	2.1	1.7
幼稚園一時預かり (通常の就園時間を 延長して預かる事業 ※定期的な利用の み)	232	86.6	65.9	65.5	5.2	4.7	2.2	9.1	43.1	-	6.9	-	1.7	1.3
認可保育所・公立保育所	1,022	82.2	69.5	60.5	3.1	3.5	4.4	54.2	3.6	0.1	8.8	0.4	1.6	1.7
認定こども園	1,210	84.8	66.0	59.5	3.6	3.3	3.1	41.5	17.3	0.1	8.7	0.7	2.4	2.1
家庭的保育事業(保育ママ)	1	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-
小規模保育事業	115	83.5	72.2	55.7	4.3	3.5	7.8	47.8	7.0	-	7.8	0.9	3.5	1.7
事業所内保育事業 (認可/認可外)	37	89.2	86.5	62.2	8.1	2.7	8.1	37.8	5.4	-	-	-	-	-
認可外保育施設	110	77.3	69.1	53.6	1.8	1.8	6.4	46.4	10.9	-	13.6	1.8	1.8	5.5
企業主導型保育事業	192	83.3	70.3	64.1	2.1	5.2	4.2	60.9	4.7	-	7.8	1.0	1.0	1.6
居宅訪問型保育事業 (ベビーシッター)	4	75.0	50.0	75.0	25.0	-	25.0	50.0	50.0	-	50.0	-	25.0	25.0
さっぽろ子育てサ ポートセンター	13	84.6	76.9	23.1	7.7	30.8	-	23.1	30.8	-	7.7	7.7	7.7	-
その他	66	81.8	66.7	54.5	6.1	28.8	10.6	22.7	27.3	-	16.7	4.5	21.2	1.5

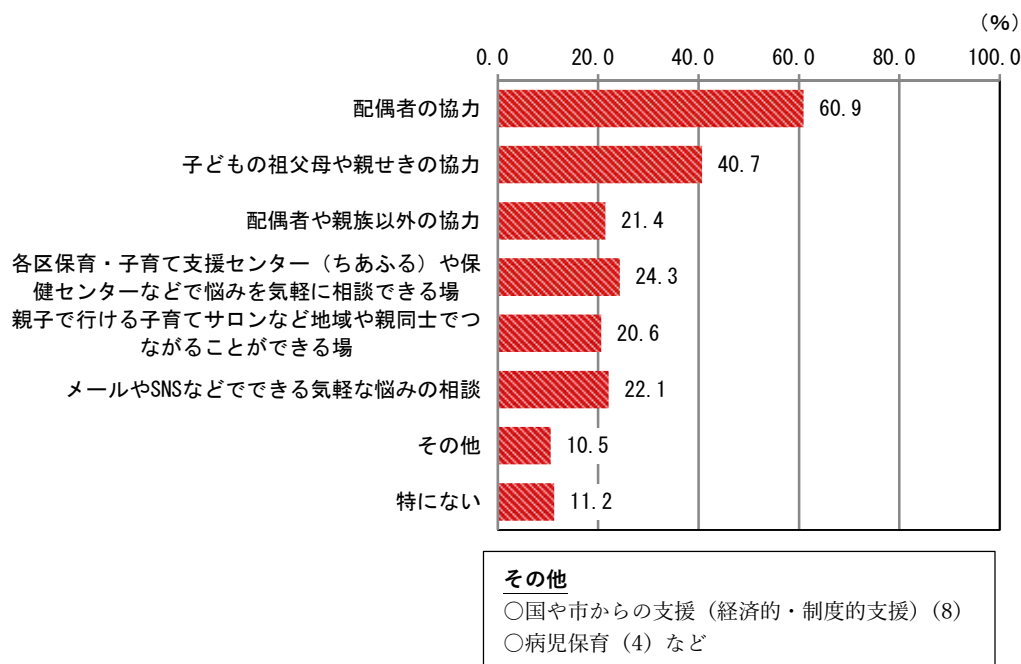
問 14（3） 問 14（1）で「1」～「20」（悩みがある）に○をつけた方にうかがいます。

悩みを軽減するには、どのようなサポートがあればよいと思いますか。（○はいくつでも）

1. 配偶者の協力
2. 子どもの祖父母や親せきの協力
3. 配偶者や親族以外の協力
4. 各区保育・子育て支援センター（ちあふる）や保健センターなどで悩みを気軽に相談できる場
5. 親子で行ける子育てサロンなど地域や親同士でつながることができる場
6. メールや SNS などのできる気軽な悩みの相談
7. その他（ ）
8. 特にない

○「配偶者の協力」60.9%で最も多く挙げられた。「子どもの祖父母や親せきの協力」（40.7%）が次ぐ。

問 14（3） 悩みを軽減するためにあればよいと思うサポート
＜MA＞（N=5,084 ※不明除く）



(3) 札幌市の子育て支援策・子育て環境

問 15 札幌市の子育て支援策や子育て環境について、(1) 既にある程度充実しているとお考えのもの、(2) 今後より充実してほしいとお考えのものをお答えください。
(それぞれ○はいくつでも)

(1) ある程度充実しているとお考えの子育て支援策や子育て環境

1. 文化、スポーツや就業体験など子どもの体験機会の場を増やす取り組み
2. 子連れでも出かけやすく楽しめる場所（屋内）の整備
3. 公共交通機関など、子連れでの移動のしやすさ
4. 子育て支援サービスや子育ての方法に関する情報の得やすさ
5. 子育てに困ったときの相談窓口の整備
6. 子育ての方法に関する学習会や講習会などの開催
7. 認可保育所や幼稚園、認定こども園にかかる費用の負担軽減
8. 子どもが医療機関にかかる費用の負担軽減
9. 公営住宅における子育て世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど住宅面の配慮
10. 残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対するワーク・ライフ・バランス推進の働きかけ
11. 地域住民のつながりを強めるイベントや子育てサロン等の開催
12. 就労を希望する子育て世帯への就業支援
13. 手当や給付金などの金銭面での支援
14. 家事や育児サポートなどの日常生活支援
15. 配慮を要する子どもへの福祉サービス
16. いじめや虐待から子どもを守る取り組み
17. その他（ ）
18. 特になし

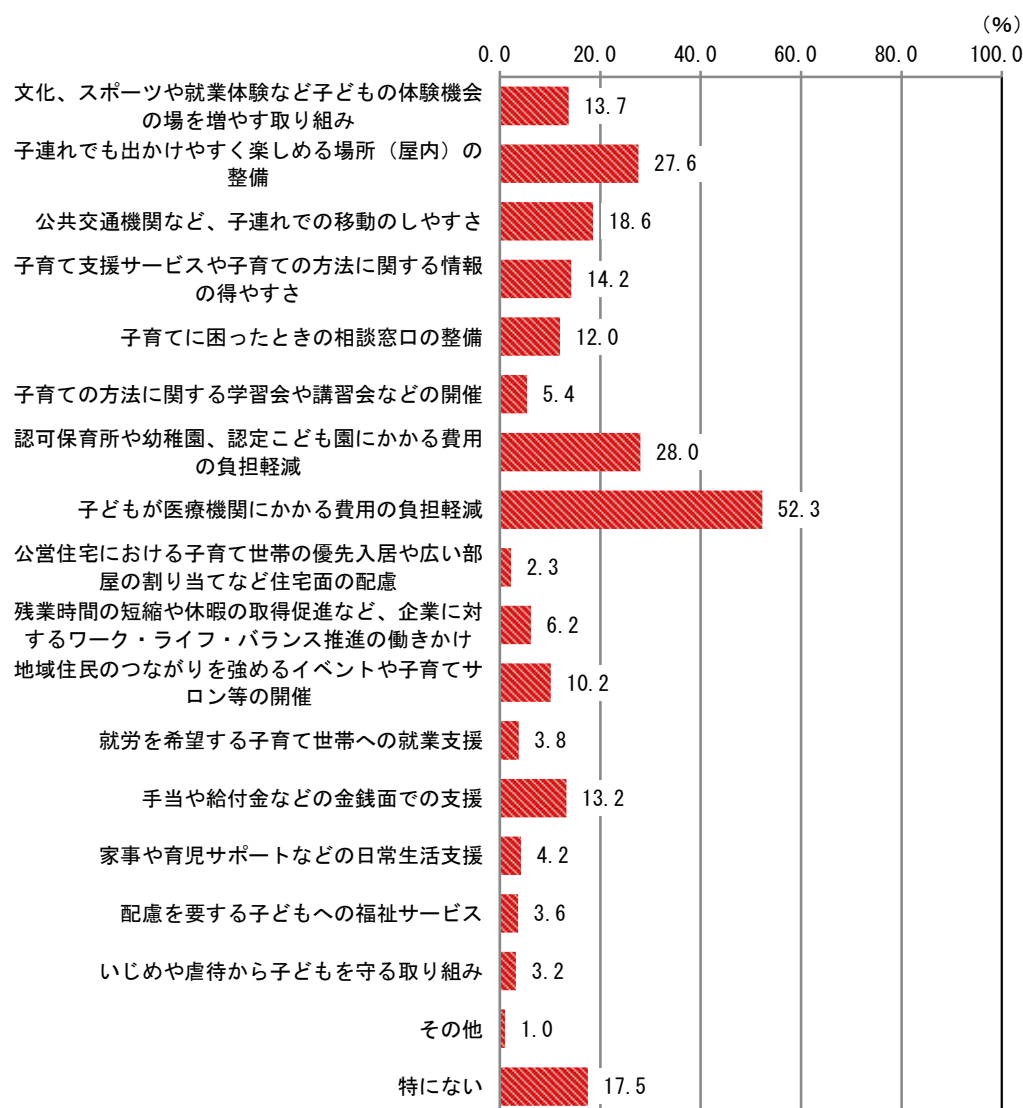
(続く)

(2) 今後より充実してほしいとお考えの子育て支援策や子育て環境

1. 文化、スポーツや就業体験など子どもの体験機会の場を増やす取り組み
2. 子連れでも出かけやすく楽しめる場所（屋内）の整備
3. 公共交通機関など、子連れでの移動のしやすさ
4. 子育て支援サービスや子育ての方法に関する情報の得やすさ
5. 子育てに困ったときの相談窓口の整備
6. 子育ての方法に関する学習会や講習会などの開催
7. 認可保育所や幼稚園、認定こども園にかかる費用の負担軽減
8. 子どもが医療機関にかかる費用の負担軽減
9. 公営住宅における子育て世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど住宅面の配慮
10. 残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対するワーク・ライフ・バランス推進の働きかけ
11. 地域住民のつながりを強めるイベントや子育てサロン等の開催
12. 就労を希望する子育て世帯への就業支援
13. 手当や給付金などの金銭面での支援
14. 家事や育児サポートなどの日常生活支援
15. 配慮を要する子どもへの福祉サービス
16. いじめや虐待から子どもを守る取り組み
17. その他（ ）
18. 特になし

○今後より充実してほしいものとしては「子連れでも出かけやすく楽しめる場所（屋内）の整備」が最も多く 64.5%、ほぼ同率で「手当や給付金などの金銭面での支援」（63.0%）で次ぐ。「認可保育所や幼稚園、認定こども園にかかる費用の負担軽減」（48.6%）、「公共交通機関など子連れでの移動のしやすさ」（41.8%）も 4 割以上の人が挙げた。

問 15 (1) 札幌の子育て支援策・環境で充実していると考えているもの<MA> (N=5,151 ※不明除く)



その他

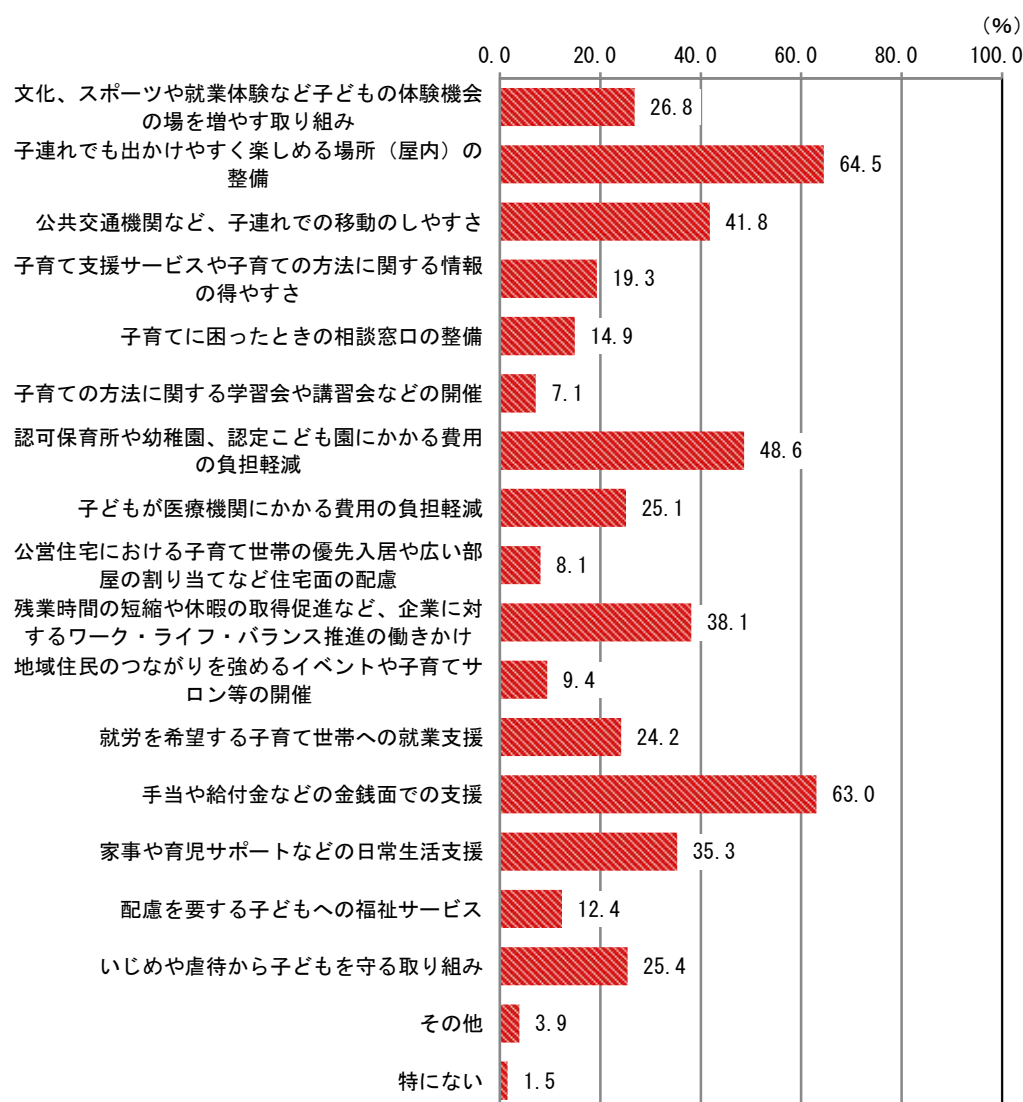
- 転居してきたばかり等でわからない (14)
- 公園が多いこと、充実していること (7)
- 子育てサロン (2)
- 指定ゴミ袋の配布 (2) など

(クロス集計表) 問 15 (1) 札幌の子育て支援策・環境で充実していると考えているもの～
児童の生年月日別<MA> (※不明除く)

	N	組み 機 会 の 場 を 増 や す 取 り	文 化 、 ス ポ ー ツ や 就 業 体 験 な ど 子 ど も の 体 験	内 の 整 備	子 連 れ で も 出 か け や す く 楽 し め る 場 所 （ 屋	さ 連 れ で の 移 動 の し や す 公 共 交 通 機 関 な ど、 子	情 報 の 得 や す さ 子 育 て の 方 法 に 関 す る	子 育 て に 困 つ た と き の 相 談 窓 口 の 整 備	開 催 学 習 会 や 講 習 会 な ど の	子 育 て の 方 法 に 関 す る	費 用 の 負 担 軽 減	認 可 保 育 所 や 幼 稚 園、 認 定 こ ど も 園 に か か る	子 ど も が 医 療 機 関 に か か る 費 用 の 負 担 軽 減	住 宅 面 の 配 慮	公 営 住 宅 に お け る 子 育 て 世 帯 の 優 先 入 居 や 広 い 部 屋 の 割 り 当 て な ど
全体	5,151	13.7	27.6	18.6	14.2	12.0	5.4	28.0	52.3	2.3					
2023年4月以降	817	8.3	25.2	14.2	17.3	17.5	9.3	16.4	48.8	2.0					
2022年4月～2023年3月	1,018	11.6	29.3	17.5	17.8	13.6	7.0	18.9	52.5	2.7					
2021年4月～2022年3月	868	13.4	27.8	16.2	13.8	10.0	3.7	27.9	52.8	2.2					
2020年4月～2021年3月	749	15.9	27.2	19.2	12.6	11.3	4.5	30.2	53.4	2.4					
2019年4月～2020年3月	752	15.0	28.7	24.6	11.7	8.5	3.3	37.9	53.7	2.5					
2018年4月～2019年3月	610	18.0	24.4	19.2	10.3	10.7	3.8	38.2	53.4	1.3					
2017年4月～2018年3月	290	17.9	32.1	23.1	14.1	10.3	5.9	37.2	50.7	2.1					

	N	き か け に 対 す る ワ ー ク ・ ラ イ フ ・ バ ラ ン ス 推 進 の 働 き	残 業 時 間 の 短 縮 や 休 暇 の 取 得 促 進 な ど 、 企 業 に 対 す る ワ ー ク ・ ラ イ フ ・ バ ラ ン ス 推 進 の 働 き	地 域 住 民 の つ な が り を 強 め る イ ベ ン ト や 子 育 て サ ロ ン 等 の 開 催	就 労 を 希 望 す る 子 育 て 世 帯 へ の 就 業 支 援	手 当 や 給 付 金 な ど の 金 銭 面 で の 支 援	家 事 や 育 児 サ ポ ー ト な ど の 日 常 生 活 支 援	配 慮 を 要 す る 子 ど も へ の 福 祉 サ ー ビ ス	い じ め や 虐 待 か ら 子 ど も を 守 る 取 り 組 み	そ の 他	特 に な い
全体	5,151	6.2	10.2	3.8	13.2	4.2	3.6	3.2	1.0	17.5	
2023年4月以降	817	6.0	13.0	3.4	15.1	4.3	2.6	2.6	1.0	20.6	
2022年4月～2023年3月	1,018	6.3	14.3	3.9	12.8	5.6	2.2	2.8	1.1	16.8	
2021年4月～2022年3月	868	6.9	10.0	3.8	12.0	3.9	3.0	3.1	0.8	18.2	
2020年4月～2021年3月	749	6.3	7.1	2.9	11.1	4.3	4.1	2.8	0.7	16.0	
2019年4月～2020年3月	752	6.8	7.3	4.4	14.0	3.9	4.8	3.3	1.6	17.3	
2018年4月～2019年3月	610	4.8	8.0	4.1	12.6	3.4	5.2	4.3	1.3	16.6	
2017年4月～2018年3月	290	5.2	8.3	3.4	18.3	3.1	6.9	5.9	-	16.2	

問 15 (2) 札幌の子育て支援策・環境で今後より充実してほしいと考えているもの<MA> (N=5,360 ※不明除く)



その他

- 金銭的支援・物品支援等、経済的支援の拡充 (32)
- 各種支援・サービス受給に関する所得制限撤廃 (24)
- 保育園・幼稚園入園のハードルを低く (19)
- 病児・病後児保育サービスの拡充 (19)
- 一時預かりサービスの拡充、より気軽に預けられるように (13)
- 屋内・公園等の遊び場の拡充、公園の整備 (11) など

(クロス集計表) 問 15 (2) 札幌の子育て支援策・環境で
今後より充実してほしいと考えているもの～児童の生年月日別＜MA＞（※不明除く）

	N	組 機 体 文 内 く 子 さ 連 公 情 子 子 相 開 学 子 費 認 認 か 子 住 て 公	み 会 験 化 の な ど 子 ど も の 体 験 業	の 整 備 所 （ 屋 やす	く 子 さ 連 公 情 子 子 相 開 学 子 費 認 認 か 子 住 て 公	く 子 さ 連 公 情 子 子 相 開 学 子 費 認 認 か 子 住 て 公	く 子 さ 連 公 情 子 子 相 開 学 子 費 認 認 か 子 住 て 公	く 子 さ 連 公 情 子 子 相 開 学 子 費 認 認 か 子 住 て 公	く 子 さ 連 公 情 子 子 相 開 学 子 費 認 認 か 子 住 て 公	く 子 さ 連 公 情 子 子 相 開 学 子 費 認 認 か 子 住 て 公
全体	5,360	26.8	64.5	41.8	19.3	14.9	7.1	48.6	25.1	8.1
2023年4月以降	844	23.9	63.0	52.5	20.5	16.1	8.2	62.6	25.7	10.1
2022年4月～2023年3月	1,065	21.4	67.4	46.6	19.4	15.8	7.6	58.1	24.9	8.0
2021年4月～2022年3月	895	25.6	64.7	42.3	19.8	13.4	6.1	50.2	25.3	9.2
2020年4月～2021年3月	792	29.3	65.5	40.8	19.4	14.6	7.8	47.1	23.1	7.6
2019年4月～2020年3月	782	29.4	64.6	35.0	18.3	15.2	6.3	38.2	24.6	6.5
2018年4月～2019年3月	633	31.9	65.1	34.1	19.4	14.1	6.5	34.0	26.2	5.7
2017年4月～2018年3月	297	32.3	53.9	29.0	15.8	14.1	7.1	34.7	28.3	9.4

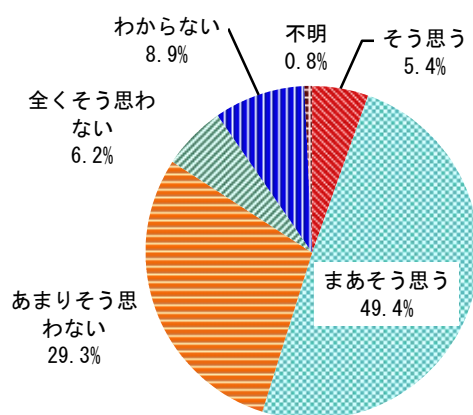
	N	きかけ に対する ワーク・ラ ンス推進 の働き	残業時間 の短縮や 休暇の取 得促進な ど、企業 に	地域住民 のつなが りや育 てサロ ン等の 開催	就労を希 望する子 育て 世帯への 就業支 援	手当や給 付金など の金銭面 での支援	家事や育 児サポー トなど の日常生 活支援	配慮を要 する子ど もへの福 祉サービ ス	いじめや 虐待から 子どもを 守る取り 組み	その他	特 に な い
全体	5,360	38.1	9.4	24.2	63.0	35.3	12.4	25.4	3.9	1.5	
2023年4月以降	844	42.4	10.2	22.2	66.6	34.4	12.1	24.4	2.6	1.7	
2022年4月～2023年3月	1,065	40.4	10.2	25.9	66.7	38.1	11.1	24.7	3.7	1.5	
2021年4月～2022年3月	895	37.7	10.1	24.8	63.0	38.0	12.3	24.2	4.1	0.8	
2020年4月～2021年3月	792	37.9	9.5	25.0	62.5	38.0	13.4	24.0	4.5	1.3	
2019年4月～2020年3月	782	35.8	8.6	22.0	60.6	31.3	13.0	27.9	4.3	2.7	
2018年4月～2019年3月	633	34.0	7.7	25.0	59.1	34.1	13.3	27.0	4.4	1.3	
2017年4月～2018年3月	297	36.0	8.1	22.9	57.2	26.6	10.8	27.6	3.0	2.0	

問 16 あなたは、札幌市が、子どもを生み育てやすい環境にあると思いますか。(○は 1 つだけ)

- | | | |
|-------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. あまりそう思わない |
| 4. 全くそう思わない | 5. わからない | |

○「そう思う」「まあそう思う」の合計で 54.8%と過半数を超えている。一方「あまりそう思わない」「全くそう思わない」と回答した人は計 35.5%であった。

問 16 札幌市が子どもを生み育てやすい環境にあると思うか
<SA> (N=5,394)

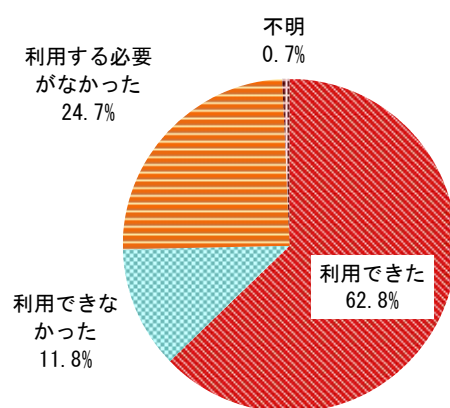


問 17 あなたは、この1年間に、希望に応じた保育サービス（※）を利用することができましたか。（〇は1つだけ）※幼稚園や保育所、認定こども園等への入園・入所、一時預かり事業等

1. 利用できた 2. 利用できなかった 3. 利用する必要がなかった

○「利用できた」が62.8%、「利用できなかった」が11.8%であった。「利用する必要がなかった」との回答者も24.7%存在する。

問 17 この1年間に希望した保育サービスを利用することができたか<SA>（N=5,394）



(4) 保護者の就労状況

< 母親の就労状況 >

問 18 母親の就労状況をうかがいます。父子家庭の場合は問 19 へお進みください。

(1) 母親の就労状況（自営業、家族従事者含む）は次のうちどれですか。（○は1つだけ）

※フルタイム : 1週5日程度でかつ1日8時間程度の就労。

※パート・アルバイトなど : 「フルタイム」以外の就労。

- | |
|---|
| 1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない（時短勤務含む） |
| 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である |
| 3. パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない |
| 4. パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である |
| 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない |
| 6. これまで就労したことがない |
- } ⇒問 18 (6) へ

(2) (1) で「1」～「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。 母親の1週当たりの就労日数と1日当たりの就労時間（残業時間を含む）をお答えください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週当たり □日 1日当たり □□時間

(3) (1) で「1」～「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。（時間を24時間制で記入〔例：0 9時、1 8時〕）

※時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

家を出る時刻□□時 帰宅時刻□□時

(4) (1) で「1」～「4」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。 日曜日・祝日の就労状況をお答えください。（2に○をつけた場合は日曜日・祝日の月平均勤務日数も記入〔例：2日〕）

- | |
|------------------------------|
| 1. 日曜日または祝日が固定勤務 |
| 2. 日曜日または祝日にシフト勤務もしくは月1回以上勤務 |
| ⇒日曜日・祝日の月平均勤務日数□日 |
| 3. 日曜日・祝日は勤務していない |

（続く）

(続き)

(5) (1) で「3」または「4」(パート・アルバイトなどで就労している)に○をつけた方にうかがいます。 母親は、フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つだけ)

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望している
4. パート・アルバイトなどをやめて子育てや家事に専念したい

(6) (1) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。 母親の就労希望の有無等をお答えください。(○は1つだけ)

1. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
2. 1年より先に就労したい
3. 子育てや家事などに専念したい(就労の希望はない) ⇒問19へ

(7) (6) で「2. 1年より先に就労したい」に○をつけた方にうかがいます。 母親はおおよそ何年後に就労したいと考えていますか。また、それは一番下のお子さんが何歳になった頃ですか。

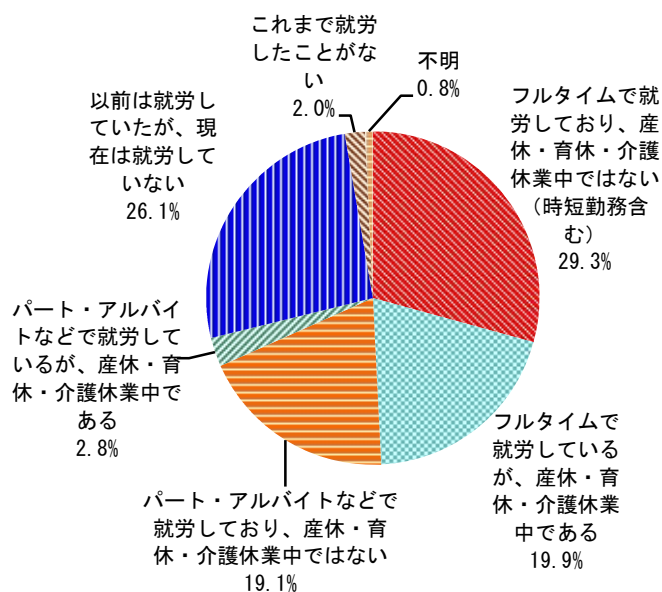
□□年後に就労を希望(それは一番下の子どもが□□歳になったころ)

(8) (6) で「1」～「2」(就労したい)に○をつけた方にうかがいます。 母親が就労する際に希望する就労形態をお答えください。(○は1つだけ)

1. フルタイム
2. パート、アルバイトなど ⇒(1週当たり □日 1日当たり □□時間)

○母親の就労状況を見ると、何らかの形で就労している人（「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイトなどで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイトなどで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」）は計 71.2%であった。就労していない方（「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」）は 28.1%であった。

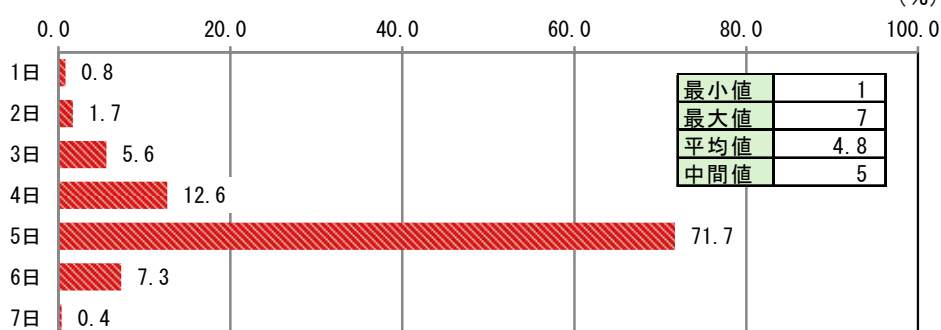
問 18 (1) 母親の就労状況<SA> (N=5,374)



○母親の週あたりの就労日数は平均 4.8 日、1 日あたりの就労時間は平均 7.2 時間であった。1 か月あたりの就労時間に換算すると、平均で 140.3 時間となる。

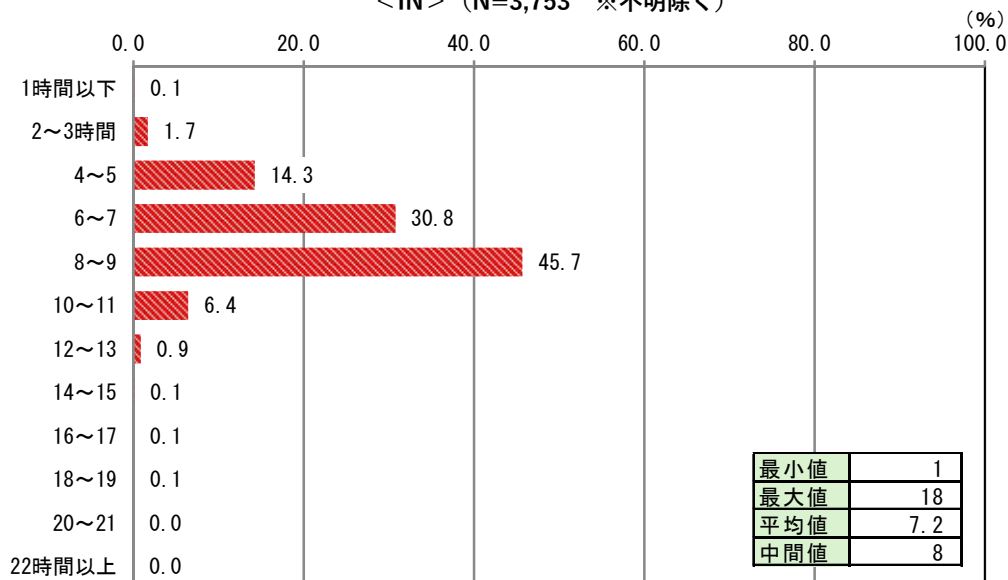
問 18 (2) 【就労者限定】母親の週あたりの就労日数

<IN> (N=3,797 ※不明除く)



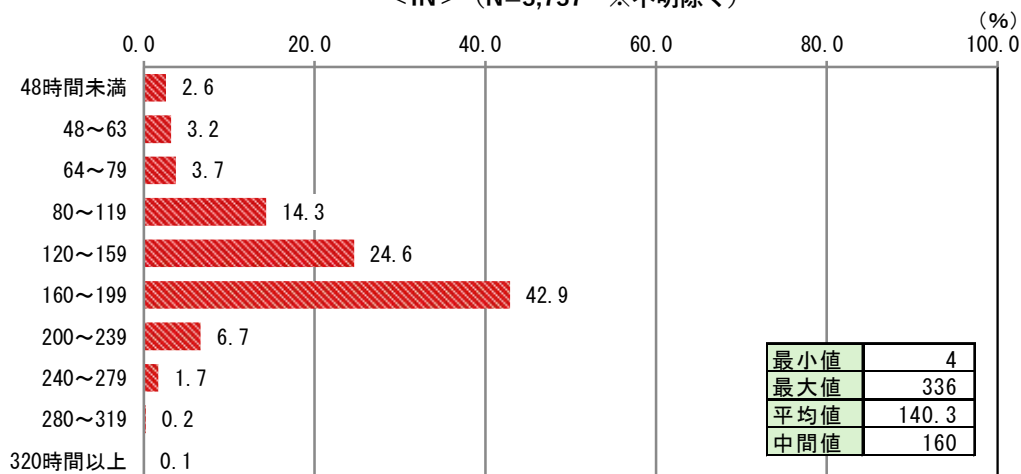
問 18 (2) 【就労者限定】母親の 1 日あたりの就労時間

<IN> (N=3,753 ※不明除く)



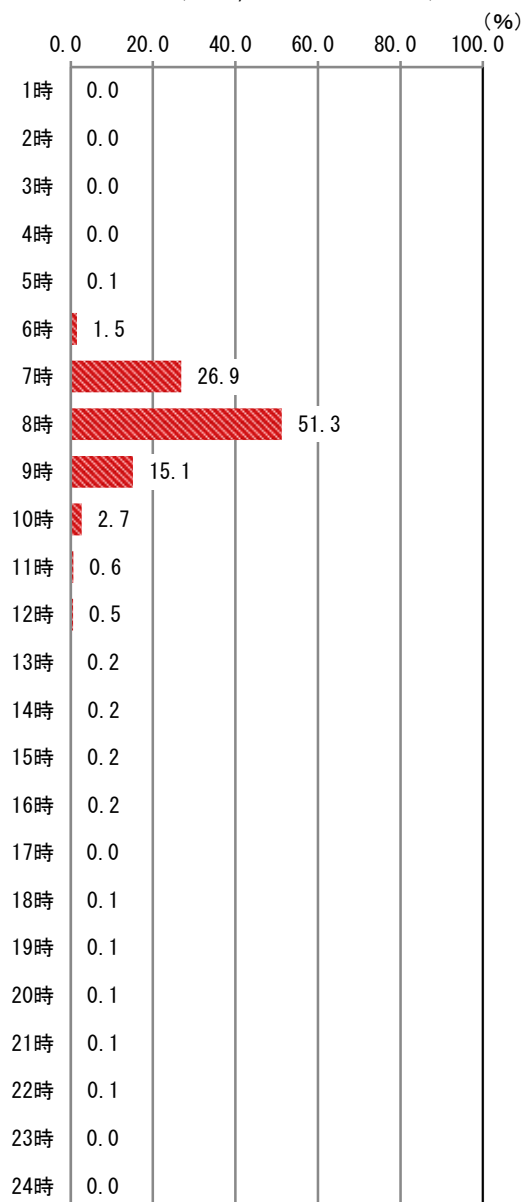
問 18 (2) 【就労者限定】母親の 1 か月あたりの就労時間

<IN> (N=3,737 ※不明除く)

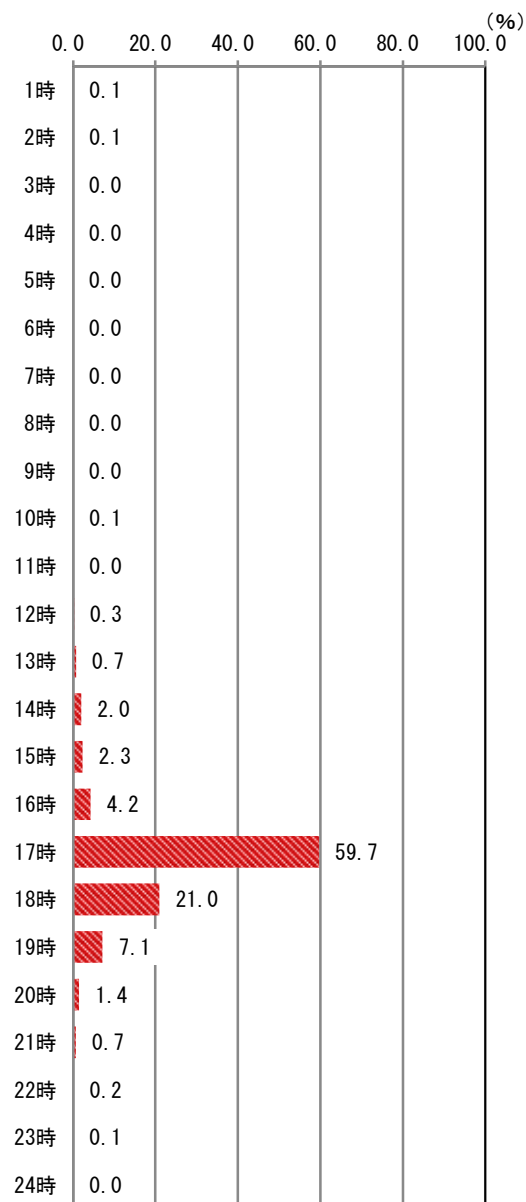


○就労している母親の家を出る時刻は「8時」が最も多く半数以上の方が回答している(51.3%)。
 帰宅時刻は17時が59.7%で最も多くなっている。

問 18 (3) 【就労者限定】 母親の家を出る時刻
 <IN> (N=3,733 ※不明除く)

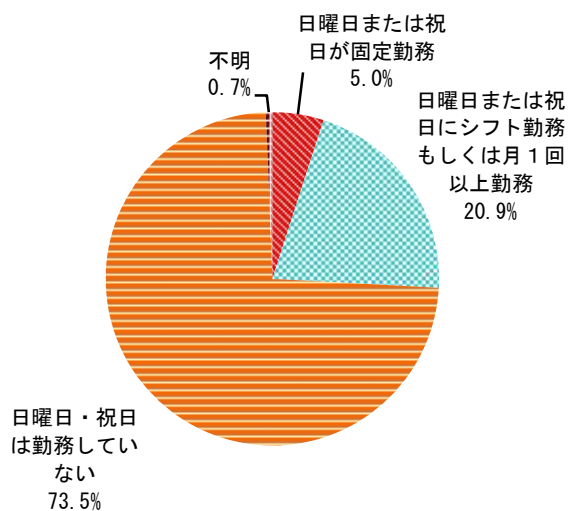


問 18 (3) 【就労者限定】 母親の帰宅時刻
 <IN> (N=4,354 ※不明除く)



○就労している母親の日曜・祝日の就労状況は、「日曜日・祝日は勤務していない」が最も多く73.5%であった。「日曜日または祝日が固定勤務」「日曜日または祝日にシフト勤務もしくは月1回以上勤務」との回答者は計25.9%であった。

問18(4) 【就労者限定】母親の日曜・祝日の就労状況
<SA> (N=3,824)

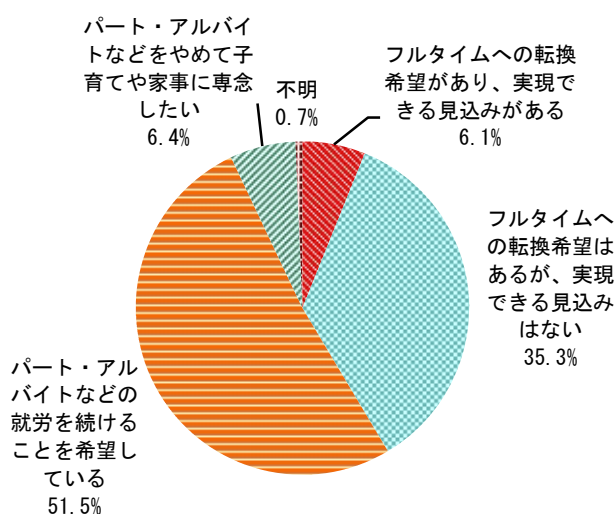


問18(4)【日曜・祝日にシフト勤務もしくは月1回以上勤務者限定】母親の日曜・祝日の月平均勤務日数<SA> (N=763
※不明除く)

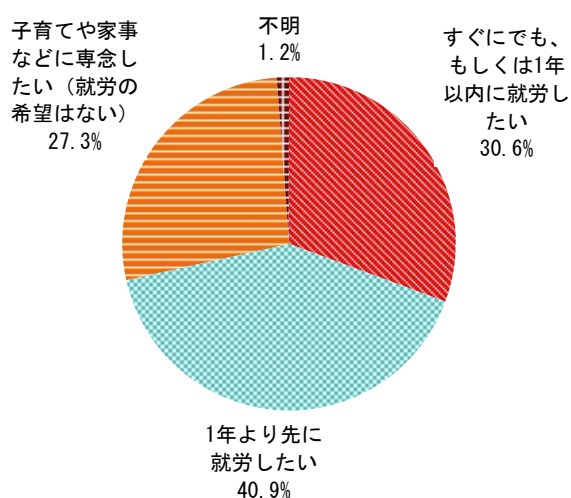


- パート・アルバイトの母親のフルタイムへの転換希望・見込みだが、51.5%が「パート・アルバイトなどの就労を続けることを希望している」と回答した。フルタイムへの転換希望者（「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」）は計41.4%であった。
- 未就労の母親に就労希望の有無を聞いたところ「1年より先に就労したい」人が最も多く40.9%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」方は30.6%であり、就労希望者は計71.5%であった。

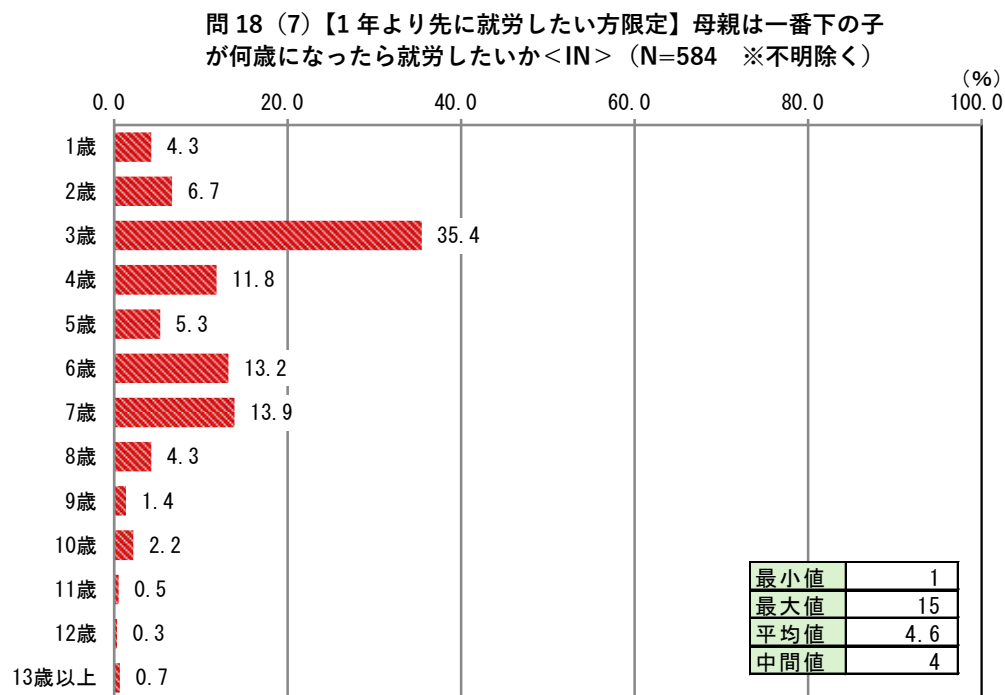
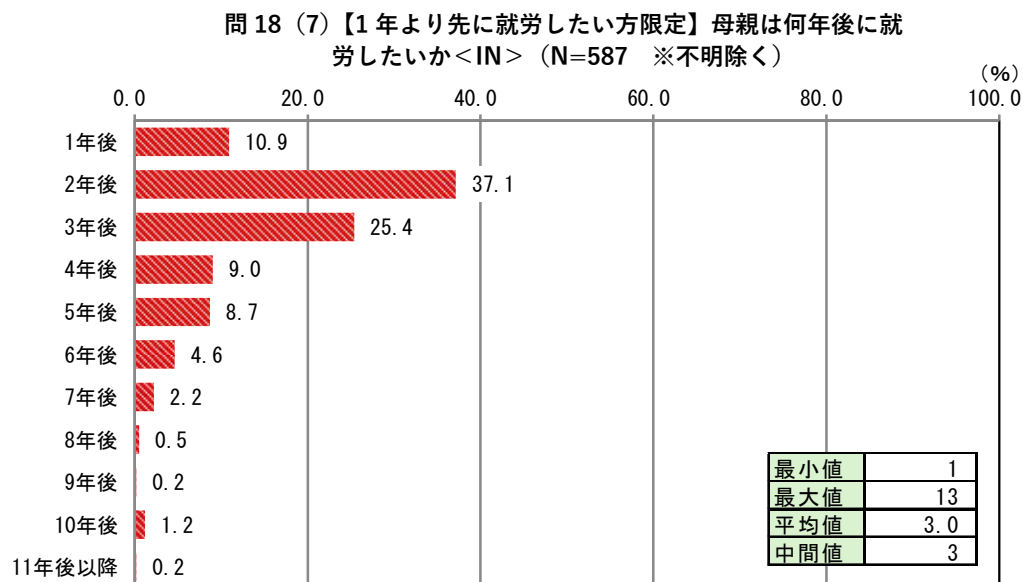
問18(5)【パート・アルバイトの方限定】母親のフルタイムへの転換希望・見込み<SA> (N=)



問18(6)【未就労者限定】母親の就労希望の有無<SA> (N=1,509)

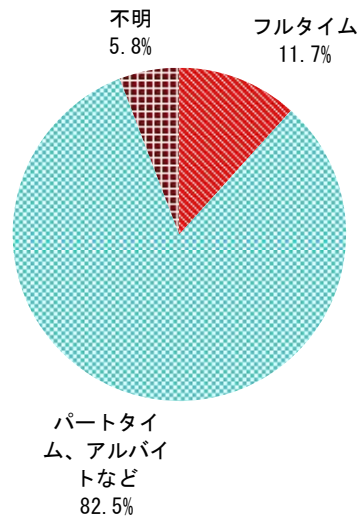


○1年より先に就労を希望する母親に「一番下の子が何歳になったら就労したいか」を聞いたところ、最も多かったのは「3歳」(35.4%)であった。また、子が小学校に入る「7歳」(13.9%)、「6歳」(13.2%)も比較的多くなっている。

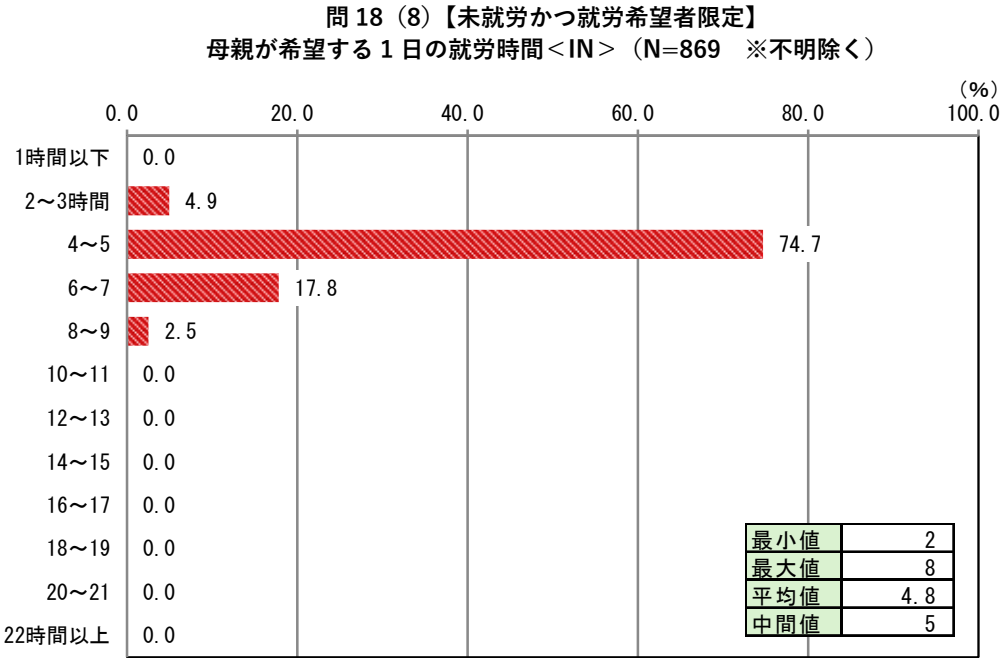
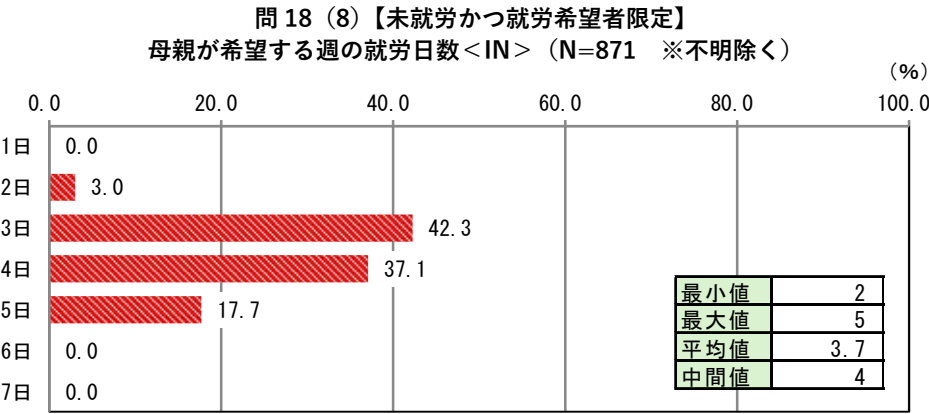


○未就労かつ就労を希望する母親に希望する就労形態を聞いたところ、82.5%が「パートタイム、アルバイトなど」を挙げた。

問 18 (8) 【未就労かつ就労希望者限定】母親が希望する就労
形態<SA> (N=1,079)



- 未就労かつ就労を希望する母親の希望する週の就労日数について、平均値は3.7日であった。
- 希望する1日の就労時間の平均値は4.8時間であった。

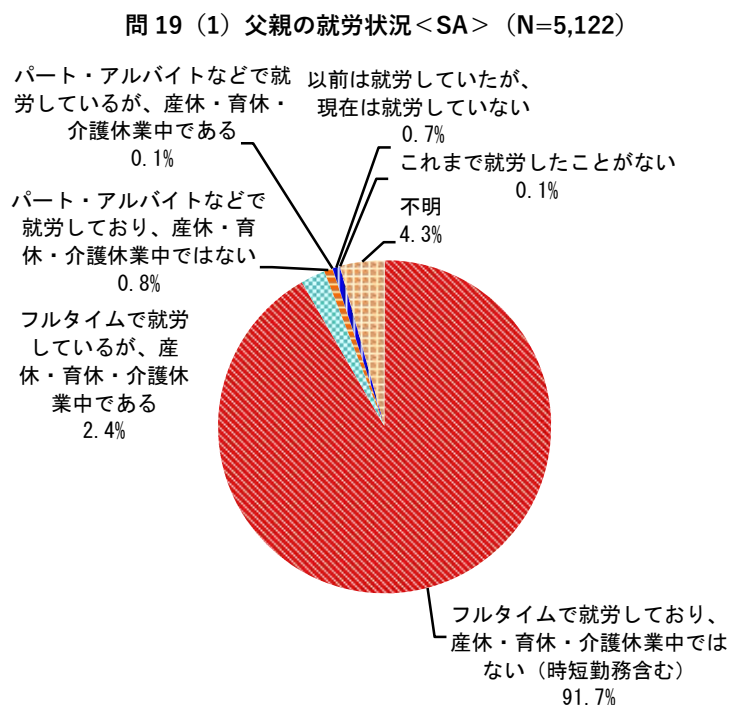


<父親の就労状況>

問 19 父親の就労状況をうかがいます。母子家庭の場合は問 20 へお進みください。

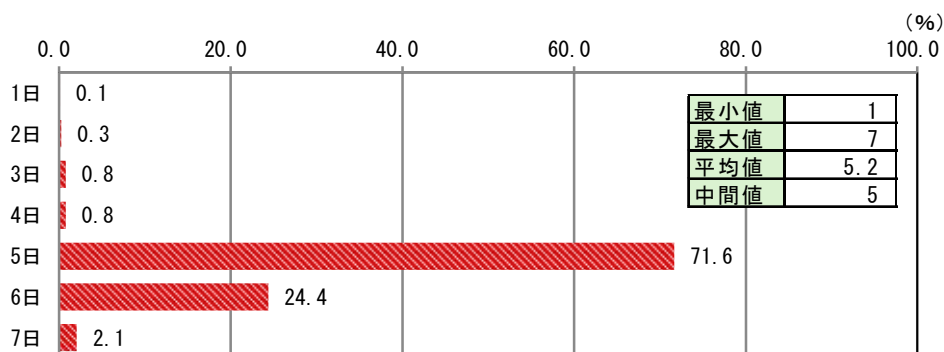
※設問内容は問 18 と同様なので省略

○父親の就労状況だが、9 割を超える人が「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(91.7%) と回答した。



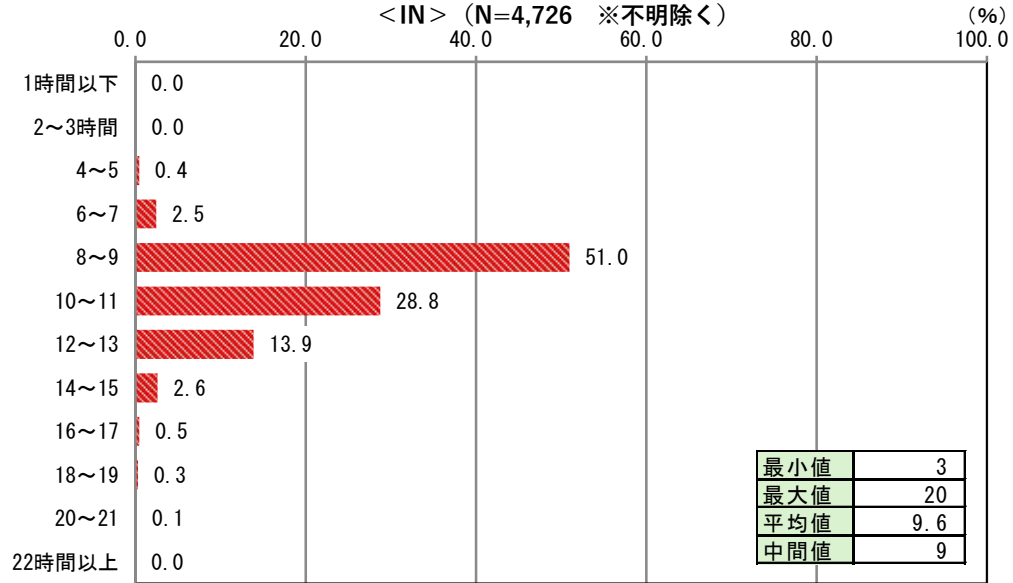
○就労している父親の週あたりの就労日数は平均 5.2 日、1 日あたりの就労時間は平均 9.6 時間であった。1 か月あたりの就労時間に換算すると、平均で 203.4 時間となる。

問 19 (2) 【就労者限定】父親の週あたりの就労日数
<IN> (N=4,813 ※不明除く)



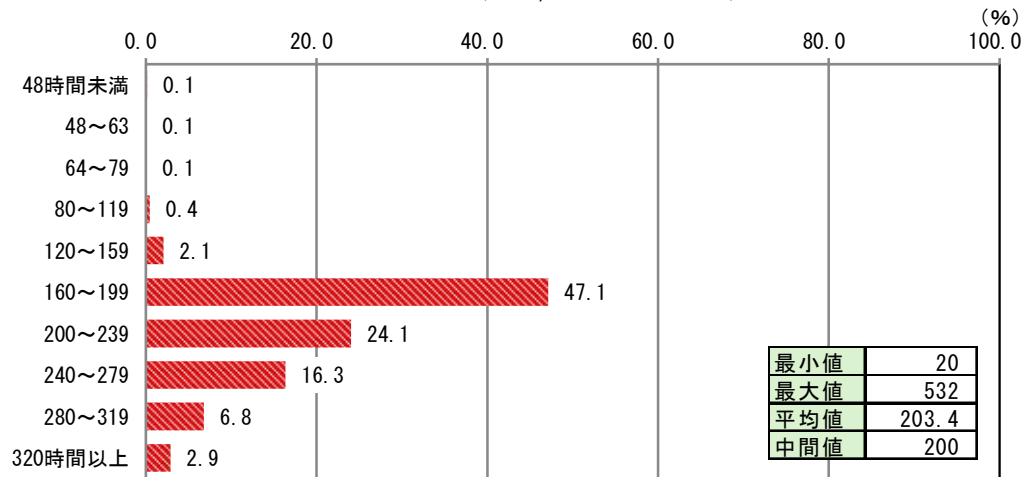
問 19 (2) 【就労者限定】父親の 1 日あたりの就労時間

<IN> (N=4,726 ※不明除く)



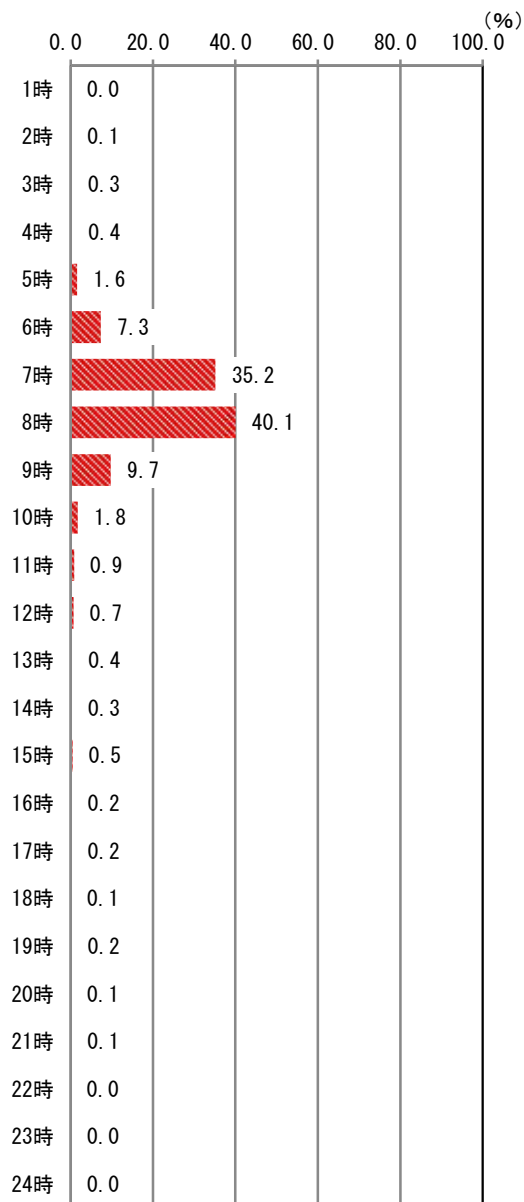
問 19 (2) 【就労者限定】父親の 1 か月あたりの就労時間

<IN> (N=4,706 ※不明除く)

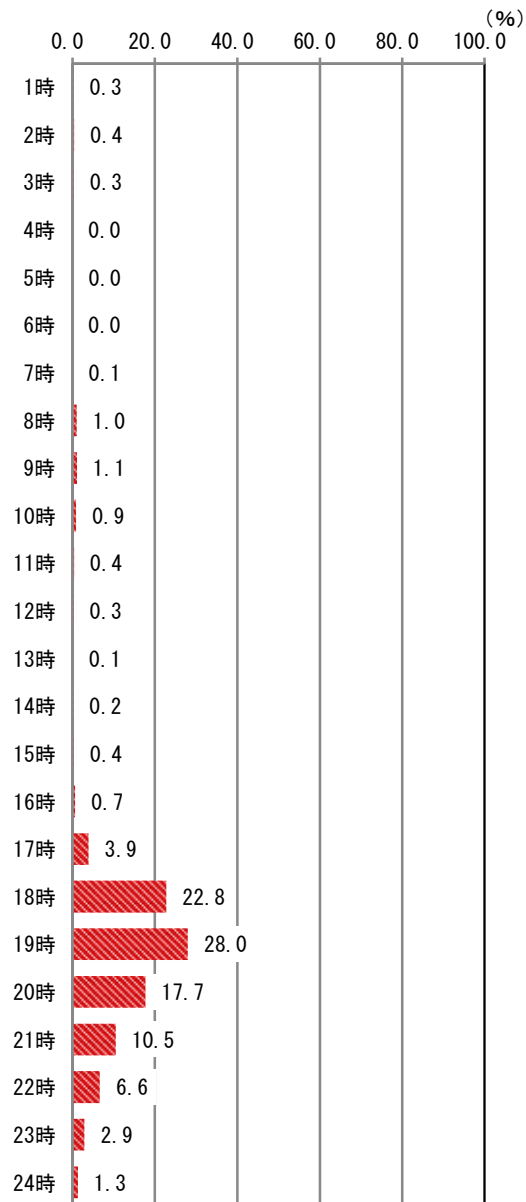


○就労している父親の家を出る時刻は「8時」(40.1%)、「7時」(35.2%)が多くなっている。
 帰宅時刻は「19時」(28.0%)が最も多く、「18時」(22.8%)が次ぐ。

問 19 (3) 【就労者限定】 父親の家を出る時刻
 <IN> (N=4,779 ※不明除く)

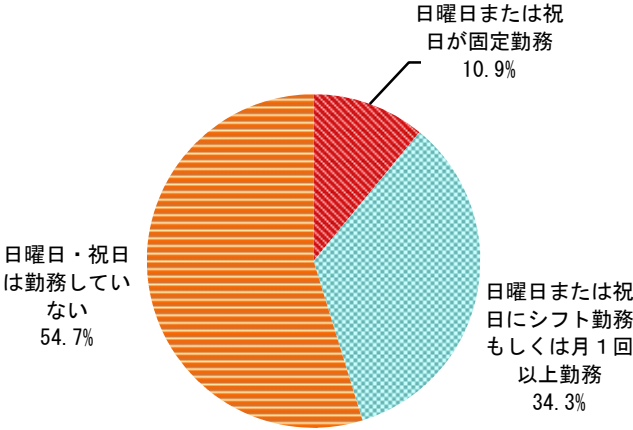


問 19 (3) 【就労者限定】 父親の帰宅時刻
 <IN> (N=4,767 ※不明除く)

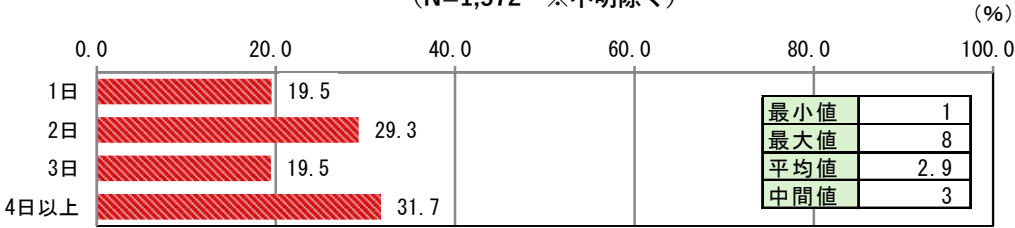


○就労している父親の半数超（54.7%）が「日曜日・祝日は勤務していない」と回答した。一方、「日曜日または祝日が固定勤務」の人も 10.9%存在する。

問 19（4）【就労者限定】父親の日曜・祝日の就労状況
<SA>（N=4,834）

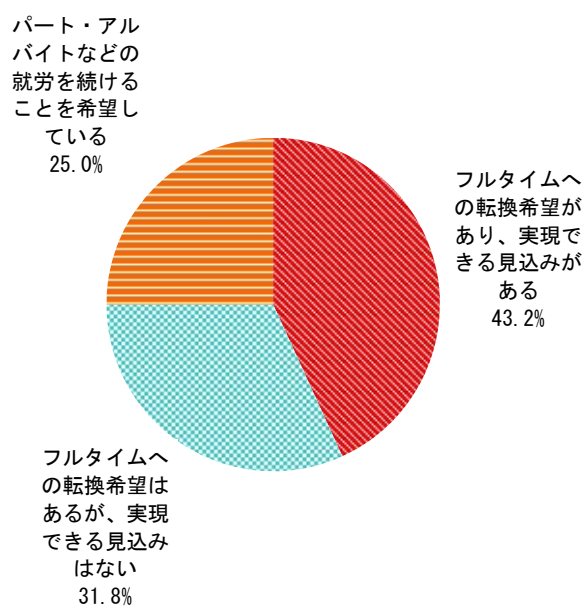


問 19（4）【日曜・祝日にシフト勤務もしくは月1回以上勤務者限定】父親の日曜・祝日の月平均勤務日数<SA>
(N=1,572 ※不明除く)

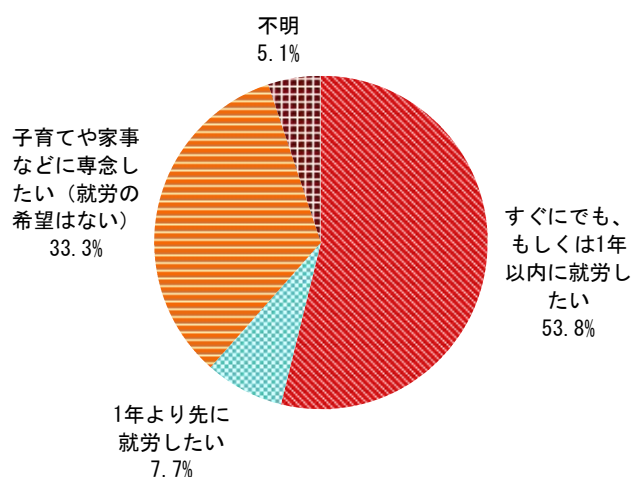


- パート・アルバイトの父親でフルタイムへの転換希望がある方（「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」回答者）は計 75.0%であった。
- 未就労の父親は計 39 名であった。これらに就労希望の有無を聞いたところ「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」方が最も多く 53.8%であった。「1年より先に就労したい」方は 7.7%であった。

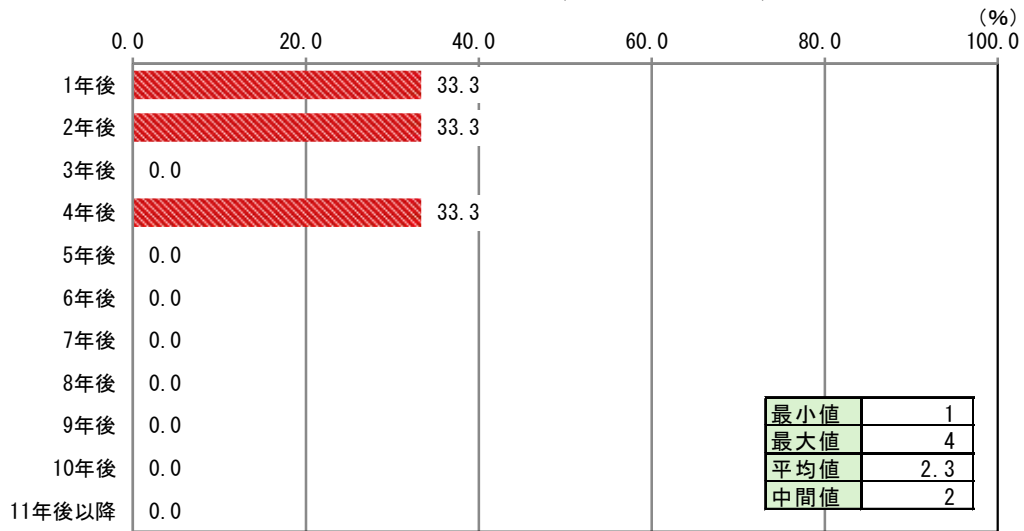
問 19 (5) 【パート・アルバイトの方限定】父親のフルタイムへの転換希望・見込み<SA> (N=44)



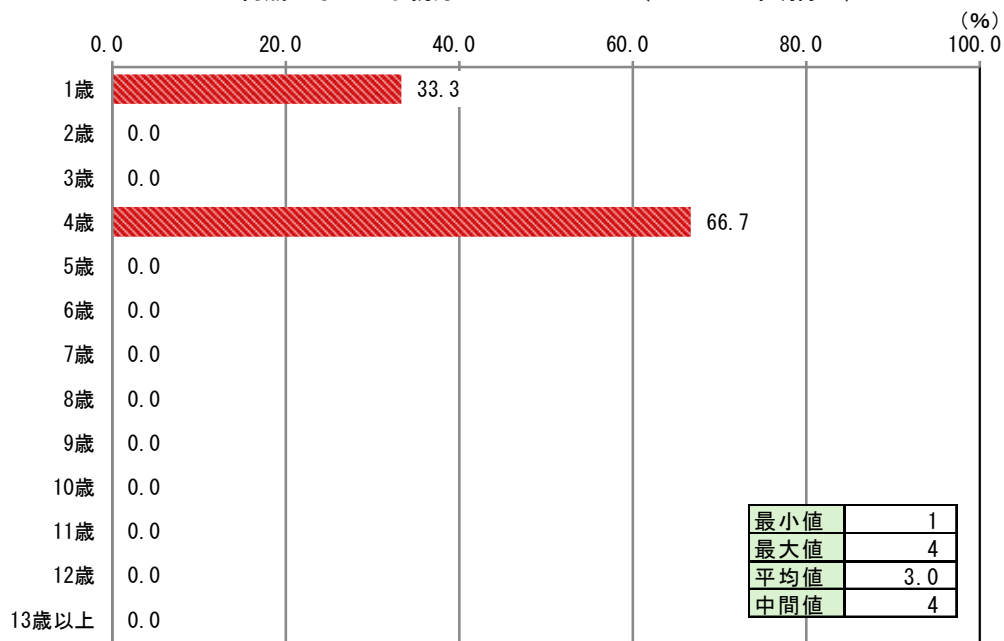
問 19 (6) 【未就労者限定】父親の就労希望の有無<SA> (N=39)



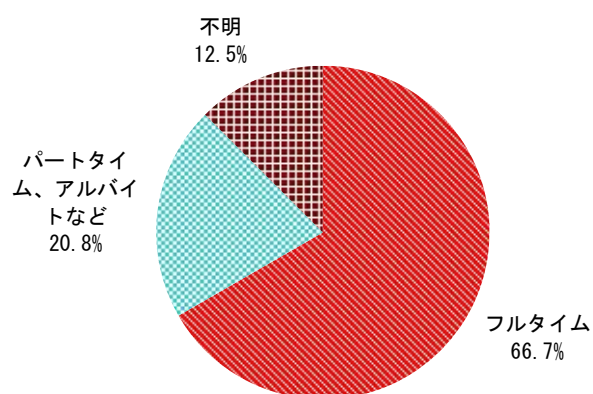
問 19 (7) 【1 年より先に就労したい方限定】父親は何年後に就
 労したいか<IN> (N=3 ※不明除く)



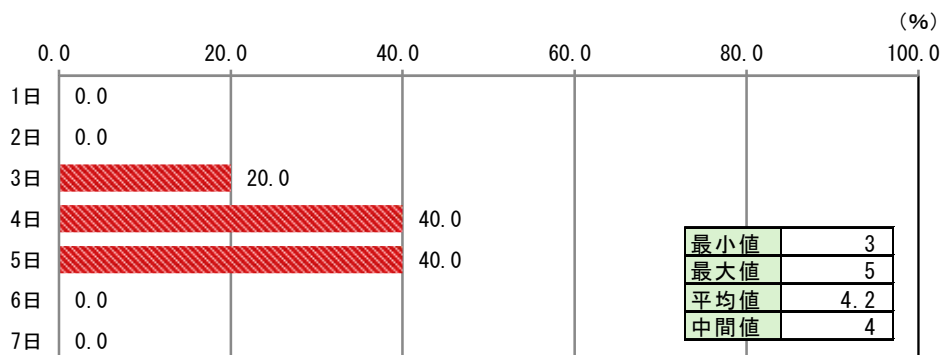
問 19 (7) 【1 年より先に就労したい方限定】父親が一番下の子
 が何歳になったら就労したいか<IN> (N=3 ※不明除く)



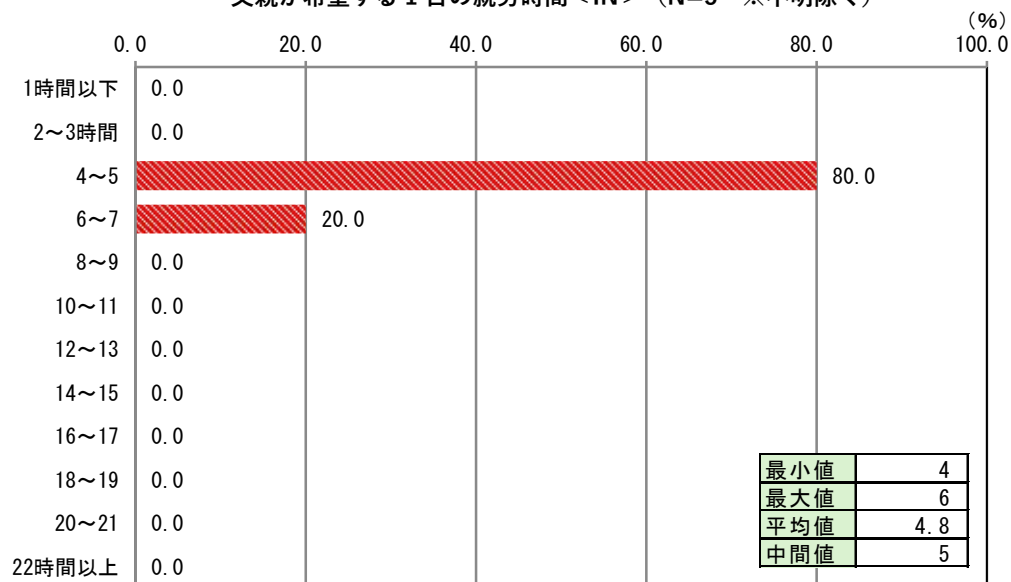
問 19 (8) 【未就労かつ就労希望者限定】父親が希望する就労
形態<SA> (N=24)



問 19 (8) 【未就労かつ就労希望者限定】
父親が希望する週の就労日数<IN> (N=5 ※不明除く)



問 19 (8) 【未就労かつ就労希望者限定】
父親が希望する1日の就労時間<IN> (N=5 ※不明除く)



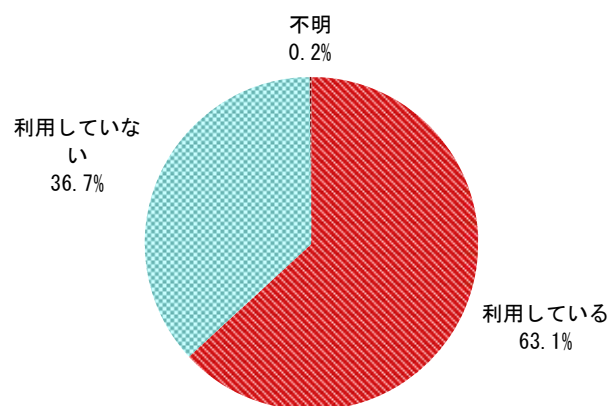
(5) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問 20 宛名の方（お子さん）は現在、幼稚園や保育所、認定こども園などの「平日の定期的な教育・保育事業」（具体的には問 20-1 で示した事業が含まれます）を利用されていますか。（○は1つだけ）

1. 利用している
2. 利用していない ⇒問 20-5 へ

○平日の定期的な教育・保育事業を 63.1%が「利用している」と回答している。

問 20 平日の定期的な教育・保育事業の利用有無<SA>
(N=5,394)



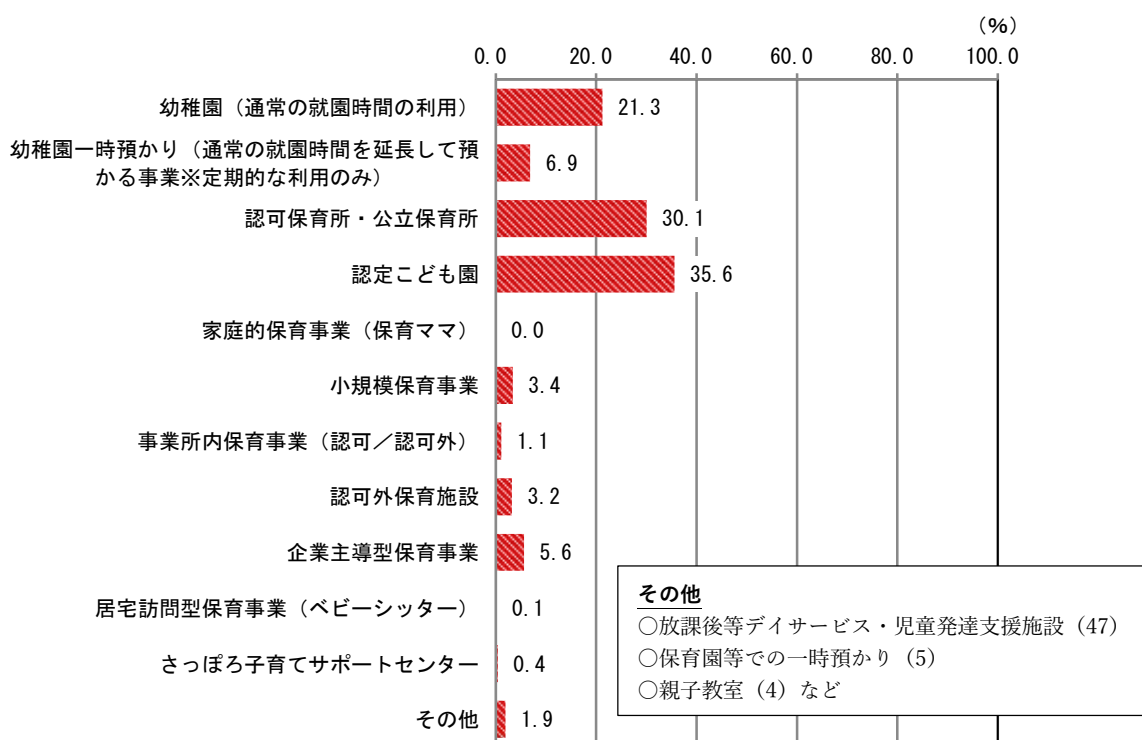
問 20-1 問 20 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。 次のどのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(○はいくつでも)

※ご回答にあたっては、添付資料の「事業の内容と利用料」で事業の内容をご確認ください。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園一時預かり（通常の就園時間を延長して預かる事業※定期的な利用のみ）
3. 認可保育所・公立保育所
4. 認定こども園
5. 家庭的保育事業（保育ママ）
6. 小規模保育事業
7. 事業所内保育事業（認可／認可外）
8. 認可外保育施設
9. 企業主導型保育事業
10. 居宅訪問型保育事業（ベビーシッター）
11. さっぽろ子育てサポートセンター
12. その他（ ）

○「認定こども園」が最も多く 35.6%、以下「認可保育所・公立保育所」が 30.1%、「幼稚園」が 21.3%で次ぐ。

問 20-1 【教育・保育事業利用者限定】定期的に利用している事業<MA>（N=3,399 ※不明除く）



(クロス集計表) 問 20-1 【教育・保育事業利用者限定】定期的に利用している事業～
各属性別<MA> (※不明除く)

	N	幼稚園 (通常 の就園 時間 利用 のみ)	幼稚園 (通常 の就園 時間 を延 長し て利 用す る事 業※ 定期 的)	認可 保育 所・ 公立 保育 所	認定 こども 園	家庭 的保 育事 業(保 育 ママ)	小規 模保 育事 業	事業 所内 保育 事業 (認 可/認 可外)	認可 外保 育施 設	企業 主 導型 保育 事業	居宅 訪問 型保 育事 業 (ベビ ーシ ッター)	さつ ぽろ 子育 てサ ポー トセ ンタ ー	その他
全体	3,399	21.3	6.9	30.1	35.6	0.0	3.4	1.1	3.2	5.6	0.1	0.4	1.9
問6 世帯構成													
お子さん+ご両親 (二世帯世帯)	3,020	21.5	6.8	29.4	36.0	0.0	3.4	1.1	3.2	5.7	0.1	0.4	1.9
お子さん+ご両親+ 祖父母(三世帯世帯)	151	29.1	11.9	31.1	35.1	-	1.3	0.7	1.3	2.6	-	-	1.3
お子さん+母/父親 (ひとり親・二世帯 世帯)	167	10.8	6.0	38.3	34.1	-	3.6	1.2	5.4	7.2	0.6	0.6	2.4
お子さん+母/父親 +祖父母(ひとり 親・三世帯世帯)	54	16.7	1.9	38.9	24.1	-	7.4	1.9	3.7	7.4	-	1.9	3.7
お子さん+祖父母	2	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-
問18/19 世帯の就労状況													
共働き(両方フルタ イム)	1,562	4.7	3.4	40.1	40.8	-	3.1	1.3	3.1	7.4	-	0.3	1.0
共働き(片方/両方 がパートタイム)	900	23.8	14.0	26.9	35.3	0.1	4.6	1.2	3.3	5.7	-	-	1.6
片働き(専業主婦)	543	65.2	5.0	3.7	24.5	-	1.1	-	2.6	0.4	0.2	1.1	5.5
片働き(専業主夫)	11	27.3	9.1	27.3	9.1	-	18.2	9.1	9.1	-	-	-	-
両方就労していない	44	36.4	9.1	18.2	27.3	-	9.1	-	9.1	4.5	2.3	2.3	4.5
その他	297	13.1	6.7	39.4	33.0	-	4.0	1.3	3.7	7.1	0.7	0.7	1.7

問 20-2 問 20 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。 平日の定期的な利用の現状と、ご希望についてお答えください。ご回答は1 週当たりの日数と、毎日の利用時間をご記入ください。（時間は 24 時間制で記入）

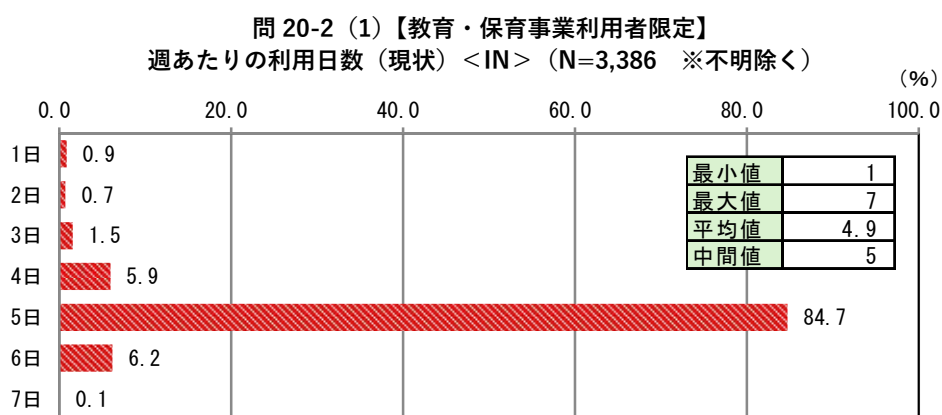
(1) 現状

1 週当たり □日 利用時間は □□時～□□時

(2) 希望 ※現在、希望どおり利用できている場合でも、必ずお答えください。

1 週当たり □日 利用時間は □□時～□□時

○週あたりの利用日数（現状）だが、多くの人が「5 日」と回答した（84.7%）。

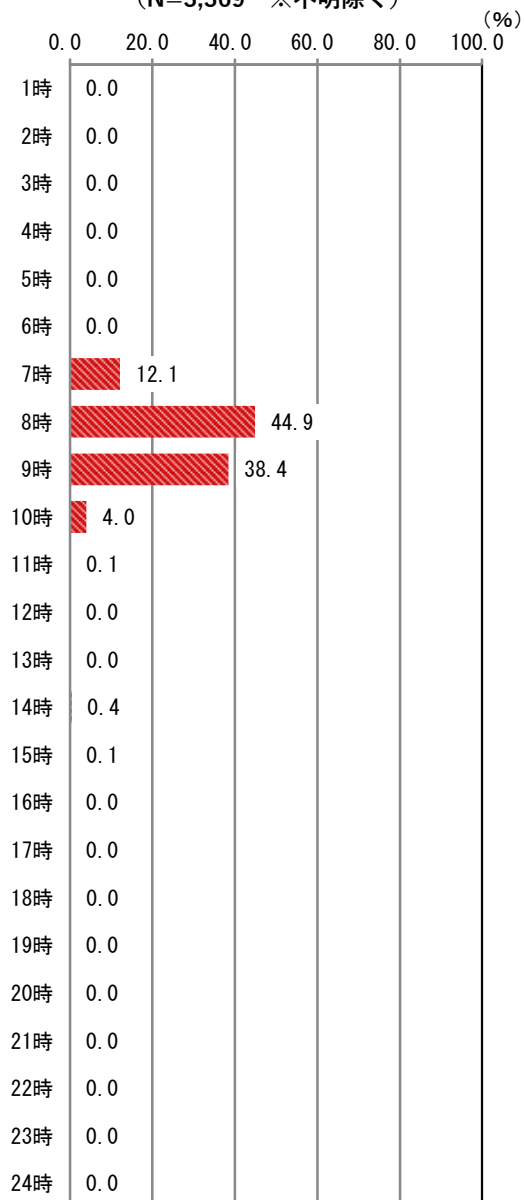


○利用開始時刻（現状）は「8時」（44.9%）、「9時」（38.4%）、利用終了時刻（現状）は「18時」（27.4%）、「17時」（25.9%）が多くなっている。また「14時」も14.9%と比較的多いが、これは幼稚園の利用時刻が反映されているためである。

問 20-2 (1) 【教育・保育事業利用者限定】

利用開始時刻（現状）＜IN＞

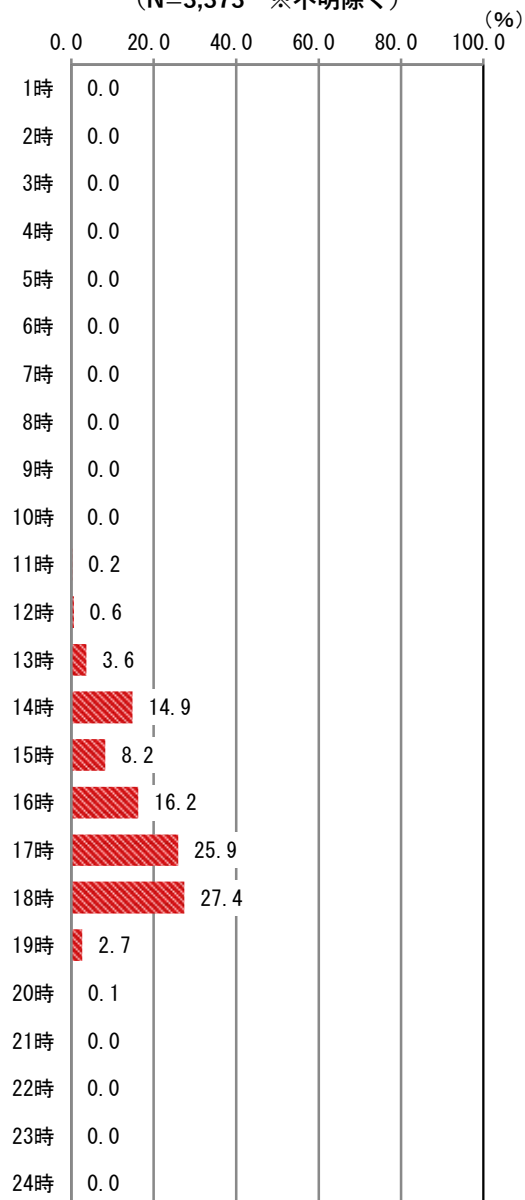
（N=3,369 ※不明除く）



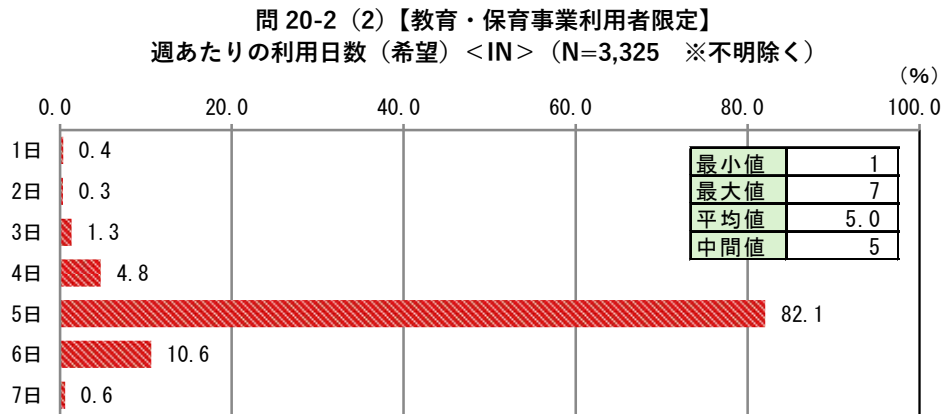
問 20-2 (1) 【教育・保育事業利用者限定】

利用終了時刻（現状）＜IN＞

（N=3,373 ※不明除く）



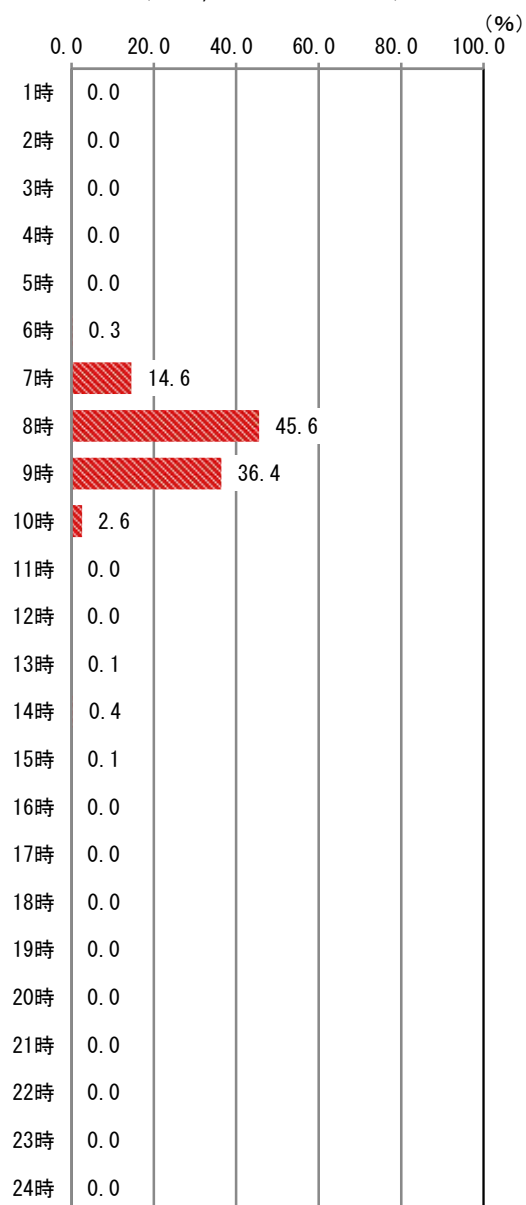
○「問 20-2（2）週あたりの利用日数（希望）」は「現状」と同様、「5 日」が最も多かった（82.1%）。



- 利用開始時刻（希望）も「現状」と同様、「8時」（45.6%）、「9時」（36.49%）が多くなっている。
- 利用終了時刻（希望）も同様であり、「18時」（27.8%）、「17時」（25.1%）が多い。

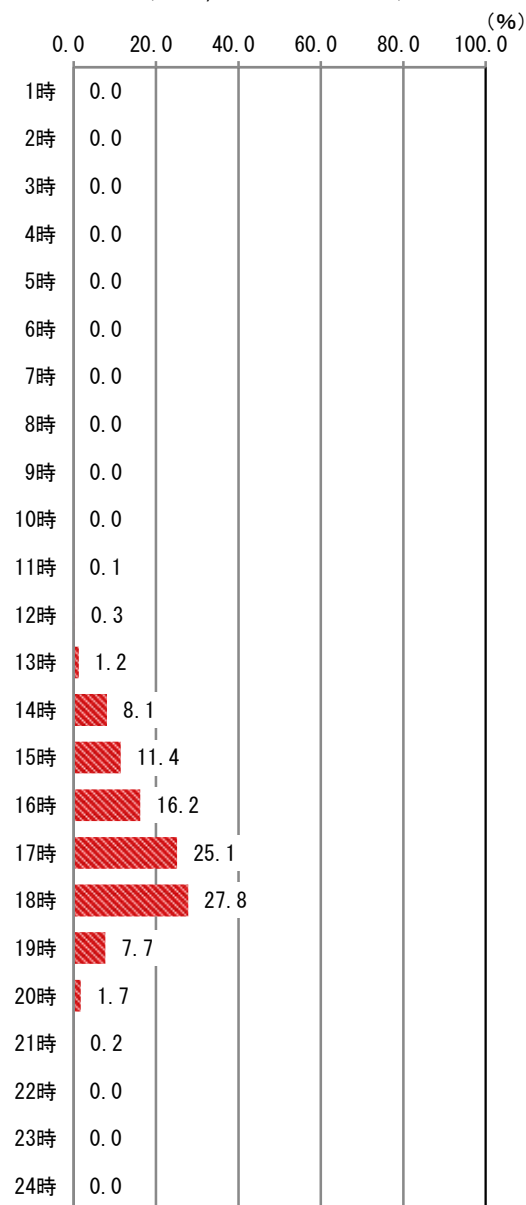
問 20-2 (2) 【教育・保育事業利用者限定】

利用開始時刻（希望）＜IN＞
（N=3,322 ※不明除く）



問 20-2 (2) 【教育・保育事業利用者限定】

利用終了時刻（希望）＜IN＞
（N=3,316 ※不明除く）

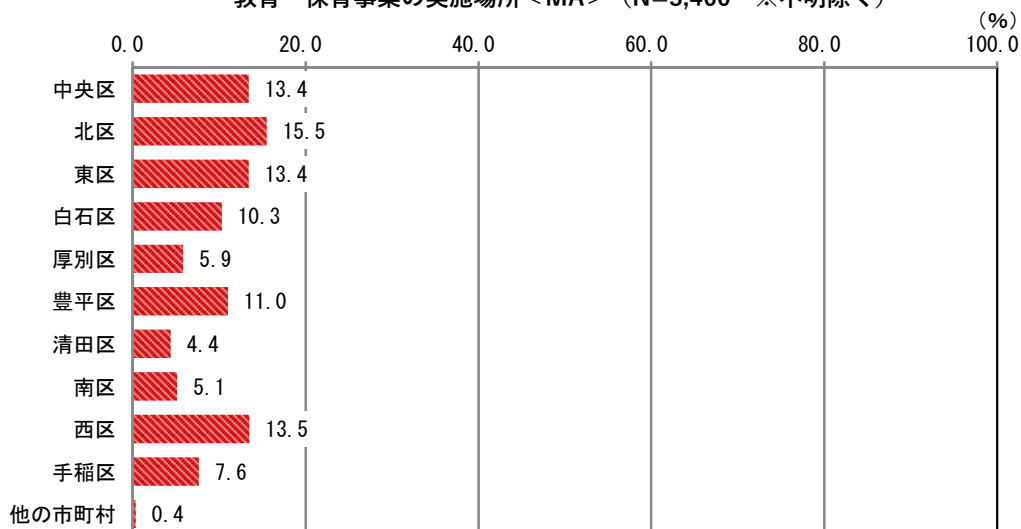


問 20-3 問 20 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてお答えください。(○はいくつでも)

1. 中央区 2. 北区 3. 東区 4. 白石区 5. 厚別区 6. 豊平区
7. 清田区 8. 南区 9. 西区 10. 手稲区
11. 札幌市外 () 市・町・村)

問 20-3 【教育・保育事業利用者限定】

教育・保育事業の実施場所<MA> (N=3,400 ※不明除く)



(クロス集計表) 問 20-3 【教育・保育事業利用者限定】

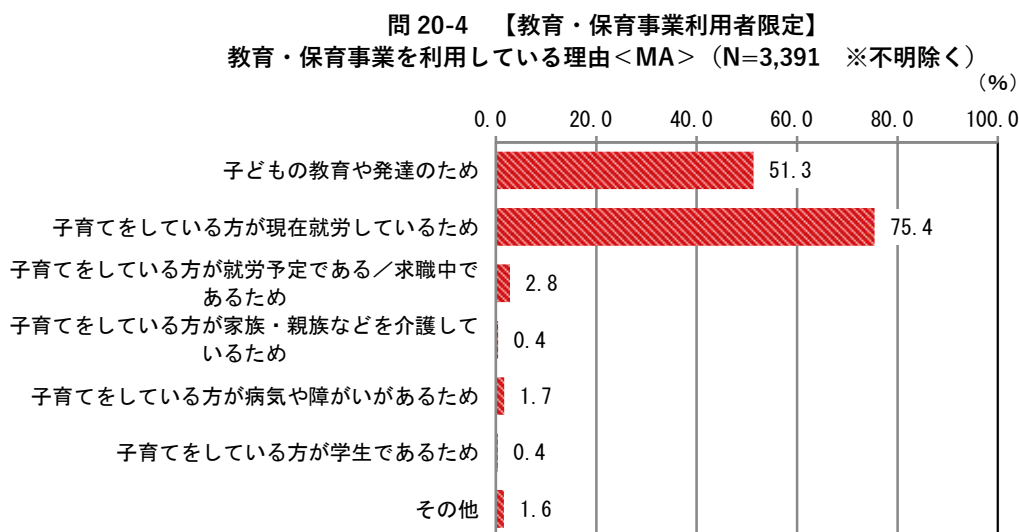
教育・保育事業の実施場所～居住区別<MA> (※不明除く)

	N	中央区	北区	東区	白石区	厚別区	豊平区	清田区	南区	西区	手稲区	他の市町村
全体	3,400	13.4	15.5	13.4	10.3	5.9	11.0	4.4	5.1	13.5	7.6	0.4
中央区	408	87.7	1.0	1.2	0.2	-	3.7	-	1.0	6.1	0.2	-
北区	513	2.5	91.6	3.7	-	-	-	-	-	1.8	1.2	0.2
東区	477	3.6	5.7	88.9	0.6	0.2	0.8	-	-	-	-	0.2
白石区	337	3.9	-	1.2	89.6	1.5	3.3	0.9	-	-	-	-
厚別区	197	1.5	-	-	5.6	89.8	0.5	2.0	-	-	-	0.5
豊平区	366	2.5	0.8	-	6.3	0.5	86.9	1.1	2.5	-	-	-
清田区	178	-	-	0.6	4.5	7.3	6.2	77.5	0.6	0.6	-	3.9
南区	190	6.8	-	0.5	0.5	-	7.9	-	83.2	1.1	-	-
西区	464	6.0	4.1	0.2	-	0.2	-	-	0.6	86.9	2.8	-
手稲区	268	0.7	1.5	0.4	0.4	-	-	-	-	7.1	89.2	0.7
札幌市外	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問 20-4 問 20 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。 平日の定期的な「教育・保育事業」を利用されている理由をお答えください。(○はいくつでも)

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育てをしている方が現在就労しているため
3. 子育てをしている方が就労予定である／求職中であるため
4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護しているため
5. 子育てをしている方が病気や障がいがあるため
6. 子育てをしている方が学生であるため
7. その他（ ）

○「子育てをしている方が現在就労しているため」が 75.4%で最も多く挙げられた。「子どもの教育や発達のため」(51.3%) が次ぐ。



その他

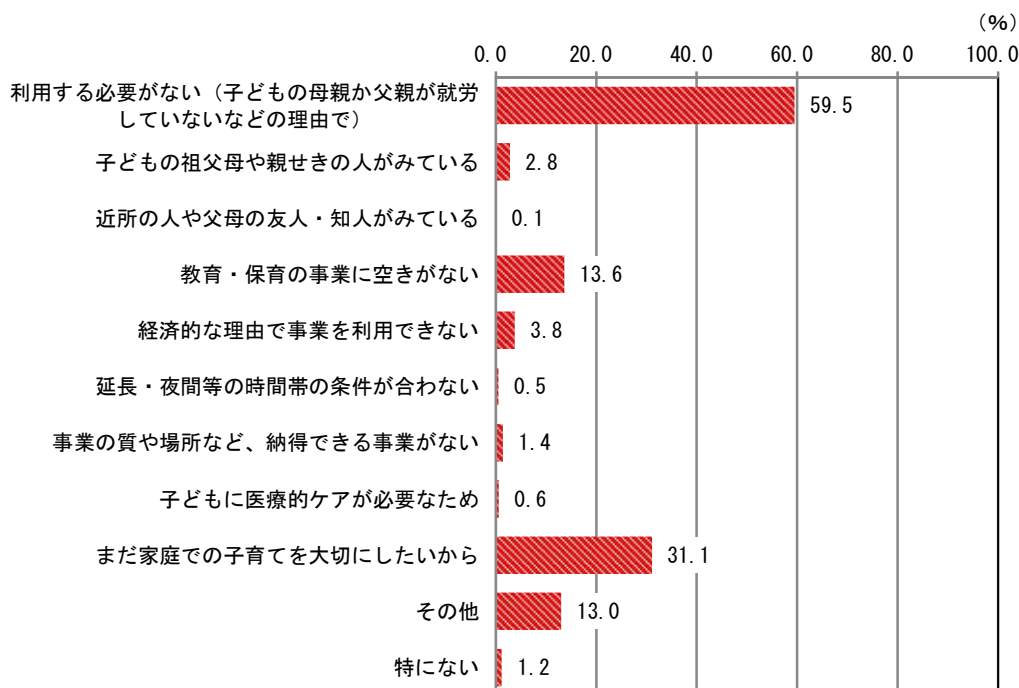
- 下の子の育児・出産のため (27)
- 育休中のため (9)
- 育児が大変なため、母親が疲れているため・負担軽減のため (7) など

問 20-5 問 20 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。 利用していない理由をお答えください。(○はいくつでも)

1. 利用する必要がない（子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）
2. 子どもの祖父母や親せきの人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 教育・保育の事業に空きがない
5. 経済的な理由で事業を利用できない
6. 延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもに医療的ケアが必要なため
9. まだ家庭での子育てを大切にしたいから
⇒（□□歳くらいになったら利用しようと考えている）
10. その他（ ）
11. 特にない

○「利用する必要がない」(59.5%) が最も多く挙げられた。「まだ家庭での子育てを大切にしたいから」も 3 割超の人が挙げている (31.1%)。

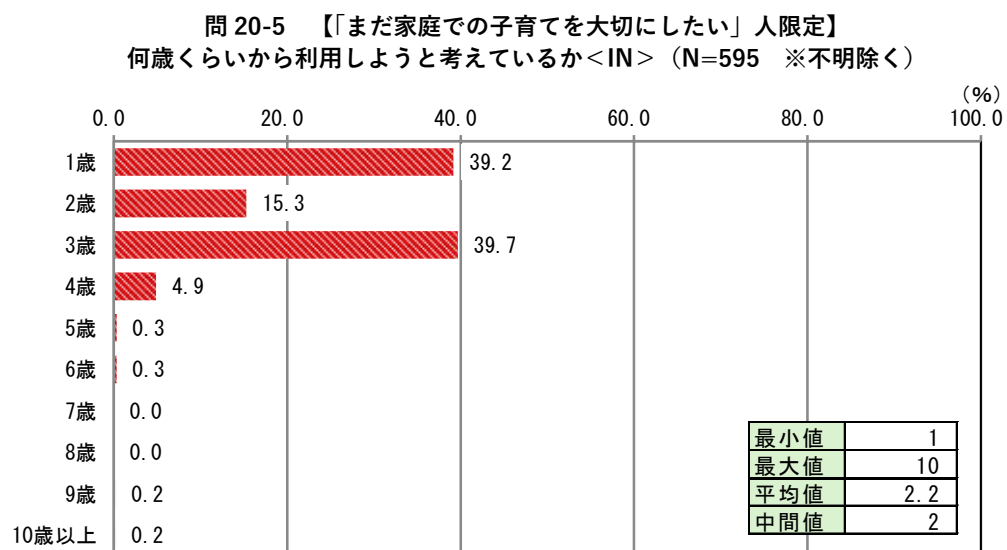
問 20-5 【教育・保育事業未利用者限定】
教育・保育事業を利用していない理由<MA> (N=1,969 ※不明除く)



その他

- 産休・育休中のため (85)
- 今後入所・入園予定、申込中 (50)
- 子どもが生まれたばかり・まだ小さいため (33)
- 児童デイサービス・療育施設に通っているため (9)
- 在宅勤務が可能のため (6) など

- 「教育・保育事業を利用していない理由」として「まだ家庭での子育てを大切にしたいから」との回答者に「何歳くらいから利用しようと考えているか」を聞いたところ「3歳」(39.7%)と「1歳」(39.2%)がほぼ同率で多くなっている。



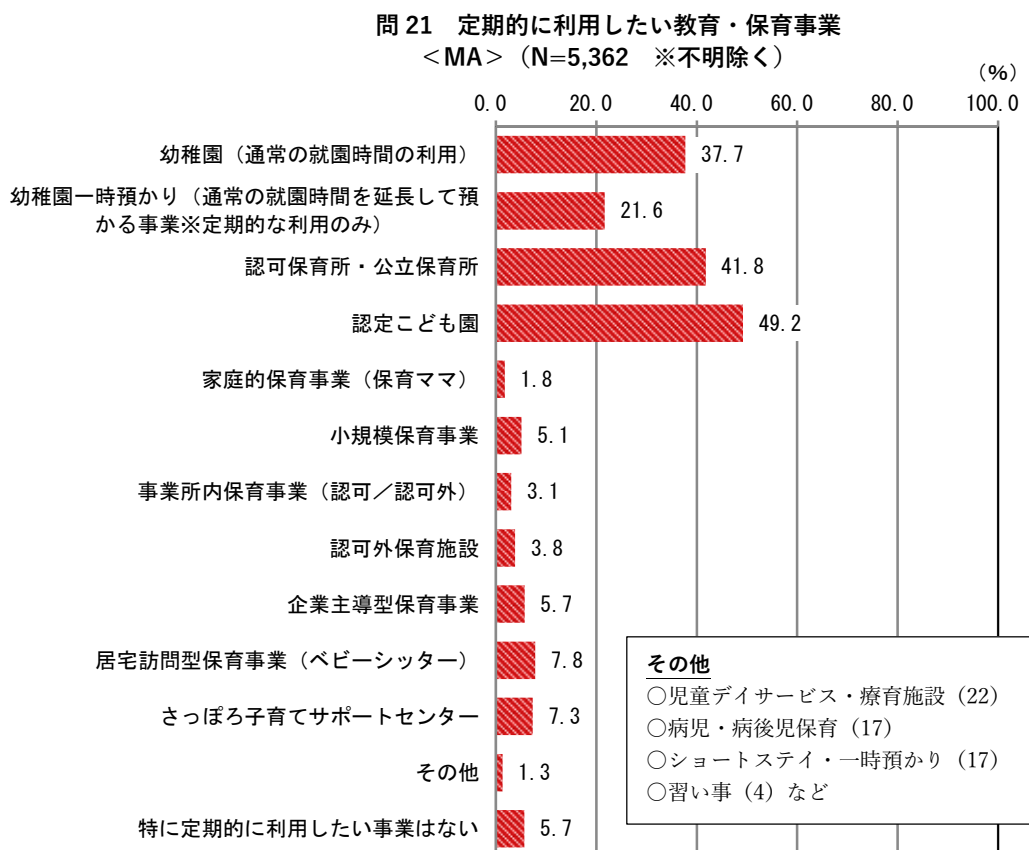
問 21 **すべての方にうかがいます。** 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名の方（お子さん）の平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（○はいくつでも）

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。ご回答にあたっては、添付資料の「事業の内容と利用料」で事業の内容をご確認ください。

※既に利用をしている方も、実際の利用希望をお答えください。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園一時預かり（通常の就園時間を延長して預かる事業※定期的な利用のみ）
3. 認可保育所・公立保育所
4. 認定こども園
5. 家庭的保育事業（保育ママ）
6. 小規模保育事業
7. 事業所内保育事業（認可／認可外）
8. 認可外保育施設
9. 企業主導型保育事業
10. 居宅訪問型保育事業（ベビーシッター）
11. さっぽろ子育てサポートセンター
12. その他（ ）
13. 特に定期的に利用したい事業はない ⇒問 21-3 へ

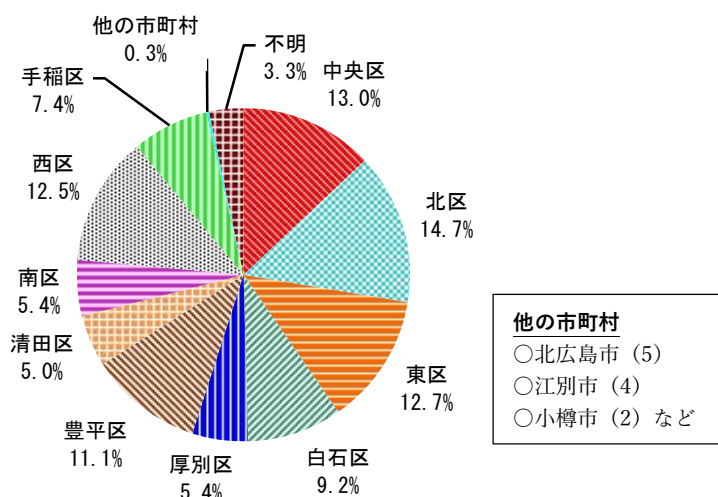
○「認定こども園」(49.2%)が最も多く、「認可保育所・公立保育所」(41.8%)、「幼稚園」(37.7%)と、現状と同様の順番となっている。



問 21-1 問 21 で「1」～「12」（利用したい事業がある）に○をつけた方にうかがいます。 教育・保育事業を最も利用したい場所はどこですか。（○は1つだけ）

1. 中央区 2. 北区 3. 東区 4. 白石区 5. 厚別区 6. 豊平区
7. 清田区 8. 南区 9. 西区 10. 手稲区
11. 札幌市外（ ）市・町・村）

問 21-1 【利用したい事業がある方限定】
教育・保育事業を最も利用したい場所＜SA＞（N=5,090）



（クロス集計表）問 21-1 【利用したい事業がある方限定】
教育・保育事業を最も利用したい場所～居住区別＜SA＞

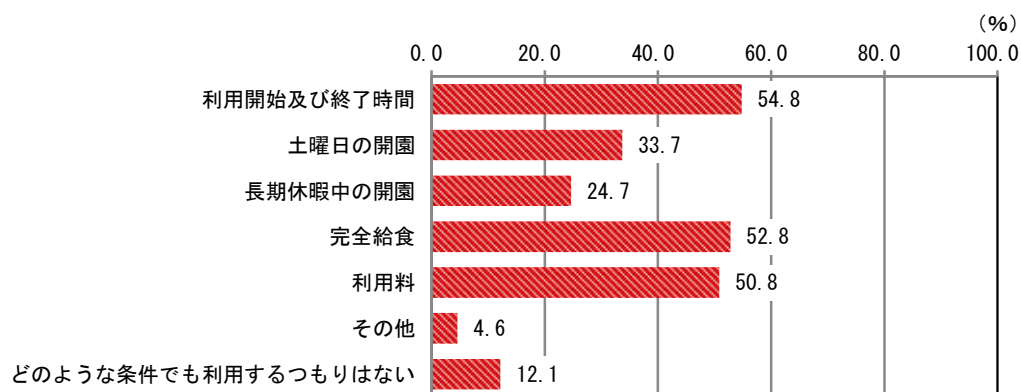
	N	中央区	北区	東区	白石区	厚別区	豊平区	清田区	南区	西区	手稲区	他の市町村
全体	4,921	13.4	15.2	13.1	9.5	5.6	11.4	5.2	5.6	13.0	7.7	0.3
中央区	614	95.4	0.2	0.5	0.2	-	1.6	-	0.5	1.6	-	-
北区	741	1.5	95.4	0.9	-	0.3	0.1	0.3	0.3	0.5	0.7	-
東区	686	2.5	4.1	91.8	-	0.3	0.6	0.3	0.1	0.1	-	0.1
白石区	478	2.1	0.4	1.0	92.1	1.0	1.9	1.0	-	0.2	-	0.2
厚別区	272	0.7	0.4	-	1.8	93.8	0.4	1.1	-	-	-	1.8
豊平区	566	1.8	-	0.2	2.8	0.4	92.4	0.5	1.8	0.2	-	-
清田区	261	0.4	-	-	1.9	2.3	1.9	91.6	0.4	-	-	1.5
南区	282	3.2	0.4	-	-	-	3.5	-	92.2	0.7	-	-
西区	639	2.2	1.1	-	-	0.3	-	-	-	95.5	0.8	0.2
手稲区	380	0.3	-	0.3	-	-	-	-	-	2.4	96.6	0.5
札幌市外	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

1. はい 2. いいえ

1. 利用開始及び終了時間 ⇒ 希望する利用開始時間□□時～終了時間□□時
2. 土曜日の開園
3. 長期休暇中の開園 ⇒ 長期期間中の休園日 日・祝日除く□□日以内
4. 完全給食
5. 利用料
6. その他（ ）
7. どのような条件でも利用するつもりはない

○幼稚園の一時預かりをどのような条件が整えば利用したいかとの間については「利用開始及び終了時間」(54.8%) が最も多く、以下「完全給食」(52.8%)、「利用料」(50.8%) が続く。

問 21-3 幼稚園の一時預かりをどのような条件が整えば利用したいか<MA> (N=5,299 ※不明除く)

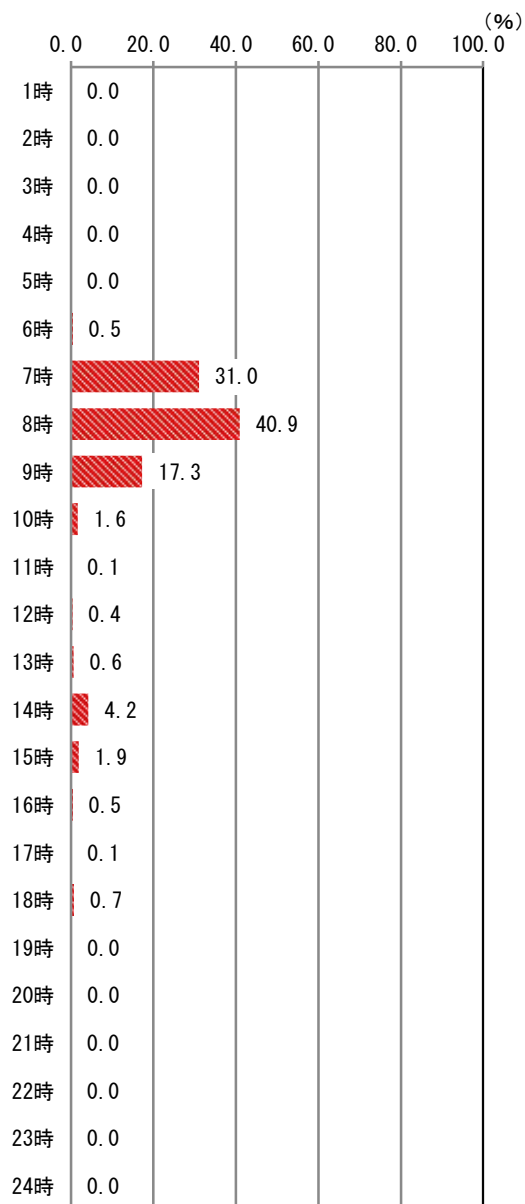


その他

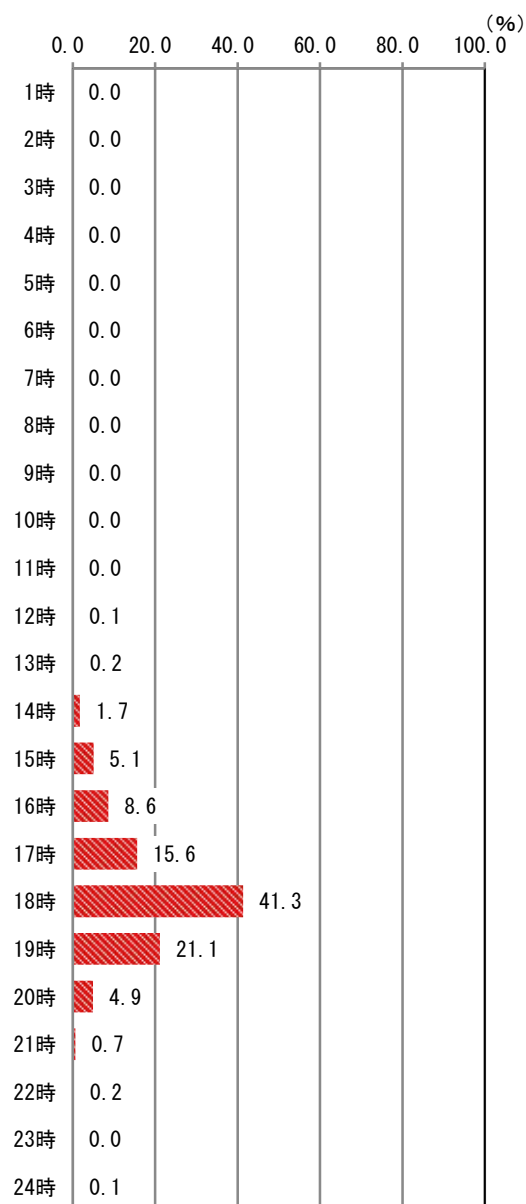
- バス等での送迎あり (33)
- いつでも気軽に利用できる (26)
- 就労・障がい有無等、利用の条件がなく利用できる (21)
- 土・日・祝日・長期休暇期間中に預けられる (15)
- 自宅に近い・立地が良い (13)
- 考えていない・わからない (11)
- PTA・行事などの親の負担が少ない (10)
- 信頼できる施設・職員である (10)
- 教育内容・質が充実する (9)
- 今のままで良い・不満はない (9) など

○幼稚園の一時預かりを利用開始・終了時間が合えば利用したいと回答した人に、希望する利用開始時間と利用終了時間を聞いたところ、利用開始時間については「8時」(40.9%)、「7時」(31.0%)との回答が多かった。利用終了時間は、「18時」(41.3%)が特に多い。

問 21-3 【幼稚園の一時預かりを利用開始・
終了時間が合えば利用したい方限定】
希望する利用開始時間<IN> (N=2,852 ※不明除く)

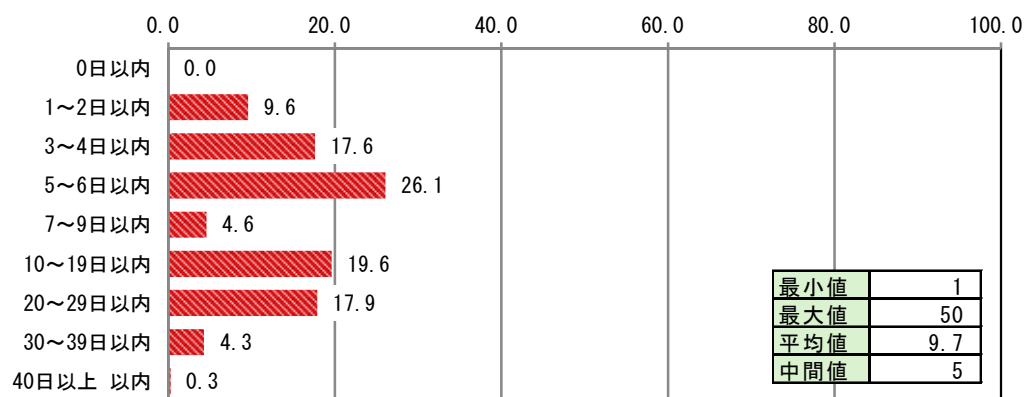


問 21-3 【幼稚園の一時預かりを利用開始・
終了時間が合えば利用したい方限定】
希望する利用終了時間<IN> (N=2,870 ※不明除く)



○幼稚園の一時預かりを長期休暇中の開園があれば利用したい方に長期休暇中の休園日が何日以内であれば良いかを聞いたところ、平均値は 9.7 日であった

問 21-3 【幼稚園の一時預かりを長期休暇中の開園があれば利用したい方限定】長期休暇中の休園日が何日以内であれば良いか<IN> (N=698 ※不明除く)



(6) 土日祝日、長期休暇中の「教育・保育事業」の利用希望

問 22 宛名の方（お子さん）について、土曜日、日曜日・祝日に、定期的な「教育・保育事業」の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。利用希望と利用したい時間帯をお答えください。（○は1つだけ。時間は24時間制で記入）

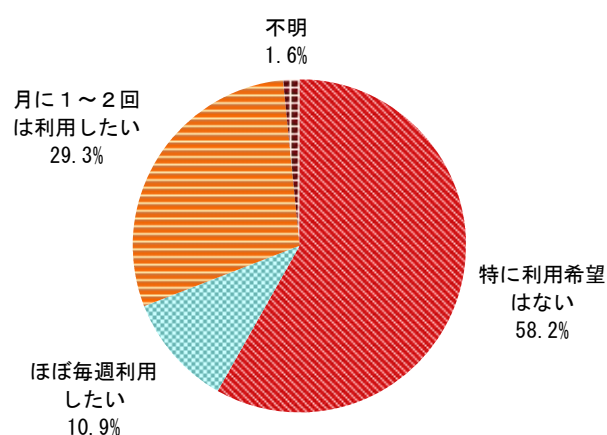
※事業の利用には、一定の利用者負担が発生することを踏まえてお答えください。

(1) 土曜日	1. 特に利用希望はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	⇒利用したい時間帯□□時～□□時
(2) 日曜日 祝日	1. 特に利用希望はない 2. ほぼ毎週利用したい 3. 月に1～2回は利用したい	⇒利用したい時間帯□□時～□□時

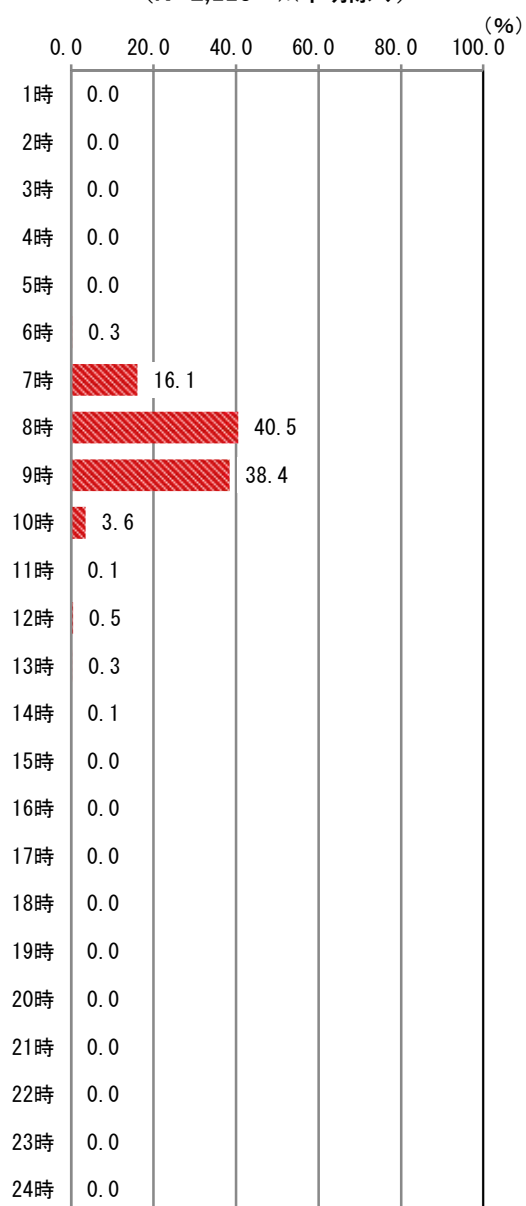
○土曜日の教育・保育事業の利用希望に関しては、58.2%が「特に利用希望はない」と回答した。

○希望する利用開始時間としては「8時」（40.5%）、「9時」（38.4%）が多く、利用終了時間としては「18時」（32.2%）、「17時」（23.1%）が特に多く挙げられた。

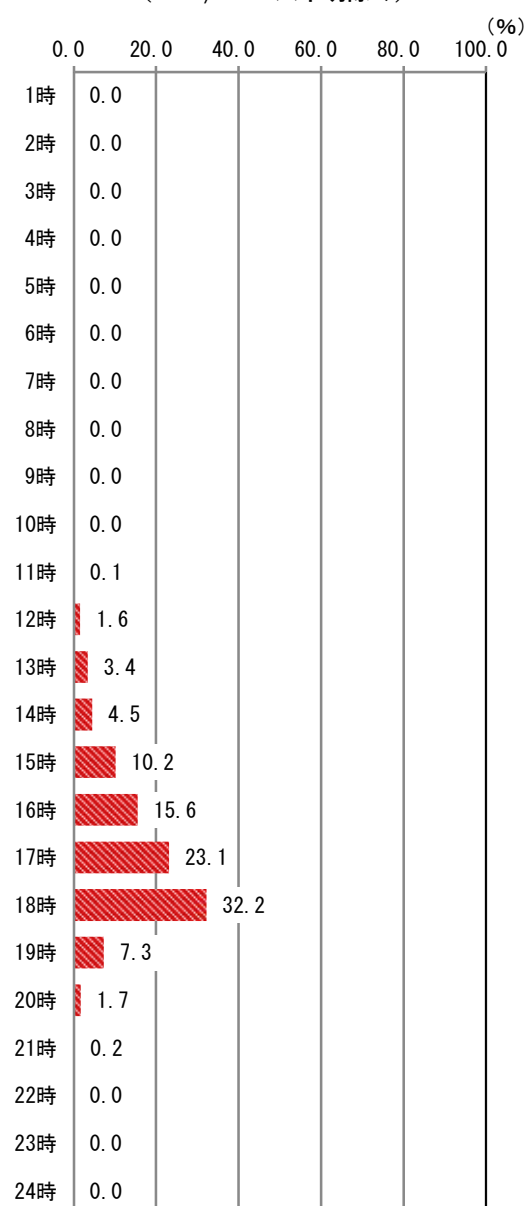
問 22 (1) 土曜日の「教育・保育事業」利用希望<SA>
(N=5,394)



問 22 (1) 【土曜日利用希望者限定】
希望する利用開始時間<IN>
(N=2,110 ※不明除く)

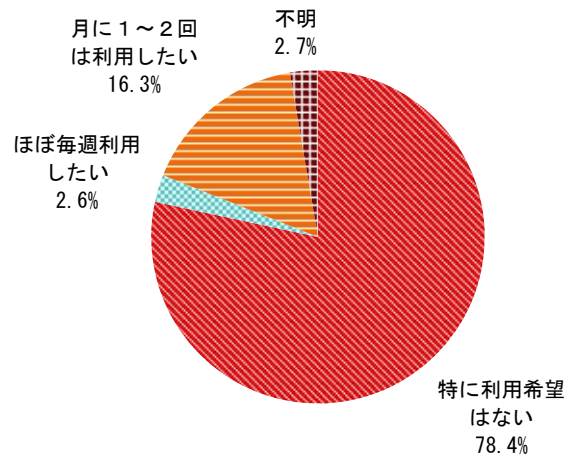


問 22 (1) 【土曜日利用希望者限定】
希望する利用終了時間<IN>
(N=2,109 ※不明除く)



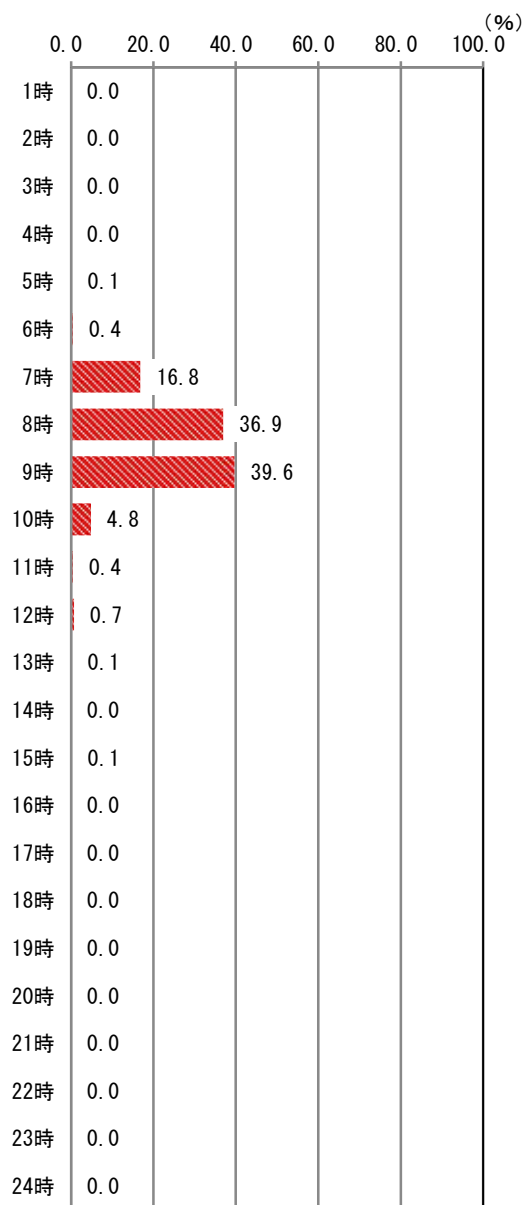
○日曜・祝日の教育・保育事業の利用希望だが、78.4%が「特に利用希望はない」と回答した。

問 22 (2) 日曜・祝日の「教育・保育事業」利用希望<SA>
(N=5,394)

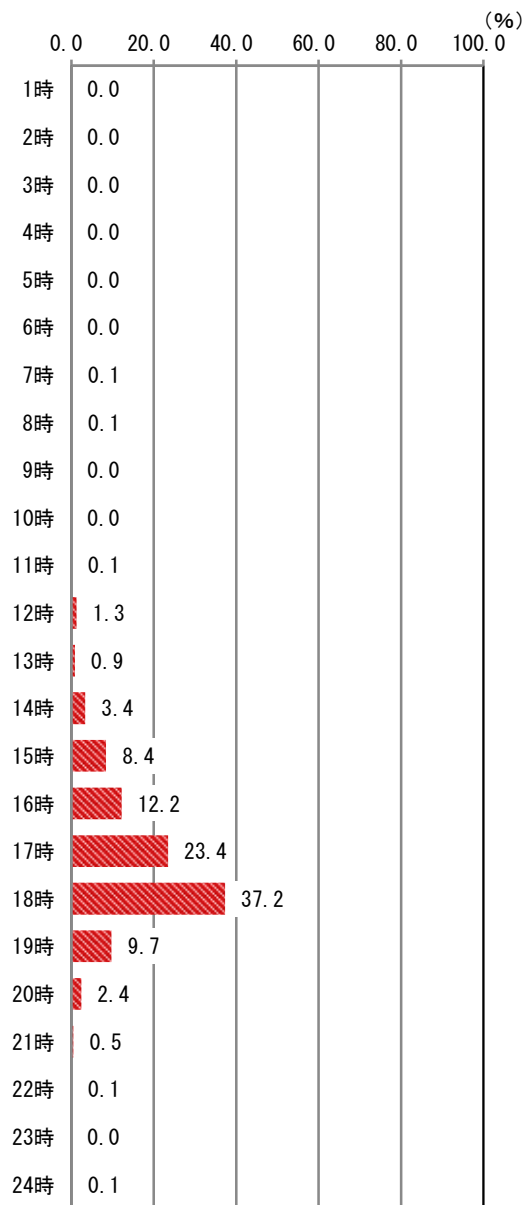


○日曜・祝日の教育・保育事業について希望する利用開始時間は「9 時」(39.6%)、「8 時」(36.9%) が、利用終了時間については「18 時」が 37.2%で最も多く挙げられている。

問 22 (2) 【日曜・祝日利用希望者限定】
希望する利用開始時間<IN>
(N=999 ※不明除く)



問 22 (2) 【日曜・祝日利用希望者限定】
希望する利用終了時間<IN>
(N=999 ※不明除く)



(クロス集計表) 問 22 (2) 日曜・祝日の「教育・保育事業」利用希望～母/父の日曜・祝日の就労状況別<SA>

	N	特に利用希望はない	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回は利用し	不明
全体	3,824	75.3	3.3	18.9	2.5
問18-4 母親の日曜日・祝日の就労状況					
日曜日または祝日が固定勤務	190	64.7	11.6	21.1	2.6
日曜日または祝日にシフト勤務もしくは月1回以上勤務	799	50.1	7.8	39.3	2.9
日曜日・祝日は勤務していない	2,810	83.3	1.5	13.1	2.1
問19-4 父親の日曜日・祝日の就労状況					
日曜日または祝日が固定勤務	529	71.3	7.2	19.7	1.9
日曜日または祝日にシフト勤務もしくは月1回以上勤務	1,659	69.9	3.9	23.3	3.0
日曜日・祝日は勤務していない	2,646	87.0	0.8	10.1	2.0

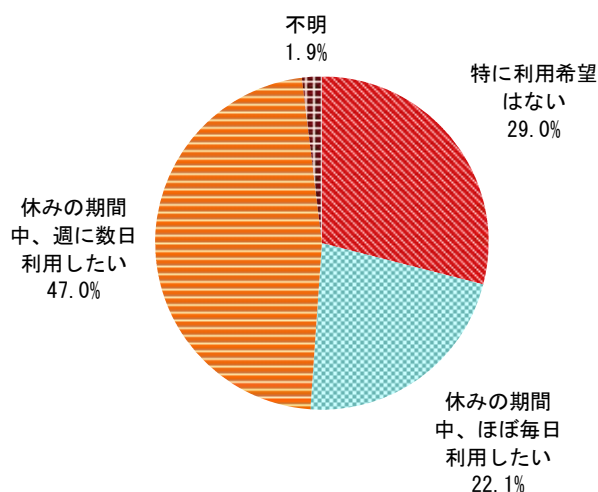
問 23 宛名の方（お子さん）が「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の「教育・保育事業」の利用を希望しますか。利用希望と利用したい時間帯をお答えください。（○は1つだけ。時間は 24 時間制で記入）

※事業の利用には、一定の利用者負担が発生することを踏まえてお答えください。

- | | |
|--|--------------------|
| 1. 特に利用希望はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3. 休みの期間中、週に数日利用したい | } ⇒利用したい時間帯□□時～□□時 |
|--|--------------------|

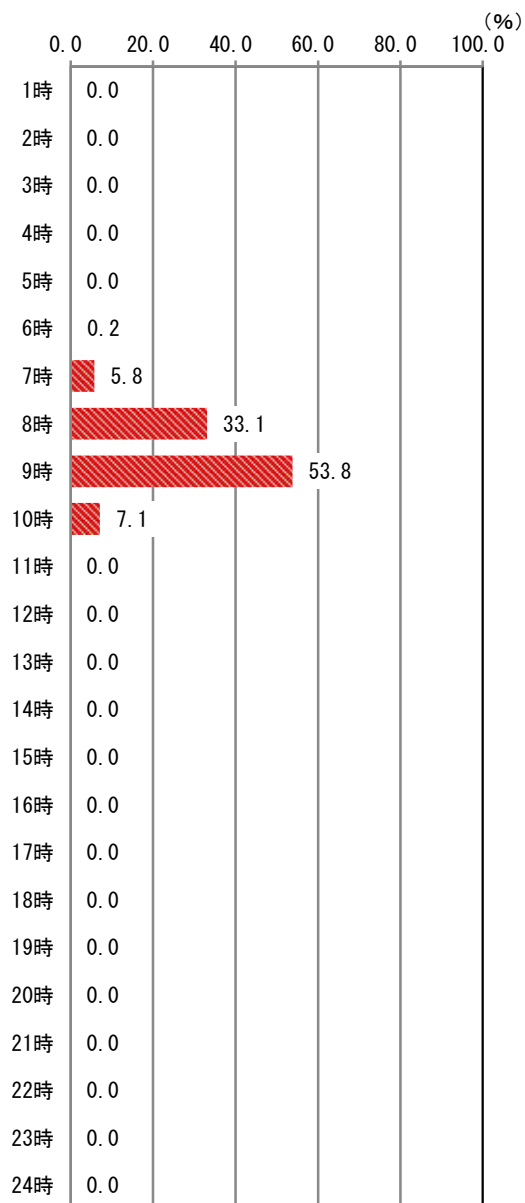
○47.0%が「休みの期間中、週に数日利用したい」、22.1%が「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」と回答した。

問 23 【幼稚園利用者限定】長期休暇期間中の利用希望
<SA> (N=779)

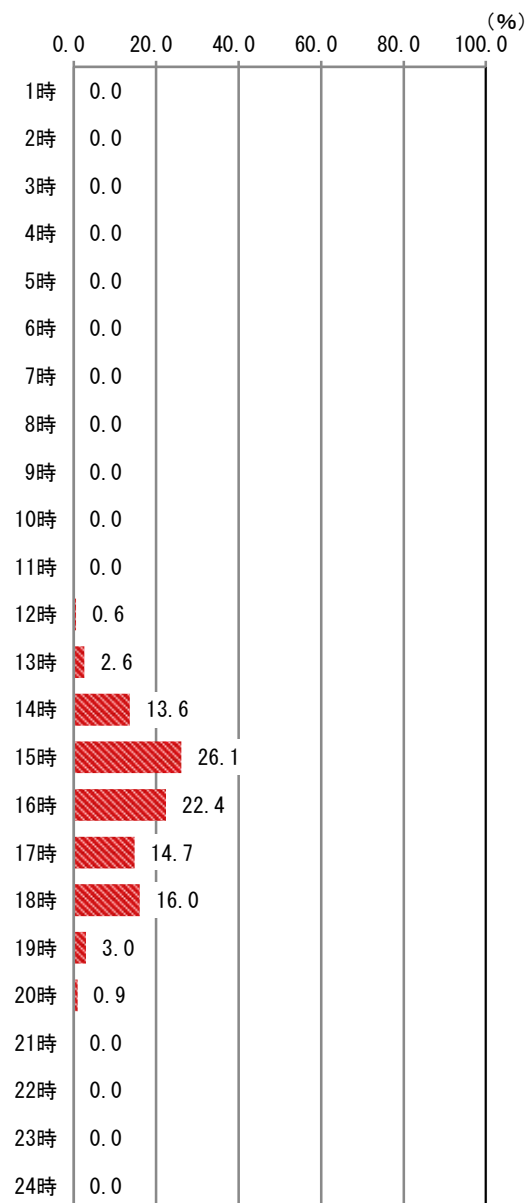


○長期の休暇期間中の「教育・保育事業」の希望の利用開始時間としては「9 時」が特に多く挙げられており（53.8%）、利用終了時間は「15 時」（26.1%）、「16 時」（22.4%）が特に挙げられている。

問 23 【幼稚園利用者かつ長期休暇期間中の利用
希望者限定】希望する利用開始時間＜IN＞
（N=535 ※不明除く）



問 23 【幼稚園利用者かつ長期休暇期間中の利用
希望者限定】希望する利用終了時間＜IN＞
（N=536 ※不明除く）



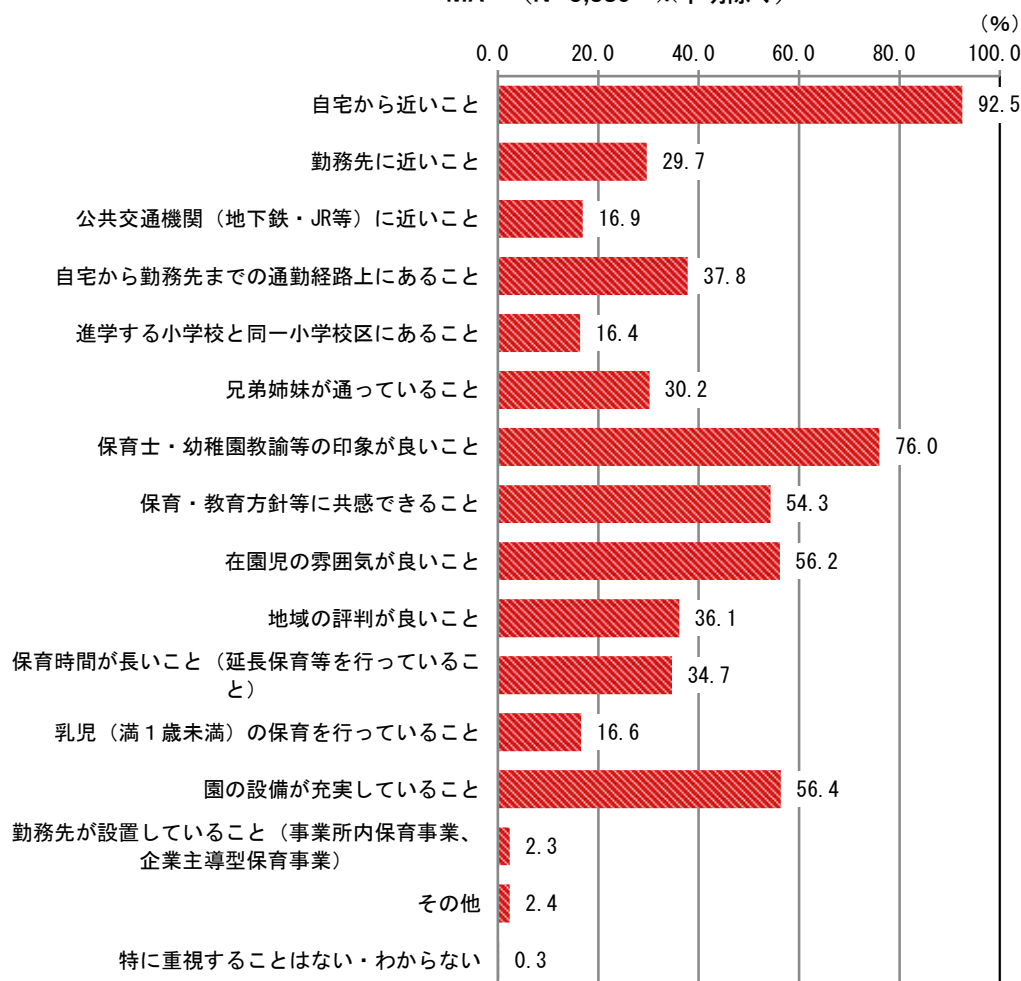
(7)「教育・保育事業」の利用にあたって重視すること

問 24 「教育・保育事業」を利用するにあたり、どのようなことを重視しますか。(〇は
いくつでも)

1. 自宅から近いこと
2. 勤務先に近いこと
3. 公共交通機関（地下鉄・JR等）に近いこと
4. 自宅から勤務先までの通勤経路上にあること
5. 進学する小学校と同一小学校区にあること
6. 兄弟姉妹が通っていること
7. 保育士・幼稚園教諭等の印象が良いこと
8. 保育・教育方針等に共感できること
9. 在園児の雰囲気が良いこと
10. 地域の評判が良いこと
11. 保育時間が長いこと（延長保育等を行っていること）
12. 乳児（満1歳未満）の保育を行っていること
13. 園の設備が充実していること
14. 勤務先が設置していること（事業所内保育事業、企業主導型保育事業）
15. その他（ ）
16. 特に重視することはない・わからない

- 「自宅から近いこと」を9割超の人が挙げている（92.5%）。以下「保育士・幼稚園教諭等の印象が良いこと」（76.0%）、「園の設備が充実していること」（56.4%）、「在園児の雰囲気が良いこと」（56.2%）、「保育・教育方針等に共感できること」（54.3%）を半数以上の人が挙げた。

問 24 「教育・保育事業」の利用にあたって重視すること
<MA> (N=5,380 ※不明除く)



その他

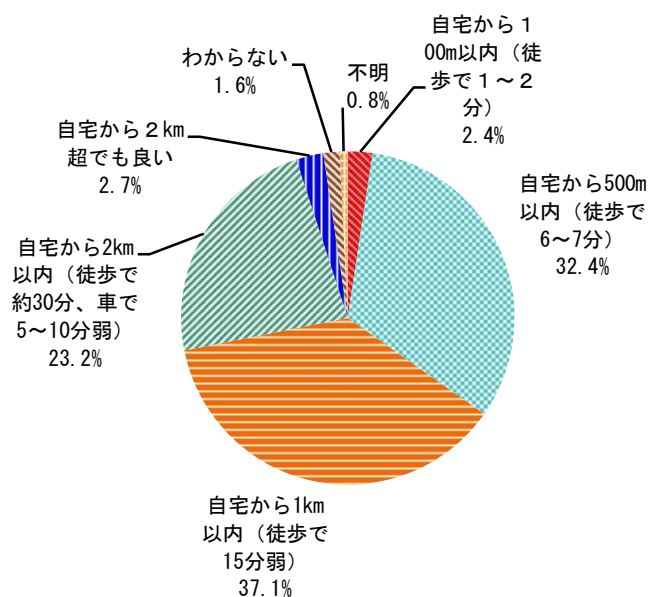
- 給食がある（18）
- 教育内容・質が充実している（17）
- 費用（16）
- 信頼できる施設・職員である（13）
- 安全・安心に預けられる（12）
- バス等での送迎あり（10）
- PTA・行事・用具などの親の負担が少ない（9）
- 障がい・発達障がいの子を受け入れてくれる・理解がある（8）など

問 24-1 問 24 で「1. 自宅から近いこと」に○をつけた方にうかがいます。「教育・保育事業」の利用先まで、自宅から最大限どの程度の距離までなら利用できるとお考えですか。(○は1つだけ)

1. 自宅から100m 以内（徒歩で1～2分）
2. 自宅から500m 以内（徒歩で6～7分）
3. 自宅から1km 以内（徒歩で15分弱）
4. 自宅から2km 以内（徒歩で約30分、車で5～10分弱）
5. 自宅から2km 超でも良い（約 km までなら可）
6. わからない

○「自宅から1km 以内（徒歩で15分弱）」が最も多く37.1%の人が挙げた。以下「自宅から500m 以内（徒歩で6～7分）」(32.4%)、「自宅から2km 以内（徒歩で約30分、車で5～10分弱）」(23.2%)の順であった。

問 24-1 【「自宅から近いこと」回答者限定】
利用できると考える「教育・保育事業」利用先までの距離<SA>
(N=4,980)



(8)【平日の「教育・保育事業」利用者限定】子どもが病気・ケガの際の対応

問 25 平日の定期的な「教育・保育事業」を利用していると答えた保護者の方（問 20 で「1. 利用している」に○をつけた方）にうかがいます。定期的な「教育・保育事業」を利用していない方は、問 26 にお進みください。この1年間に、宛名の方（お子さん）が病気やケガで通常の「教育・保育事業」が利用できなかったことはありましたか。（○は1つだけ）

- | | |
|---------|-----------|
| 1. あった | ⇒問 25-1 へ |
| 2. なかった | ⇒問 26 へ |

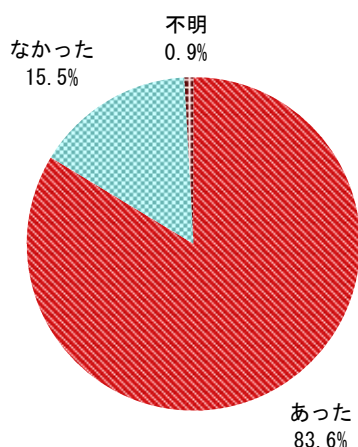
問 25-1 問 25 で、「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。この1年間でお子さんが病気やけがで普段利用している「教育・保育事業」が利用できなかった場合に、どのように対応されたかをお答えください（○はいくつでも）。また、それぞれについておおよその日数もお答えください。

※半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。

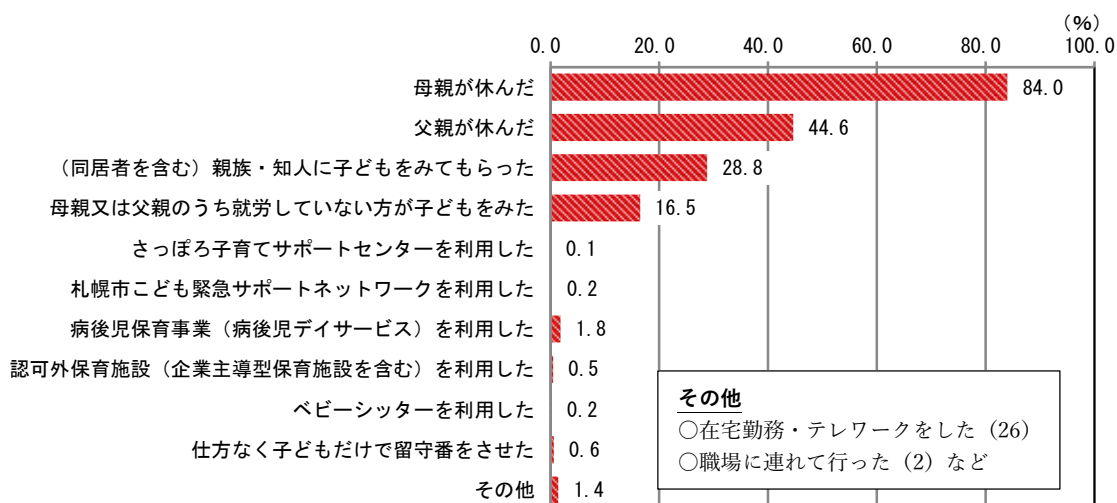
- | | | |
|-------------------------------|-------------|----------|
| 1. 母親が休んだ | ⇒1年間で□□日程度 | }⇒問 26 へ |
| 2. 父親が休んだ | ⇒1年間で□□日程度 | |
| 3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった | ⇒1年間で□□日程度 | |
| 4. 母親又は父親のうち就労していない方が子どもをみた | ⇒1年間で□□日程度 | |
| 5. さっぽろ子育てサポートセンターを利用した | ⇒1年間で□□日程度 | |
| 6. 札幌市こども緊急サポートネットワークを利用した | ⇒1年間で□□日程度 | |
| 7. 病後児保育事業（病後児デイサービス）を利用した | ⇒1年間で□□日程度 | |
| 8. 認可外保育施設（企業主導型保育施設を含む）を利用した | ⇒1年間で□□日程度 | |
| 9. ベビーシッターを利用した | ⇒1年間で□□日程度 | |
| 10. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた | ⇒1年間で□□日程度 | |
| 11. その他（ | ）⇒1年間で□□日程度 | |

- 83.6%の人が「子どもが病気やケガで教育・保育事業が利用できなかったことがあった」と回答した。
- その際の対応としては「母親が休んだ」が最も多く 8 割超（84.0%）であった。「父親が休んだ」は 44.6%であった。
- 「母親が休んだ」年あたりの日数の平均値は 15.6 日であった一方、「父親が休んだ」のは 6.5 日であり、母親が父親の 2 倍以上の日数を休んで対応していることがわかる。

問 25 子どもが病気やケガで「教育・保育事業」が
利用できなかったことがあったか<SA> (N=3,406)



問 25-1 【子どもが病気やケガで「教育・保育事業」が利用で
きなかつたことがあった方限定】どのように対応したか
<MA> (N=2,846 ※不明除く)



問 25-1 子どもが病気やケガで「教育・保育事業」が利用できなかった場合どのように対応したか
～各対応の日数＜IN＞（※不明除く）

■度数分布

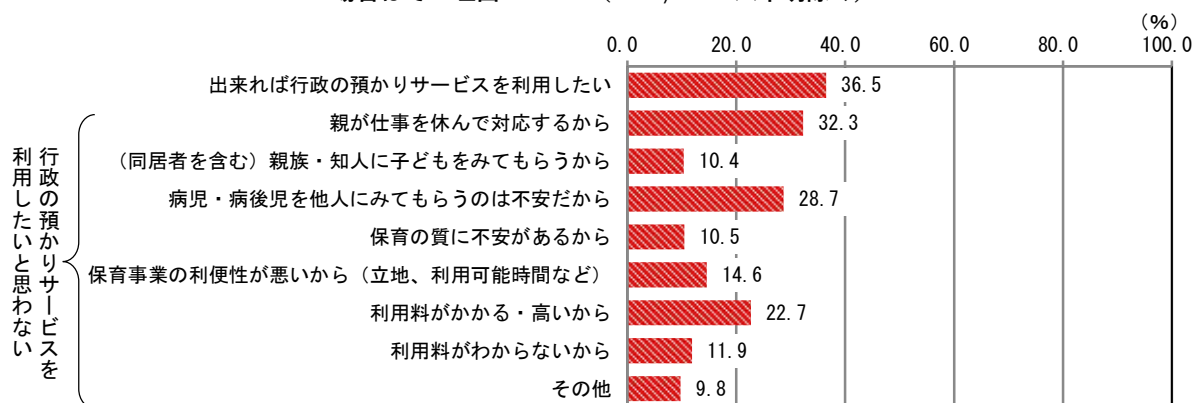
	N	1～2日	3～4	5～6	7～9	10～14	15～29	20～29	30～39	40～49	50日以上
母親が休んだ	2,366	3.6	5.7	11.5	6.4	28.3	11.7	18.3	9.1	2.4	2.9
父親が休んだ	1,261	21.3	16.8	26.1	7.8	19.1	4.0	3.7	1.0	0.1	0.2
（同居者を含む）親族・知人に子どもを	801	19.4	17.0	21.6	5.5	20.5	3.9	7.9	2.7	0.6	1.0
母親又は父親のうち就労していない方が	457	3.1	7.0	9.4	3.5	23.6	10.1	21.0	12.0	3.7	6.6
さっぽろ子育てサポートセンターを利	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
札幌市子ども緊急サポートネットワーク	7	42.9	28.6	14.3	-	14.3	-	-	-	-	-
病後児保育事業（病後児デイサービス）	51	43.1	19.6	11.8	7.8	7.8	2.0	5.9	-	-	2.0
認可外保育施設（企業主導型保育施設を	9	66.7	22.2	11.1	-	-	-	-	-	-	-
ベビーシッターを利用した	5	40.0	-	20.0	-	40.0	-	-	-	-	-
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	16	56.3	12.5	12.5	6.3	-	6.3	6.3	-	-	-
その他	34	8.8	-	35.3	-	20.6	14.7	11.8	8.8	-	-

■最小・最大・平均・中間値

	N	最小値	最大値	平均値	中間値
母親が休んだ	2,366	1	200	15.6	10
父親が休んだ	1,261	1	60	6.5	5
（同居者を含む）親族・知人に子どもを	801	1	90	8.3	5
母親又は父親のうち就労していない方が	457	1	160	18.6	15
さっぽろ子育てサポートセンターを利	2	1	2	1.5	2
札幌市子ども緊急サポートネットワーク	7	1	10	3.7	3
病後児保育事業（病後児デイサービス）	51	1	90	6.6	3
認可外保育施設（企業主導型保育施設を	9	1	6	2.2	2
ベビーシッターを利用した	5	1	10	5.4	5
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	16	1	20	4.4	2
その他	34	1	35	11.6	10

- 「父親／母親が休んだ」方に「行政の預かりサービスを利用したいか」を聞いたところ、36.5%が「利用したい」と回答した。
- 「利用したいと思わない」理由としては「親が仕事を休んで対応するから」(32.3%)、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安だから」(28.7%)が多く挙げられている。

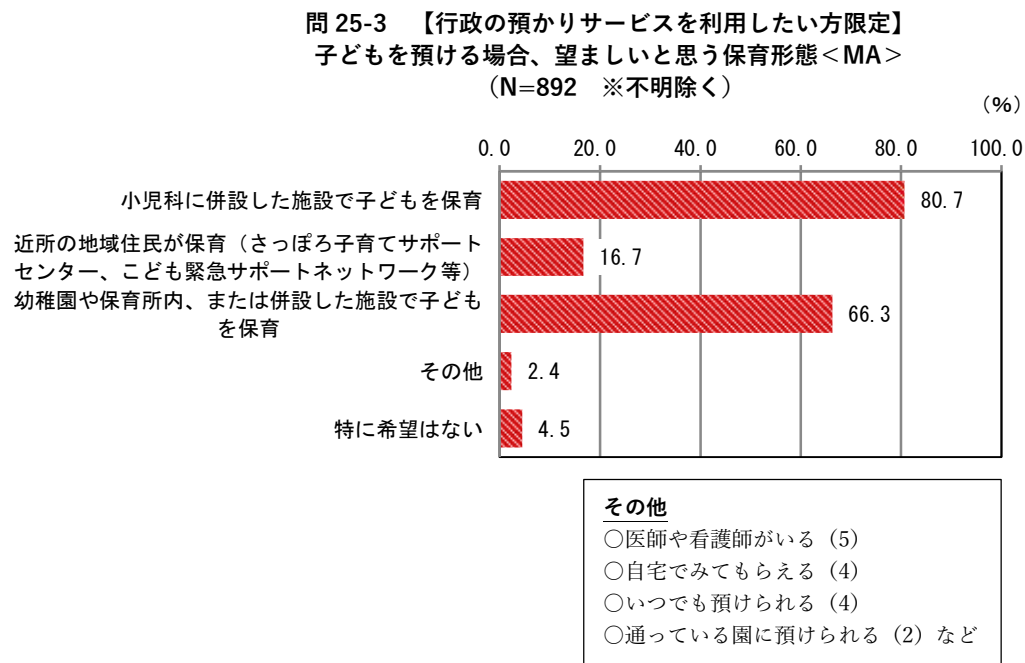
問 25-2 【父親・母親が休んで対応した方限定】
行政の預かりサービスを利用したいか。利用したいと思わない
場合はその理由<MA> (N=2,440 ※不明除く)



その他

- 利用登録・手続き等が面倒だから (50)
- 子どもがかawaiiそうだから、不安に感じる・親と一緒にいたがるから (42)
- 空きがなく利用できないことがあるから (22)
- 親が専業主婦・主夫等で子の面倒をみられるから (22)
- 病気をもらってきそうだから (18)
- 事前受診が前提など急な利用ができないから (14)
- 子どものそばにいてあげたいから (13)
- 利用方法がわからないから (13)
- 育休中・職場が休める・在宅勤務ができる等で利用する必要がないから (10) など

○行政の預かりサービスを利用したい人に望ましいと思う保育形態を聞いたところ 80.7%の人が「小児科に併設した施設で子どもを保育」と回答した。「幼稚園や保育所内、または併設した施設で子どもを保育」が 66.3%で 2 番めに多く挙げられている。



(9) 不特定の教育・保育事業、宿泊を伴う一時預かり等の利用

問 26 宛名の方（お子さん）について、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労などの目的で不定期に利用している事業はありますか（○はいくつでも）。また、1年間のおおよその利用日数をお答えください。

※ご回答にあたっては、添付資料の「事業の内容と利用料」で事業の内容をご確認ください。

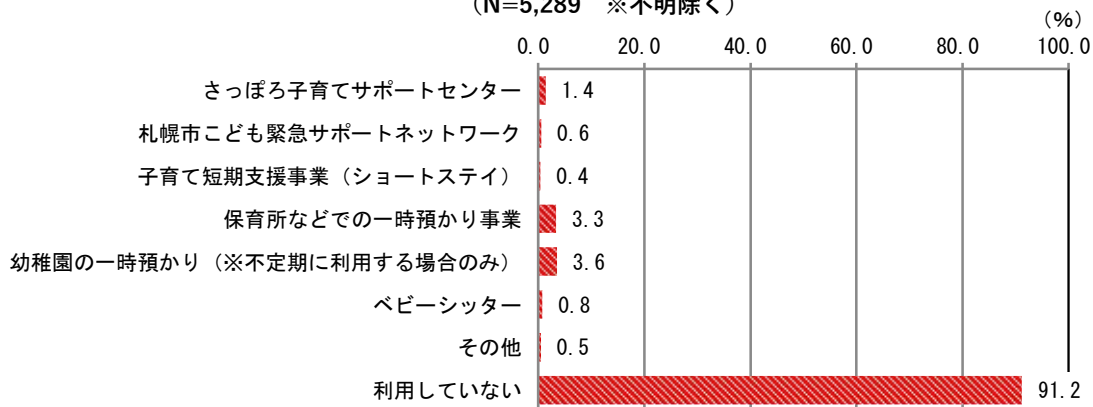
- | | |
|-------------------------------|--------------|
| 1. さっぽろ子育てサポートセンター | ⇒1 年間で□□日程度 |
| 2. 札幌市こども緊急サポートネットワーク | ⇒1 年間で□□日程度 |
| 3. 子育て短期支援事業（ショートステイ） | ⇒1 年間で□□日程度 |
| 4. 保育所などでの一時預かり事業 | ⇒1 年間で□□日程度 |
| 5. 幼稚園などの一時預かり（※不定期に利用する場合のみ） | ⇒1 年間で□□日程度 |
| 6. ベビーシッター | ⇒1 年間で□□日程度 |
| 7. その他（ | ⇒1 年間で□□日程度） |
| 8. 利用していない | ⇒問 26-1 へ |

○91.2%の人が「利用していない」と回答した。利用している事業としては「幼稚園の一時預かり」（3.6%）、「保育所などでの一時預かり事業」（3.3%）が比較的多く挙げられた。

○これらの年間利用日数は、「幼稚園の一時預かり」の平均値は 15.5 日、「保育所などでの一時預かり保育」については 13.2 日であった。

問 26 日中、不定期に利用している事業＜MA＞

(N=5,289 ※不明除く)



その他

- 民間の一時預かり専門託児所・認可外保育施設 (8)
- 児童発達支援センター・児童デイサービス (4) など

問 26 日中、不定期的に利用している事業～各事業の利用日数<IN>（※不明除く）

■度数分布

	N	1～2日	3～4	5～6	7～9	10～14	15～29	20～29	30～39	40～49	50日以上
さっぽろ子育てサポートセンター	67	35.8	10.4	22.4	1.5	14.9	–	4.5	1.5	1.5	7.5
札幌市こども緊急サポートネットワーク	22	45.5	13.6	9.1	–	22.7	–	9.1	–	–	–
子育て短期支援事業（ショートステイ）	12	25.0	–	8.3	8.3	25.0	–	8.3	–	8.3	16.7
保育所などでの一時預かり事業	168	28.6	17.3	13.7	4.2	21.4	1.8	3.0	3.0	1.2	6.0
幼稚園などの一時預かり（※不定期的に利	175	16.6	13.7	14.9	5.1	21.7	4.0	9.7	5.1	2.3	6.9
ベビーシッター	34	38.2	11.8	11.8	2.9	20.6	–	2.9	2.9	5.9	2.9
その他	25	12.0	12.0	8.0	–	36.0	4.0	12.0	4.0	–	12.0

■最小・最大・平均・中間値

	N	最小値	最大値	平均値	中間値
さっぽろ子育てサポートセンター	67	1	260	13.4	5
札幌市こども緊急サポートネットワーク	22	1	20	5.9	3
子育て短期支援事業（ショートステイ）	12	1	106	26.3	11
保育所などでの一時預かり事業	168	1	250	13.2	5
幼稚園などの一時預かり（※不定期的に利	175	1	240	15.5	8
ベビーシッター	34	1	100	10.6	5
その他	25	1	200	26.4	10

問 26-1 問 26 で「8. 利用していない」に○をした方にうかがいます。 現在利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

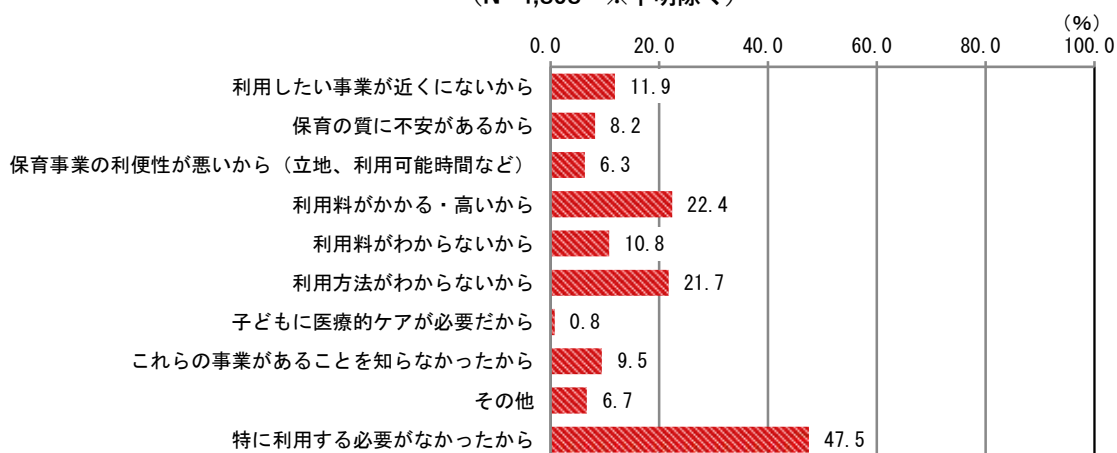
1. 利用したい事業が近くにないから
2. 保育の質に不安があるから
3. 保育事業の利便性が悪いから（立地、利用可能時間など）
4. 利用料がかかる・高いから
5. 利用料がわからないから
6. 利用方法がわからないから
7. 子どもに医療的ケアが必要だから
8. これらの事業があることを知らなかったから
9. その他（ ）
10. 特に利用する必要がなかったから

○「特に利用する必要がなかったから」が最も多く挙げられた（47.5%）。それ以外では「利用料がかかる・高いから」（22.4%）、「利用方法がわからないから」（21.7%）が多く挙げられている。

問 26-1 【不定期に教育・保育事業を利用していない方限定】

不定期に教育・保育事業を利用していない理由＜MA＞

(N=4,808 ※不明除く)



その他

- 利用の手続き・予約が面倒だから（63）
- 利用したいときに空がない・予約が取れないため（45）
- 子どもが不安がる・かわいそう・人見知りだから（32）
- 子どもの祖父母・親戚に見てもらえるから（29）
- まだ子どもが小さいから（28）
- よく知らない施設・人に預けるのは不安だから（16）など

問 27 宛名の方（お子さん）について、今後、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、問 26 で挙げた事業を利用したいと思いますか。利用したい場合は、どのような場合に利用したいかをお答えください（〇はいくつでも）。また、年間で何日くらい事業を利用したいですか。

※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかり、事前に登録が必要な場合があります。

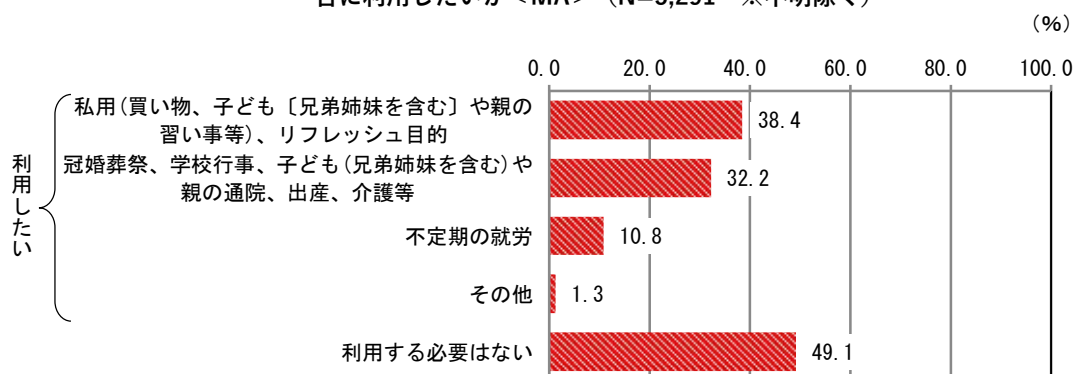
利用したい

- | | |
|--|-------------|
| 1. 私用（買物、子ども〔兄弟姉妹を含む〕や親の習い事等）、リフレッシュ目的 | ⇒1 年間で□□日程度 |
| 2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院、出産、介護 等 | ⇒1 年間で□□日程度 |
| 3. 不定期の就労 | ⇒1 年間で□□日程度 |
| 4. その他（ ） | ⇒1 年間で□□日程度 |
| 5. 利用する必要はない | |

○49.1%が「利用する必要はない」と回答した。「利用したい」人については、「私用(買い物、子ども〔兄弟姉妹を含む〕や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が 38.4%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院、出産、介護等」が 32.2%であった。

○これらの年間の想定利用日数の平均値を見ると「私用(買い物、子ども〔兄弟姉妹を含む〕や親の習い事等)、リフレッシュ目的」は 12.5 日、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院、出産、介護等」は 8.8 日であった。

問 27 不定期の教育・保育事業を利用したいか・どのような場合に利用したいか<MA> (N=5,291 ※不明除く)



その他

- 親・家族の病気・体調不良・通院時等 (21)
- 子が病気のと き（仕事を休めないなど）(10)
- 急な勤務・出張など仕事の都合 (8) など

問 27 不特定の教育・保育事業を利用したい状況
～各状況別年間の想定利用日数＜IN＞（※不明除く）

■最小・最大・平均・中間値

	N	1～2日	3～4	5～6	7～9	10～14	15～29	20～29	30～39	40～49	50日以上
私用（買物、子どもや親の習い事等）、冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通	1,991	5.8	9.4	20.5	2.3	41.5	1.6	10.0	4.6	1.4	3.0
不特定の就労	1,659	12.8	14.5	28.1	5.1	28.1	1.6	4.9	3.1	0.1	1.6
不特定の就労	540	5.9	6.5	15.2	2.8	28.9	1.9	11.5	8.7	3.5	15.2
その他	60	13.3	11.7	23.3	11.7	26.7	1.7	3.3	3.3	1.7	3.3

■度数分布

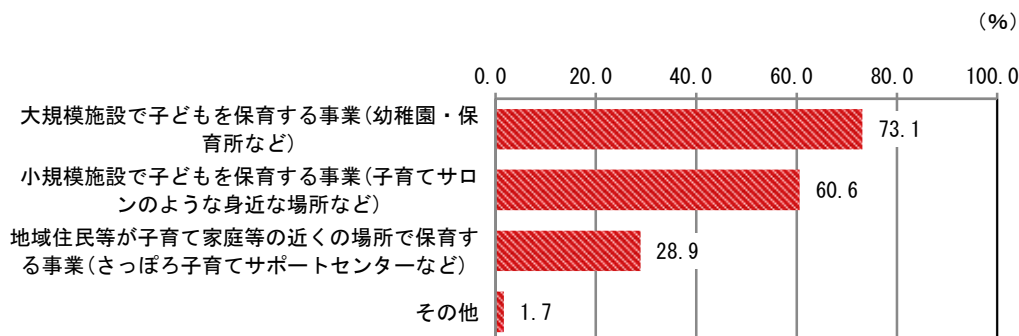
	N	最小値	最大値	平均値	中間値
私用（買物、子どもや親の習い事等）、冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通	1,991	1	100	12.5	10
不特定の就労	1,659	1	260	8.8	5
不特定の就労	540	1	300	25.0	10
その他	60	1	100	10.8	7

問 27-1 問 27 で「1」～「4」（利用したい）に○をつけた方にうかがいます。 問 27
 の目的でお子さんを預ける場合、いずれの保育形態を利用したいと思いますか。
 （○はいくつでも）

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（幼稚園、保育所、認定こども園など）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（子育てサロンのような身近な場所など）
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（さっぽろ子育てサポートセンターなど）
4. その他（ ）

○「大規模施設で子どもを保育する事業(幼稚園・保育所など)」が 73.1%で最も多く挙げられた。「小規模施設で子どもを保育する事業(子育てサロンのような身近な場所など)」が 60.6%で 2 番めに多かった。

問 27-1 【不定期の教育・保育事業を利用したい方限定】
 いずれの保育形態を利用したいか<MA>（N=2,666 ※不明除く）



その他

- 普段通っている・きょうだいが通っている保育園・幼稚園・こども園等 (10)
- ベビーシッター (8)
- どこでも良い (7) など

問 28 宛名の方（お子さん）について、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何日くらい家族以外の方に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業（ショートステイ）（児童養護施設などで一定期間、子どもを保護する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。

※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

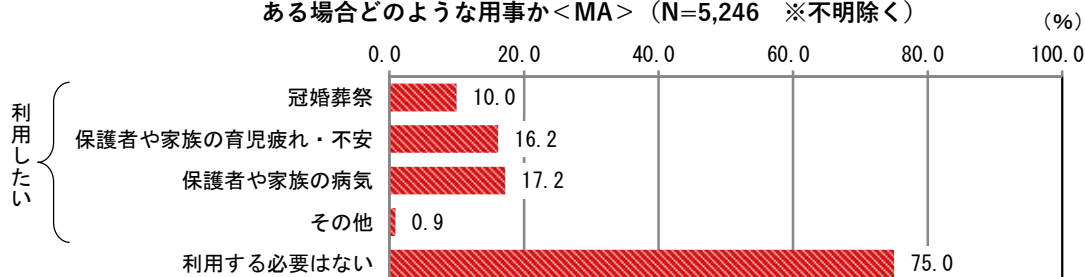
利用したい

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 冠婚葬祭 | ⇒1 年間で□□泊程度 |
| 2. 保護者や家族の育児疲れ・不安 | ⇒1 年間で□□泊程度 |
| 3. 保護者や家族の病気 | ⇒1 年間で□□泊程度 |
| 4. その他（ ） | ⇒1 年間で□□泊程度 |
| 5. 利用する必要はない | |

○「利用する必要はない」との回答が 75.0%であった。

問 28 児童をショートステイ等に預ける用事があると思うか。

ある場合どのような用事か<MA>（N=5,246 ※不明除く）



その他

- 出張等、仕事の用事（17）
- 出産・乳児の育児の際（4）
- 親等の介護・入院・通院時（4）など

問 28 児童をショートステイ等に預ける必要がある用事～
年間の想定泊数<IN>（※不明除く）

■度数分布

	N	1～2泊	3～4	5～6	7～9	10～14	15～29	20～29	30～39	40～49	50泊以上
冠婚葬祭	523	62.1	18.0	13.6	1.5	4.0	0.2	0.4	—	—	0.2
保護者や家族の育児疲れ・不安	838	35.2	14.0	17.3	3.3	21.4	0.8	4.1	2.1	0.7	1.1
保護者や家族の病気	891	29.2	17.6	22.6	7.0	17.6	0.7	2.7	1.6	0.2	0.9
その他	45	40.0	6.7	20.0	6.7	15.6	2.2	4.4	2.2	—	2.2

■最小・最大・平均・中間値

	N	最小値	最大値	平均値	中間値
冠婚葬祭	844	1	50	2.8	2
保護者や家族の育児疲れ・不安	1,073	1	180	7.2	5
保護者や家族の病気	900	1	100	6.4	5
その他	791	1	60	7.1	5

(10) 地域の子育て支援事業の利用状況

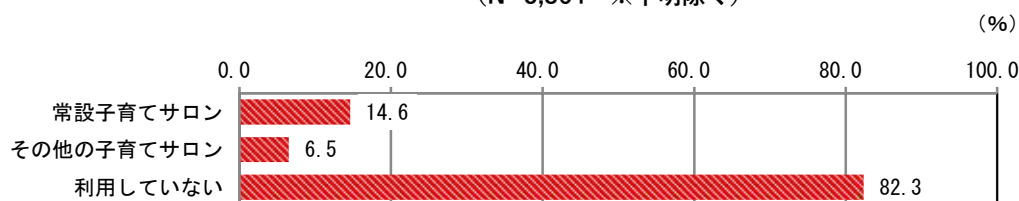
問 29 宛名の方（お子さん）は、現在、子育て中の親子が気軽に集い、自由に交流や情報交換ができる場である子育てサロンを利用していますか（○はいくつでも）。また、それぞれのおおよその利用回数（頻度）をお答えください。

※ご回答にあたっては、添付資料の「事業の内容と利用料」で事業の内容をご確認ください。

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 常設子育てサロン | ⇒1 か月当たり□□回（日）程度 |
| 2. その他の子育てサロン | ⇒1 か月当たり□□回（日）程度 |
| 3. 利用していない | |

- 「利用していない」が 82.3%であった。「常設子育てサロン」の利用は 14.6%、「その他の子育てサロン」は 6.5%となっている。
- 1 か月あたりの「常設子育てサロン」利用回数の平均値は 3.7 回、「その他の子育てサロン」の利用回数の平均値は 2.6 回であった。

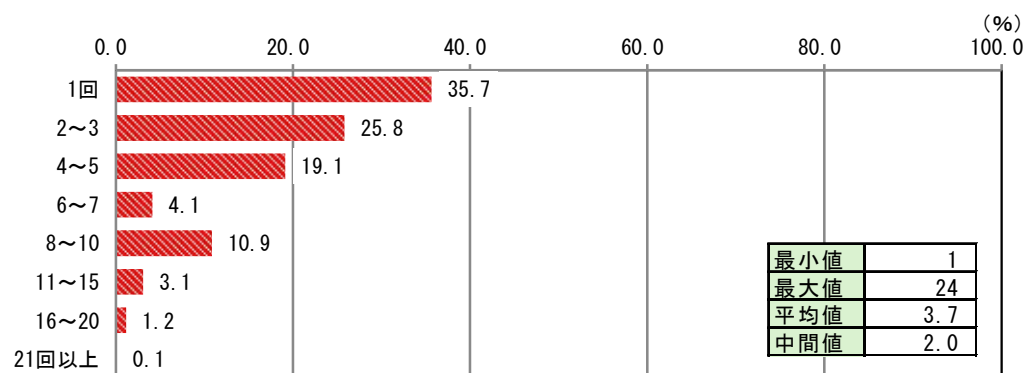
問 29 子育てサロンの利用状況・種類<MA>
(N=5,364 ※不明除く)



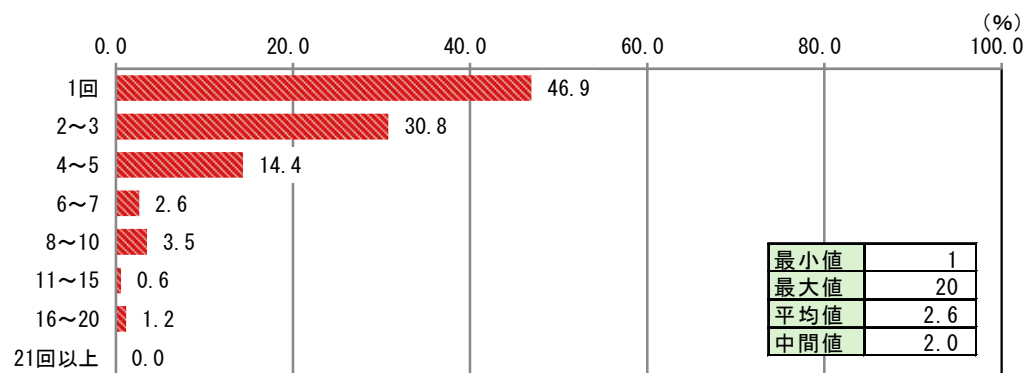
(クロス集計表) 問 29 子育てサロンの利用状況～各属性別<MA> (※不明除く)

	N	常設子育てサロン	その他の子育てサロン	利用していない
全体	5,364	14.6	6.5	82.3
問4 宛名児童の生年月日				
2023年4月以降	846	14.2	6.4	82.5
2022年4月～2023年3月	1,071	29.6	13.4	64.4
2021年4月～2022年3月	894	18.6	8.7	78.0
2020年4月～2021年3月	790	14.8	6.3	81.8
2019年4月～2020年3月	781	3.7	1.3	95.4
2018年4月～2019年3月	634	3.3	1.1	96.2
2017年4月～2018年3月	296	3.7	2.7	95.3
問10 子どもを預けることができる親族・知人				
日常的に子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	1,127	13.0	6.1	83.9
緊急時もしくは用事の際には子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	3,189	13.9	6.8	83.0
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	49	10.2	10.2	87.8
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	372	15.9	6.5	81.2
子どもをみてもらえる人はいない	1,214	17.1	6.7	80.2
問18/19 世帯の就労状況				
共働き（両方フルタイム）	2,367	13.4	5.2	84.4
共働き（片方／両方がパートタイム）	1,086	9.2	3.4	89.0
片働き（専業主婦）	1,361	23.1	11.8	71.1
片働き（専業主夫）	19	5.3	10.5	84.2
両方就労していない	75	6.7	2.7	92.0
その他	363	8.5	3.9	89.8
問20 「平日の定期的な教育・保育の事業」の利用有無				
利用している	3,387	6.4	2.3	92.4
利用していない	1,970	28.8	13.8	65.1

問 29 【常設子育てサロン利用者限定】1 か月あたりの常設子育てサロン利用回数<IN> (N=774 ※不明除く)



問 29 【その他の子育てサロン利用者限定】1 か月あたりのその他の子育てサロン利用回数<IN> (N=341 ※不明除く)



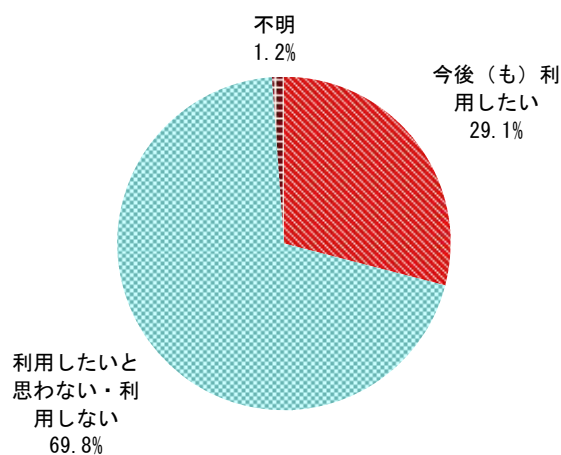
**問 29-1 常設子育てサロンの今後の利用希望についてお答えください（○は1つだけ）。
また、おおよその希望する利用回数（頻度）をお答えください。**

1. 今後（も）利用したい ⇒1 か月当たり□□回（日）程度 ⇒問 30 へ
2. 利用したいと思わない・利用しない ⇒問 29-2 へ

○29.1%が「今後（も）利用したい」と回答した。

○利用希望者の1 か月当たりの利用希望回数の平均値は 3.7 回であった。

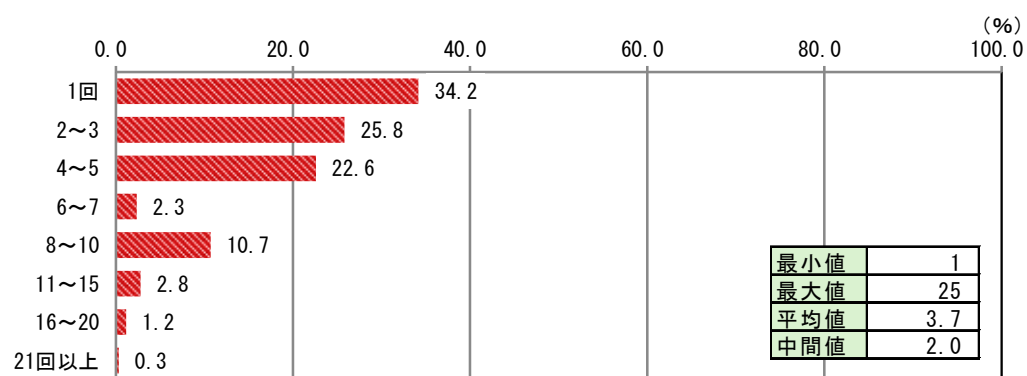
**問 29-1 常設子育てサロンの利用希望有無<SA>
(N=5,394)**



(クロス集計表) 問 29-1 常設子育てサロンの利用希望有無～各属性別<SA>

	N	今後 (も) 利用 したい	い・利 用・利 したい と思 わな	不 明
全体	5,394	29.1	69.8	1.2
問4 宛名児童の生年月日				
2023年4月以降	847	53.1	45.7	1.2
2022年4月～2023年3月	1,075	46.1	53.0	0.8
2021年4月～2022年3月	900	28.7	70.0	1.3
2020年4月～2021年3月	794	23.4	75.6	1.0
2019年4月～2020年3月	785	10.4	88.9	0.6
2018年4月～2019年3月	639	10.0	87.9	2.0
2017年4月～2018年3月	301	7.6	90.4	2.0
問10 子どもを預けることができる親族・知人				
日常的に子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	1,134	28.7	69.6	1.8
緊急時もしくは用事の際には子どもの祖父母などの親族にみてもらえる	3,206	28.4	70.3	1.2
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	49	20.4	79.6	-
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	373	28.4	70.5	1.1
子どもをみてもらえる人はいない	1,222	30.2	69.0	0.8
問18/19 世帯の就労状況				
共働き（両方フルタイム）	2,373	29.5	69.6	0.9
共働き（片方／両方がパートタイム）	1,091	17.5	81.5	1.0
片働き（専業主婦）	1,368	41.4	57.6	1.0
片働き（専業主夫）	20	20.0	75.0	5.0
両方就労していない	75	20.0	78.7	1.3
その他	372	16.7	80.1	3.2
問20 「平日の定期的な教育・保育の事業」の利用有無				
利用している	3,406	14.0	84.8	1.1
利用していない	1,979	55.0	43.9	1.1

問 29-1 【常設子育てサロン利用希望者限定】
1 か月当たりの利用希望回数＜IN＞（N=1,532 ※不明除く）

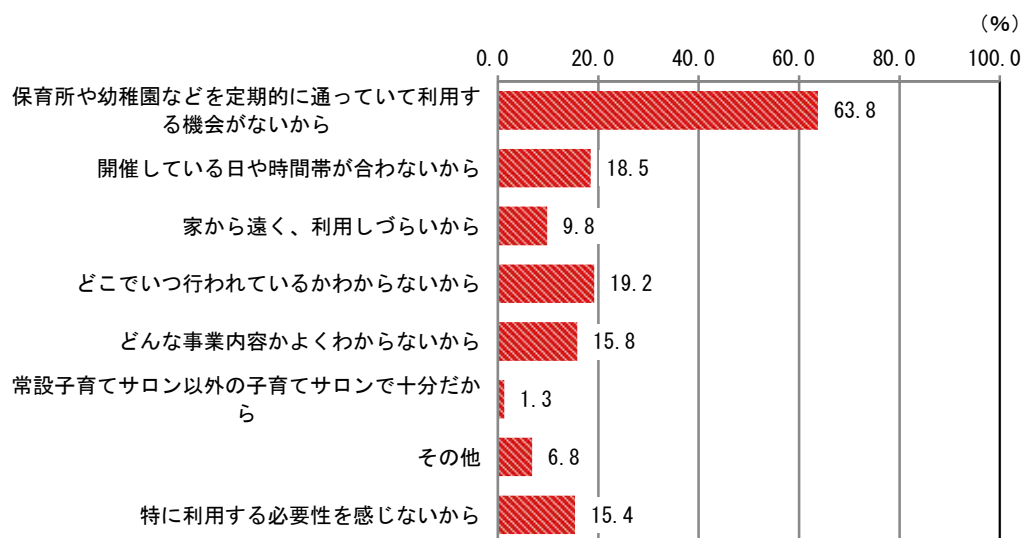


問 29-2 問 29-1 で「2. 利用したいと思わない・利用しない」に○をつけた方にうかがいます。 そう思われる理由をお答えください。(○はいくつでも)

1. 保育所や幼稚園、認定こども園などに定期的に通っていて利用する機会がないから
2. 開催している日や時間帯が合わないから
3. 家から遠く、利用しづらいから
4. どこでいつ行われているかわからないから
5. どんな事業内容がよくわからないから
6. 常設子育てサロン以外の子育てサロンで十分だから
7. その他（ ）
8. 特に利用する必要性を感じないから

○「保育所や幼稚園などに通っていて利用する機会がないから」が 63.8%と最も多く挙げられた。他の理由はいずれも 2 割以下であった。

問 29-2 【常設子育てサロンの利用を希望しない方限定】
常設子育てサロンを利用しない理由<MA> (N=3,750 ※不明除く)



その他

- 他の母親等との交流が苦手・面倒・ストレスだから (49)
- 忙しい・行く時間がない・行くのが面倒だから (28)
- 感染症・衛生面の心配があるから (23)
- 結局、親が子どもの面倒を見なければいけないから (22)
- 子が大きくなって年齢層が合わなくなったから (17) など

(11) 【宛名のお子さんが5歳以上の方限定】 小学校就学後の放課後の過ごし方

問30～問31は宛名のお子さんが令和6年4月に新1年生になる方のみお答えください。

それ以外の方は問32へお進みください。

問30 宛名の方（お子さん）について、小学校に上がった後、放課後（平日の授業終了後）の時間を、どのような場所でどのくらい過ごさせたいと思いますか。（1）低学年（1～3年生）、（2）高学年（4～6年生）のそれぞれの期間についてお答えください（〇はいくつでも）。また、過ごさせたい場所それぞれで希望する1週当たり日数を数字でお答えください。なお、「5」または「6」については、利用を希望する時間もお答えください。（時間は24時間制で記入）

(1) 小学校低学年（1～3年生）

- | | |
|------------------------------|------------|
| 1. 自宅 | ⇒週に□日程度 |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | ⇒週に□日程度 |
| 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） | ⇒週に□日程度 |
| 4. 児童会館及びミニ児童会館（児童クラブを利用しない） | ⇒週に□日程度 |
| 5. 児童会館及びミニ児童会館（児童クラブを利用する） | ⇒週に□日程度 |
| | 下校時から□□時まで |
| 6. 民間児童育成会又は届出事業所 | ⇒週に□日程度 |
| | 下校時から□□時まで |
| 7. さっぽろ子育てサポートセンター | ⇒週に□日程度 |
| 8. その他（地区センター、図書館、公園など） | ⇒週に□日程度 |
| 9. 現時点ではわからない | |

(2) 小学校高学年（4～6年生）

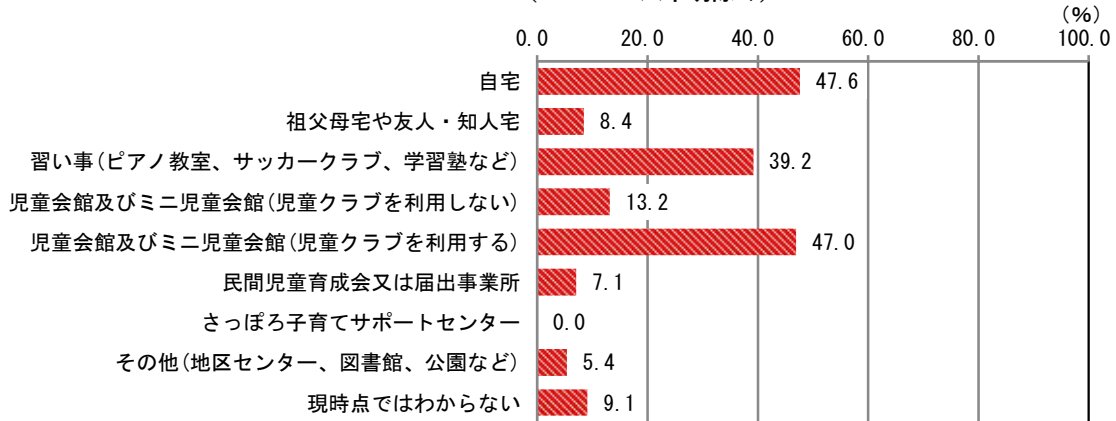
※先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

- | | |
|------------------------------|------------|
| 1. 自宅 | ⇒週に□日程度 |
| 2. 祖父母宅や友人・知人宅 | ⇒週に□日程度 |
| 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など） | ⇒週に□日程度 |
| 4. 児童会館及びミニ児童会館（児童クラブを利用しない） | ⇒週に□日程度 |
| 5. 児童会館及びミニ児童会館（児童クラブを利用する） | ⇒週に□日程度 |
| | 下校時から□□時まで |
| 6. 民間児童育成会又は届出事業所 | ⇒週に□日程度 |
| | 下校時から□□時まで |
| 7. さっぽろ子育てサポートセンター | ⇒週に□日程度 |
| 8. その他（地区センター、図書館、公園など） | ⇒週に□日程度 |
| 9. 現時点ではわからない | |

- 小学校低学年では「自宅」(47.6%)、「児童会館及びミニ児童会館(児童クラブを利用する)」(47.0%)、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(39.2%)が特に多く挙げられている。
- 小学校低学年時に児童クラブまたは民間児童育成会等を利用させたい方に「何時まで利用したいか」を聞いたところ、児童クラブ利用希望者、民間児童育成会等利用希望者ともに「18時」(40.5%、53.3%)を最も多く挙げている。
- 高学年では「自宅」(57.0%)、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(46.9%)が多い。
- 小学校高学年時に児童クラブまたは民間児童育成会等を利用させたい方についても、希望する利用終了時間は「18時」が最も多かった(48.0%、50.0%)。

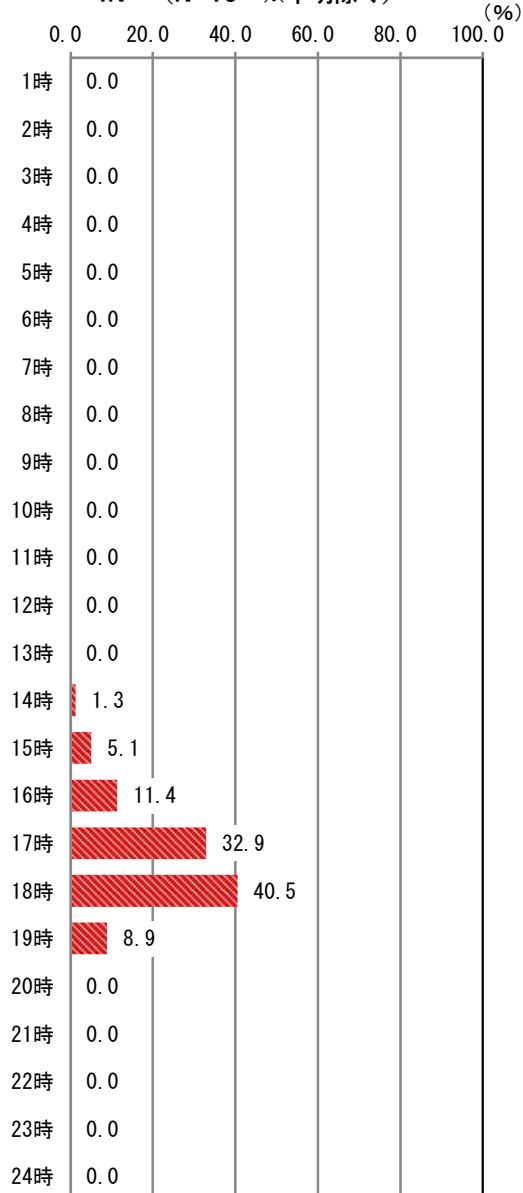
問 30 (1) 放課後をどこで過ごさせたいか (小学校低学年時)

<MA> (N=296 ※不明除く)



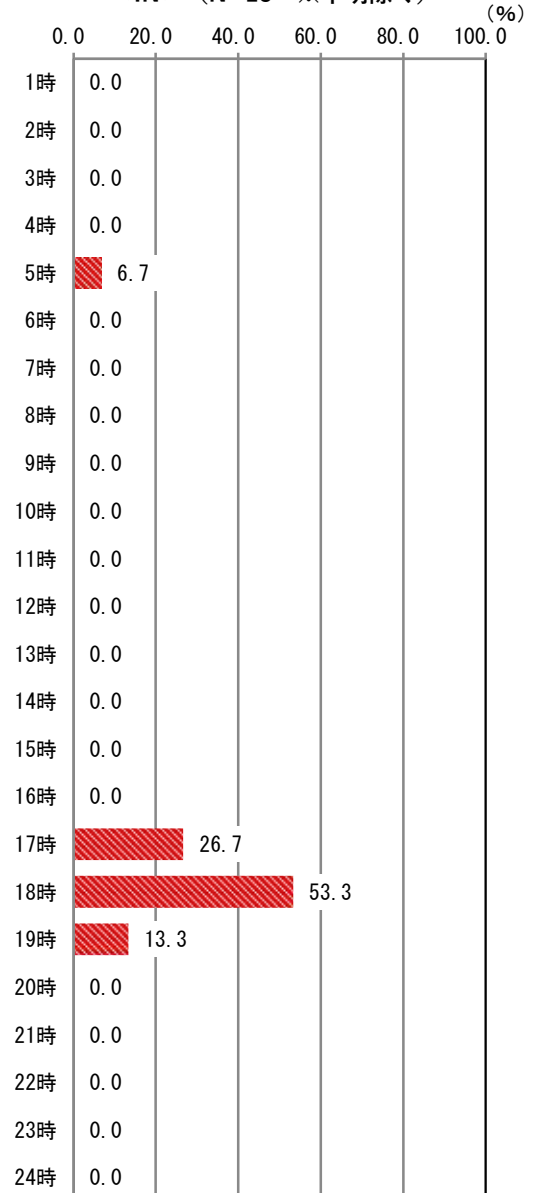
問 30 (1) 【小学校低学年で児童クラブを利用させたい方限定】何時まで利用したいか

<IN> (N=79 ※不明除く)



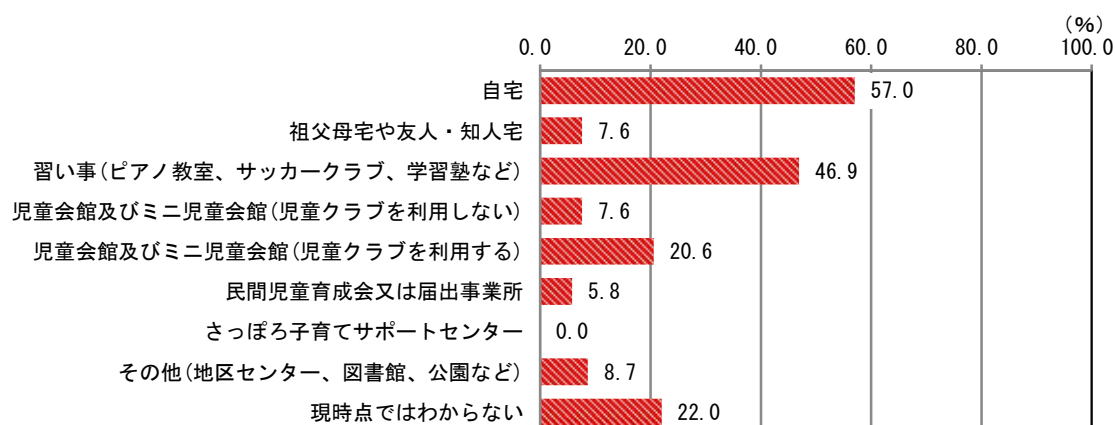
問 30 (1) 【小学校低学年で民間児童育成会等を利用させたい方限定】何時まで利用したいか

<IN> (N=15 ※不明除く)



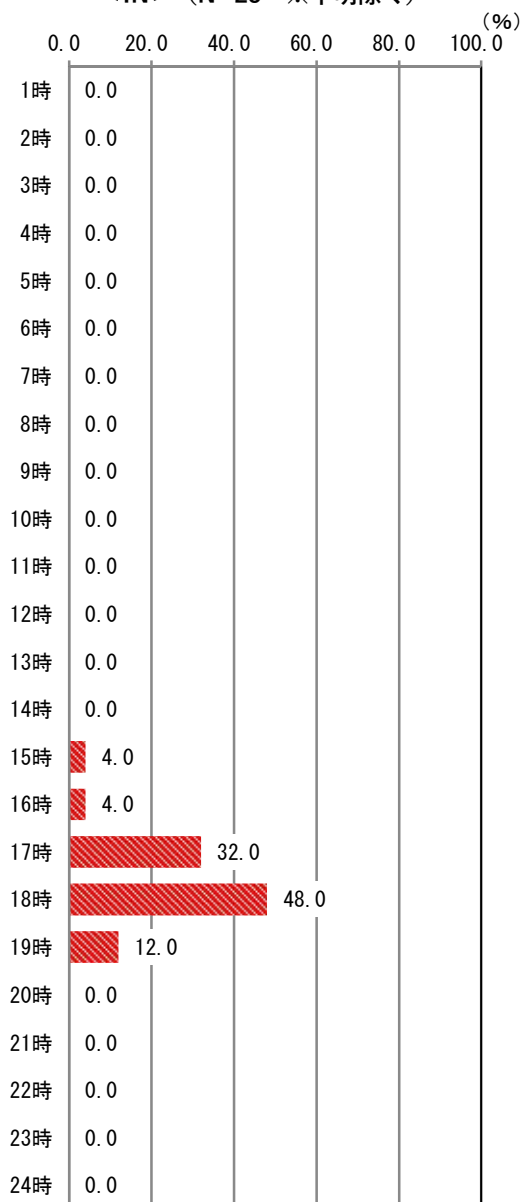
問 30 (2) 放課後をどこで過ごさせたいか (小学校高学年時)

<MA> (N=277 ※不明除く)



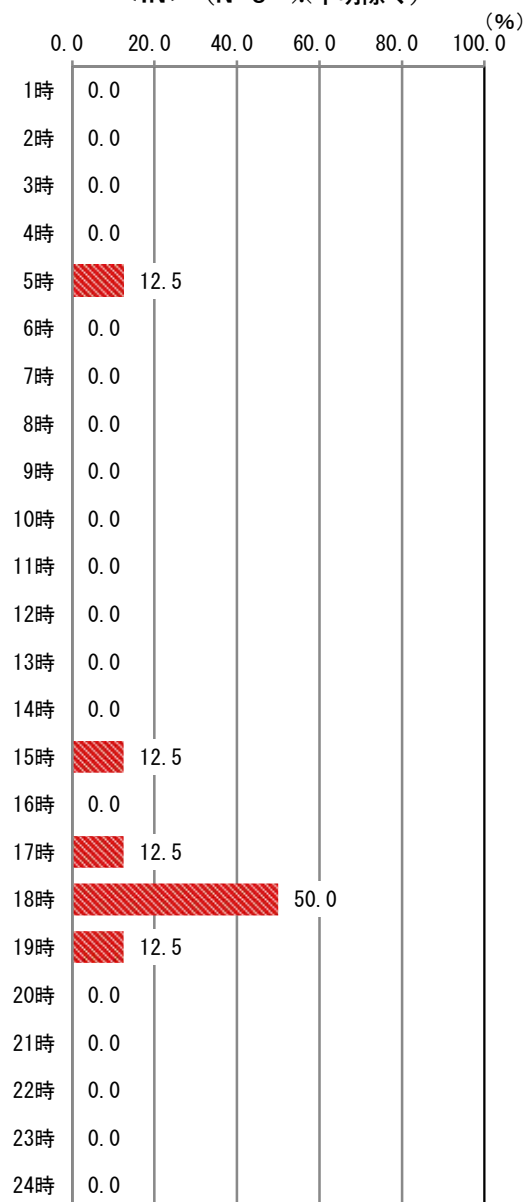
問 30 (2) 【小学校高学年で児童クラブを利用させたい方限定】何時まで利用したいか

<IN> (N=25 ※不明除く)



問 30 (2) 【小学校高学年で民間児童育成会等を利用させたい方限定】何時まで利用したいか

<IN> (N=8 ※不明除く)



問 30 (1) 放課後をどこで過ごさせたいか（小学校低学年時）
～週あたりの日数＜IN＞（※不明除く）

■度数分布

	N	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
自宅	138	15.2	19.6	18.1	10.1	32.6	0.7	3.6
祖父母宅や友人・知人宅	24	54.2	33.3	4.2	—	8.3	—	—
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ）	116	36.2	35.3	17.2	2.6	7.8	0.9	—
児童会館及びミニ児童会館（児童クラブ）	39	7.7	30.8	28.2	7.7	25.6	—	—
児童会館及びミニ児童会館（児童クラブ）	139	3.6	14.4	15.8	12.9	46.8	6.5	—
民間児童育成会又は届出事業所	20	10.0	—	20.0	30.0	30.0	10.0	—
さっぽろ子育てサポートセンター	0	—	—	—	—	—	—	—
その他（地区センター、図書館、公園）	16	37.5	6.3	31.3	12.5	12.5	—	—

■最小・最大・平均・中間値

	N	最小値	最大値	平均値	中間値
自宅	138	1	7	3.4	3
祖父母宅や友人・知人宅	24	1	5	1.8	1
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ）	116	1	6	2.1	2
児童会館及びミニ児童会館（児童クラブ）	39	1	5	3.1	3
児童会館及びミニ児童会館（児童クラブ）	139	1	6	4.0	5
民間児童育成会又は届出事業所	20	1	6	4.0	4
さっぽろ子育てサポートセンター	0	—	—	—	—
その他（地区センター、図書館、公園）	16	1	5	2.6	3

問 30 (2) 放課後をどこで過ごさせたいか（小学校高学年時）
～週あたりの日数＜IN＞（※不明除く）

■度数分布

	N	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
自宅	149	9.4	21.5	23.5	9.4	33.6	2.0	0.7
祖父母宅や友人・知人宅	19	42.1	47.4	5.3	—	5.3	—	—
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ）	123	16.3	43.9	30.1	4.9	4.1	0.8	—
児童会館及びミニ児童会館（児童クラブ）	20	25.0	40.0	5.0	5.0	15.0	5.0	5.0
児童会館及びミニ児童会館（児童クラブ）	52	5.8	25.0	17.3	5.8	40.4	5.8	—
民間児童育成会又は届出事業所	14	14.3	42.9	14.3	—	21.4	7.1	—
さっぽろ子育てサポートセンター	0	—	—	—	—	—	—	—
その他（地区センター、図書館、公園）	23	30.4	13.0	43.5	8.7	4.3	—	—

■最小・最大・平均・中間値

	N	最小値	最大値	平均値	中間値
自宅	149	1	7	3.4	3
祖父母宅や友人・知人宅	19	1	5	1.8	2
習い事（ピアノ教室、サッカークラブ）	123	1	6	2.4	2
児童会館及びミニ児童会館（児童クラブ）	20	1	7	2.8	2
児童会館及びミニ児童会館（児童クラブ）	52	1	6	3.7	4
民間児童育成会又は届出事業所	14	1	6	2.9	2
さっぽろ子育てサポートセンター	0	—	—	—	—
その他（地区センター、図書館、公園）	23	1	5	2.4	3

問 30-1 問 30（１）または（２）で「5」または「6」に○をつけた方にうかがいます。

宛名の方（お子さん）について、（１）土曜日と（２）日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望をそれぞれお答えください（○は１つだけ）。また、利用したい時間帯をお答えください。（時間は 24 時間制で記入〔例：09 時～18 時〕）

※事業の利用には、一定の利用料がかかり、事前に登録が必要です。

（１）土曜日

- | | | |
|--------------------------|----------------|---------------------------------|
| 1. 低学年（1～3 年生）の間は利用したい | } ⇒利用したい頻度と時間帯 | 1. ほぼ毎週 2. 月 2 回程度まで
□□時～□□時 |
| 2. 高学年（4～6 年生）になっても利用したい | | |
| 3. 利用する予定はない | | |

（２）日曜日・祝日

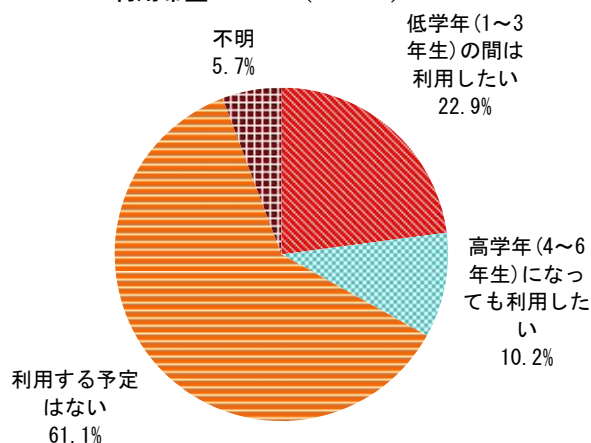
- | | | |
|--------------------------|----------------|---------------------------------|
| 1. 低学年（1～3 年生）の間は利用したい | } ⇒利用したい頻度と時間帯 | 1. ほぼ毎週 2. 月 2 回程度まで
□□時～□□時 |
| 2. 高学年（4～6 年生）になっても利用したい | | |
| 3. 利用する予定はない | | |

○児童クラブ、民間児童育成会等利用希望者に土曜日の放課後児童クラブの利用希望を聞いたところ「利用したい」との回答（「低学年（1～3 年生）の間は利用したい」「高学年（4～6 年生）になっても利用したい」）が計 33.1%であった。

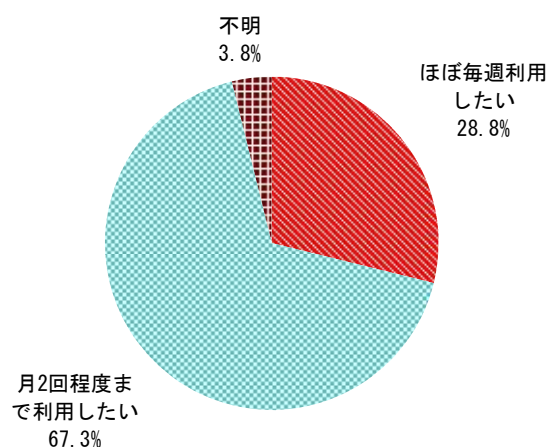
○土曜日利用希望者が希望する利用頻度だが、「月に 2 回程度まで利用したい」が 67.3%「ほぼ毎週利用したい」が 28.8%であった。

○土曜日の希望利用開始時刻は「8 時」（63.3%）が、利用終了時刻は「18 時」（32.7%）が最も多く挙げられた。

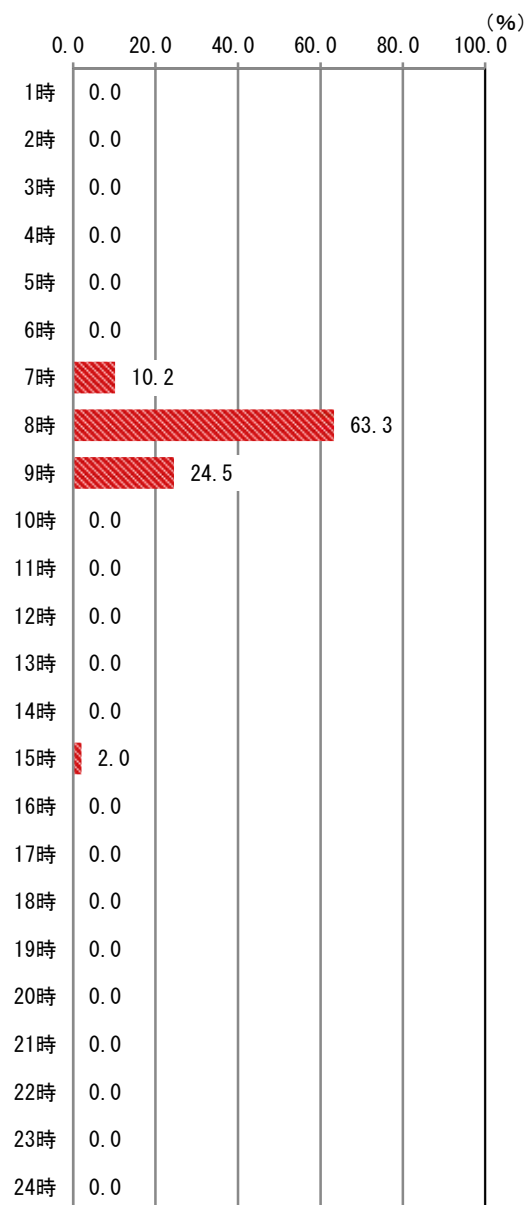
問 30-1（１）【児童クラブ、民間児童育成会等利用希望者限定】土曜日の放課後児童クラブの利用希望＜SA＞（N=157）



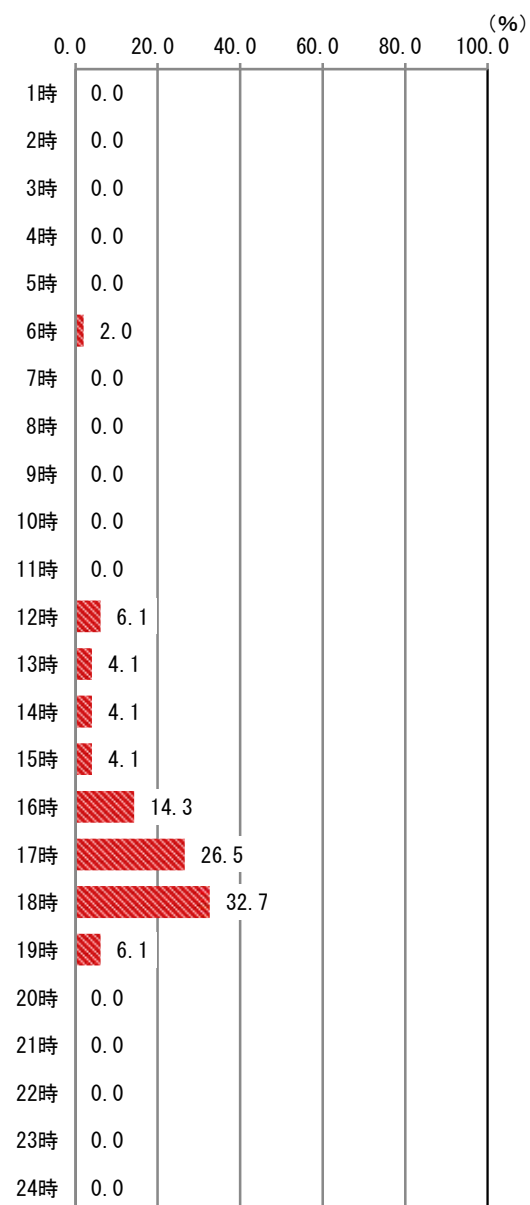
問 30-1（１）【土曜日の児童クラブ、民間児童育成会等利用希望者限定】土曜日の放課後児童クラブを利用したい頻度＜SA＞（N=52）



問 30-1 (1) 【土曜日に児童クラブ、民間児童育成
会等を利用したい方限定】希望する利用開始時刻
<IN> (N=49 ※不明除く)

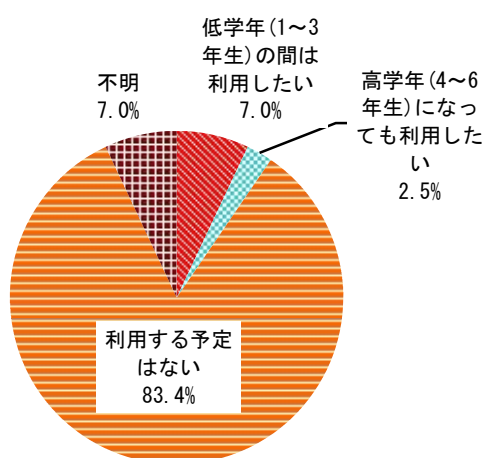


問 30-1 (1) 【土曜日に児童クラブ、民間児童育成
会等を利用したい方限定】希望する利用終了時刻
<IN> (N=49 ※不明除く)

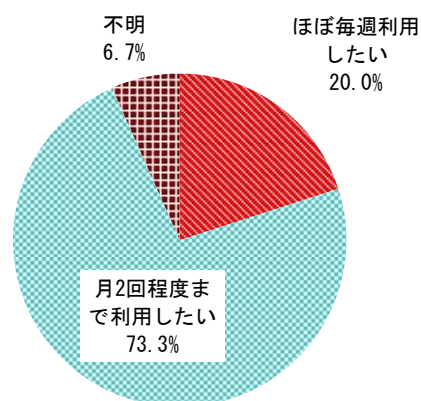


- 児童クラブ、民間児童育成会等利用希望者に日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望を聞いたところ「利用したい」との回答（「低学年(1～3年生)の間は利用したい」「高学年(4～6年生)になっても利用したい」）は計9.5%にとどまった。
- 日曜・祝日利用希望者の利用したい頻度は、「ほぼ毎週利用したい」が20.0%、「月に2回程度まで利用したい」が73.3%であった。
- 希望する利用開始時刻としては、やはり「8時」（71.4%）が、利用終了時刻については「18時」（42.9%）が最も多くなっている。

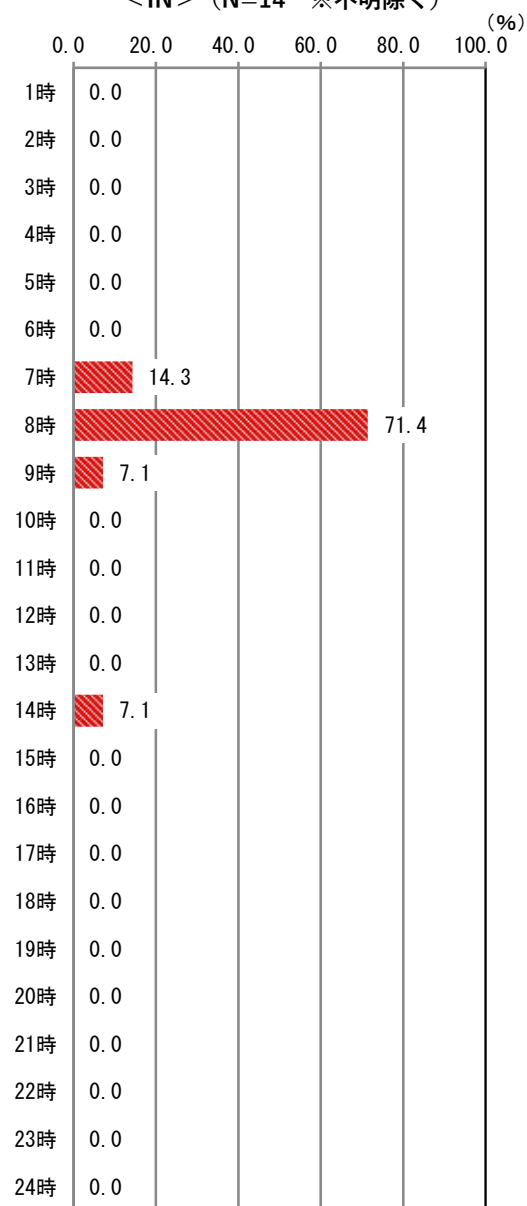
問 30-1 (2) 【児童クラブ、民間児童育成会等利用希望者限定】日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望<SA> (N=157)



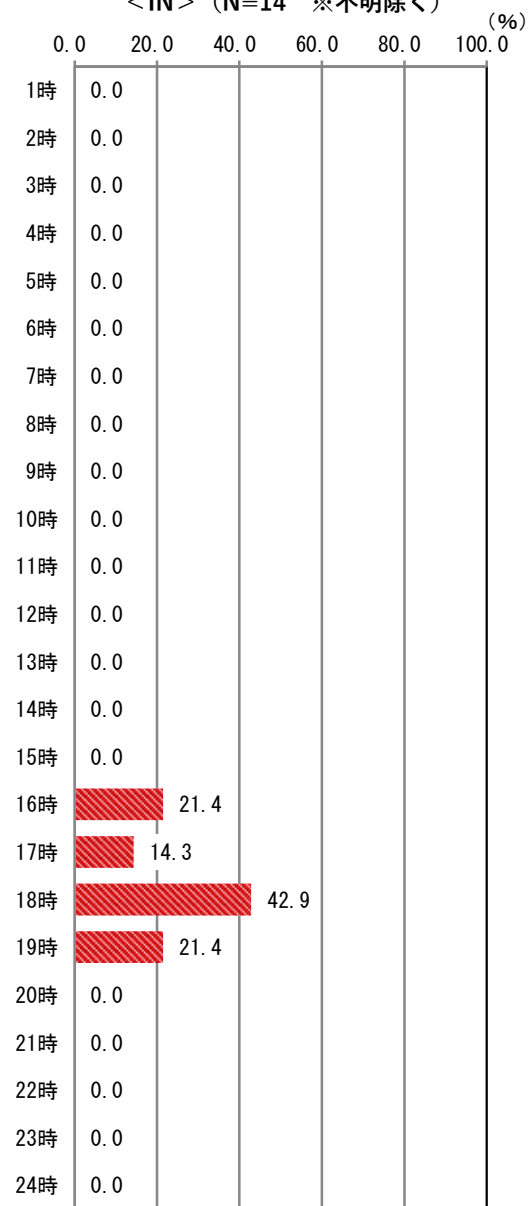
問 30-1 (2) 【土曜日の児童クラブ、民間児童育成会等利用希望者限定】日曜・祝日の放課後児童クラブを利用したい頻度<SA> (N=15)



問 30-1 (2) 【日曜・祝日に児童クラブ、民間児童育成会等を利用したい方限定】希望する利用開始時刻
<IN> (N=14 ※不明除く)



問 30-1 (2) 【日曜・祝日に児童クラブ、民間児童育成会等を利用したい方限定】希望する利用終了時刻
<IN> (N=14 ※不明除く)



(クロス集計表) 問 30-1 (2) 日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望～母/父親の日曜・祝日の就労状況別<SA>

	N	の低 間学 は年 利(1 用5 した 3 年 生)	に高 な学 年 つ て(4 も 利5 用6 した 年 生)	利 用 す る 予 定 は な い	不 明
全体	136	8.1	2.9	81.6	7.4
問18-4 母親の日曜日・祝日の就労状況					
日曜日または祝日が 固定勤務	7	14.3	-	85.7	-
日曜日または祝日に シフト勤務もしくは 月1回以上勤務	21	33.3	9.5	47.6	9.5
日曜日・祝日は勤務 していない	106	2.8	1.9	87.7	7.5
問19-4 父親の日曜日・祝日の就労状況					
日曜日または祝日が 固定勤務	6	16.7	16.7	50.0	16.7
日曜日または祝日に シフト勤務もしくは 月1回以上勤務	42	9.5	4.8	76.2	9.5
日曜日・祝日は勤務 していない	85	3.5	1.2	90.6	4.7

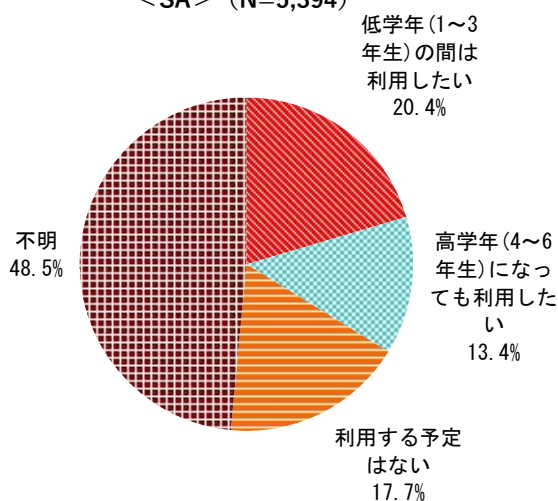
問 31 宛名の方（お子さん）について、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。また、利用したい時間帯をお答えください。（時間は 24 時間制で記入）

※事業の利用には、一定の利用料がかかり、事前に登録が必要です。

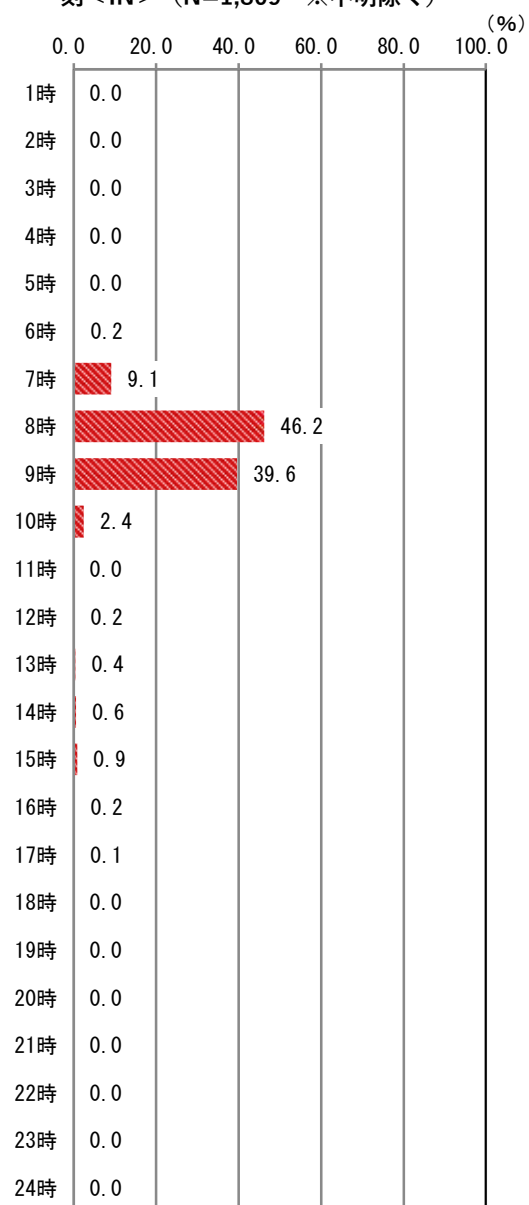
1. 低学年（1～3 年生）の間は利用したい
2. 高学年（4～6 年生）になっても利用したい
3. 利用する予定はない

- 「利用したい」との回答（「低学年(1～3 年生)の間は利用したい」「高学年(4～6 年生)になっても利用したい」）は計 33.8%であった。
- 希望する利用開始時刻は「8 時」（46.2%）が最も多く挙げられた。利用終了時刻としては「18 時」（40.7%）が最も多くなっている。

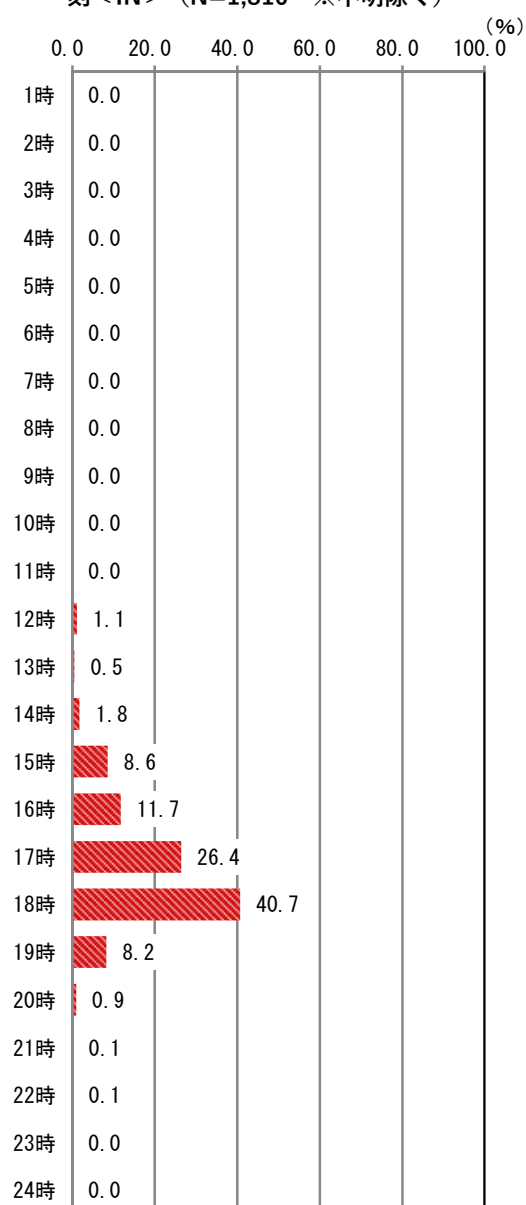
問 31 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望
<SA> (N=5,394)



問 31 【長期休暇期間中に児童クラブ、民間児童
育成会等を利用したい方限定】希望する利用開始時
刻＜IN＞（N=1,809 ※不明除く）



問 31 【長期休暇期間中に児童クラブ、民間児童
育成会等を利用したい方限定】希望する利用終了時
刻＜IN＞（N=1,810 ※不明除く）



(12) 妊娠・出産、育児休業や短時間勤務制度

問 32 宛名の方（お子さん）の1か月健診（産後健診）を受診しましたか。（○は1つだけ）

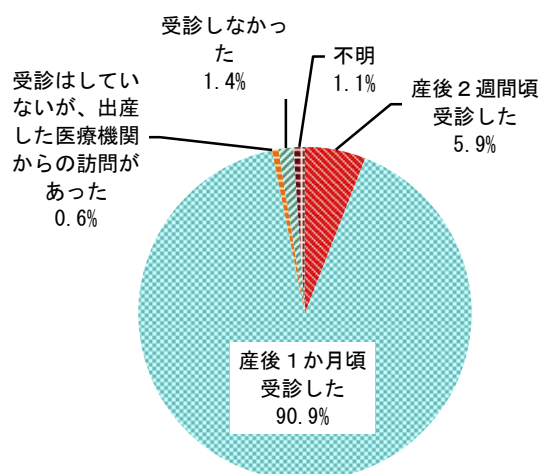
1. 産後2週間頃受診した
2. 産後1か月頃受診した
3. 受診はしていないが、出産した医療機関からの訪問があった
4. 受診しなかった

問 32-1 問 32 で「4」に○をつけた方にうかがいます。 その理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 里帰りしていたため
2. 家事や育児で忙しかったため
3. 料金が高かったため
4. 施設が遠かったため
5. 待ち時間が長かったため
6. 順調だと自信があったため
7. 上のお子さんを連れて行くのが大変だったため
8. 医療機関から何も言われなかったため
9. その他（ ）

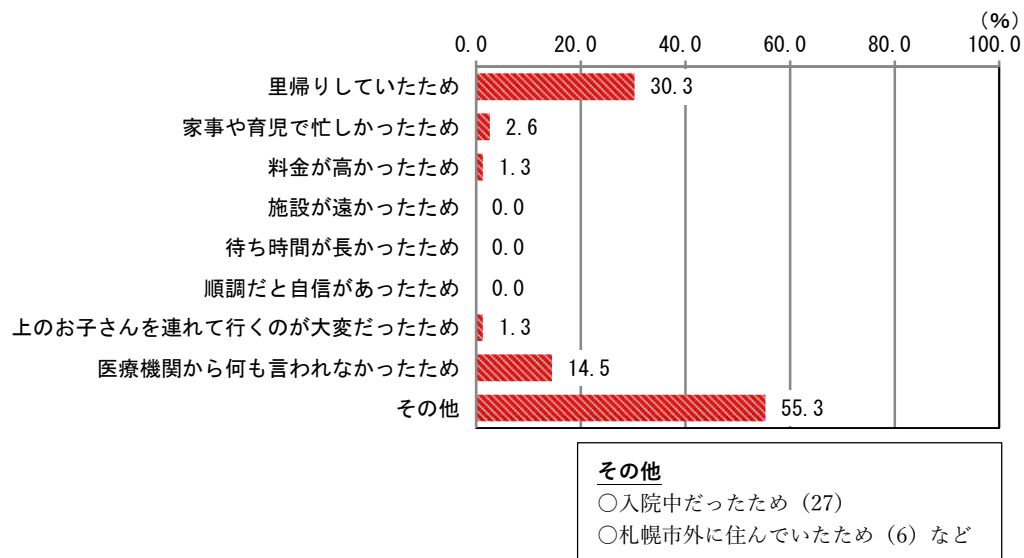
○「受診した」人（「産後2週間頃受診した」「産後1か月頃受診した」回答者）は計 96.8% となっている。「受診しなかった」人は 1.4% とごく少数であった。

問 32 1ヶ月健診（産後健診）を受診したか<SA>
(N=5,394)



○産後健診を受診しなかった理由としては、「その他」として「入院中だったため」(27 件、40.9%) が最も多く挙げられた。選択肢では「里帰りしていたため」(22.7%) が多く挙げられている。

問 32-1 【1 か月健診未受診者限定】1 か月健診（産後健診）
を受診しなかった理由＜MA＞（N=76 ※不明除く）

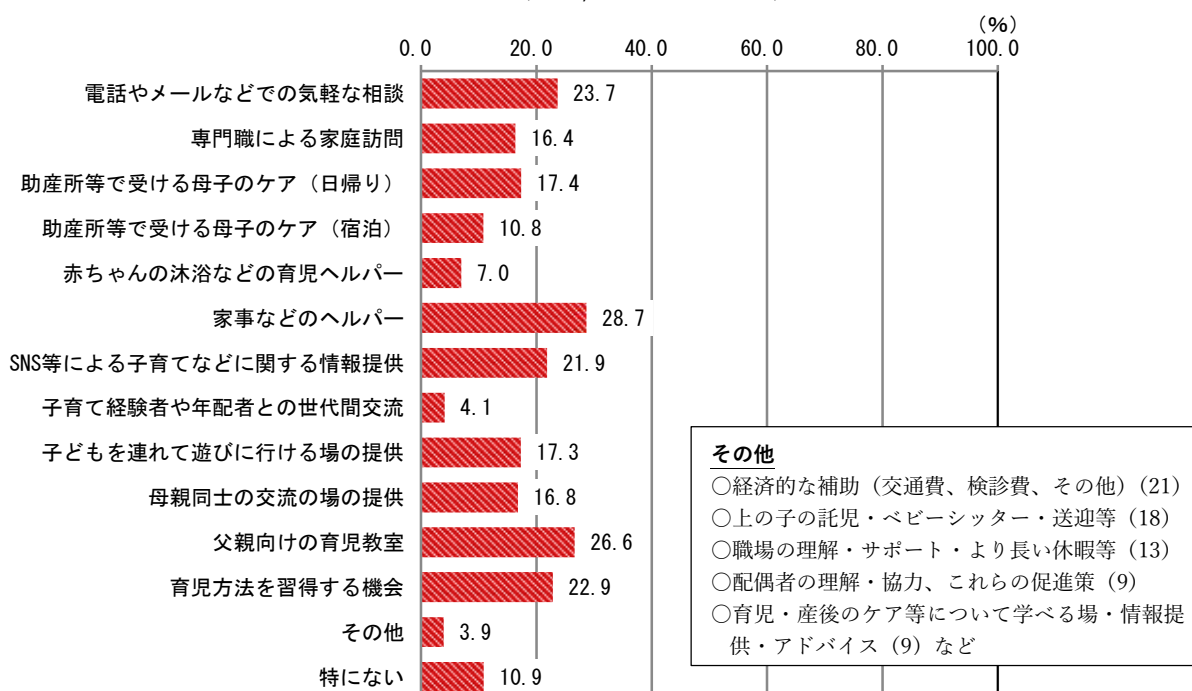


問 33 妊娠中から2歳児までの間に特に重要なサポートとはどのようなものだと思いますか。各時期についてお答えください。(それぞれ〇は3つまで)

妊娠中	出産直後 (分娩後)から 4か月まで	5か月から 2歳児	内容
1	1	1	電話やメールなどでの気軽な相談
2	2	2	専門職による家庭訪問
3	3	3	助産所等で受ける母子のケア(日帰り)
4	4	4	助産所等で受ける母子のケア(宿泊)
5	5	5	赤ちゃんの沐浴などの育児ヘルパー
6	6	6	家事などのヘルパー
7	7	7	SNS等による子育てなどに関する情報提供
8	8	8	子育て経験者や年配者との世代間交流
9	9	9	子どもを連れて遊びに行ける場の提供
10	10	10	母親同士の交流の場の提供
11	11	11	父親向けの育児教室
12	12	12	育児方法を習得する機会
13	13	13	その他()
14	14	14	特になし

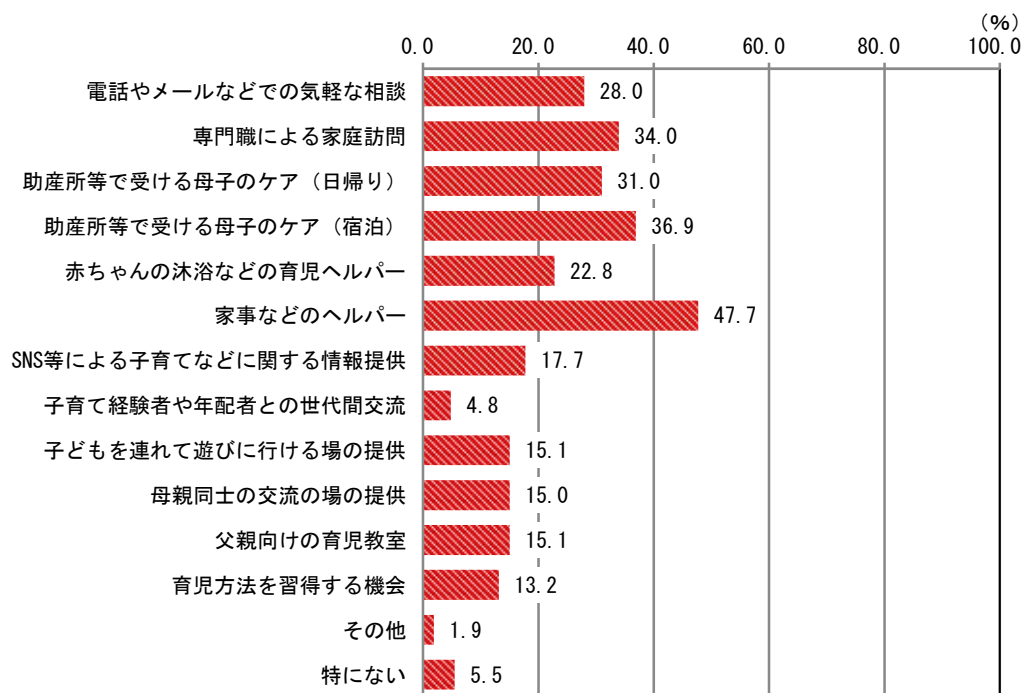
○妊娠中に特に重要だと思うサポートとしては「家事などのヘルパー」(28.7%)、「父親向けの育児教室」(26.6%)がほぼ同率で多く挙げられている。また「電話やメールなどでの気軽な相談」(23.7%)、「育児方法を習得する機会」(22.9%)、「SNS等による子育てなどに関する情報提供」(21.9%)を2割以上の人が挙げた。

問 33 妊娠中に特に重要だと思うサポート
<MA> (N=2,484 ※不明除く)



○出産直後から 4 か月までに特に重要だと思うサポートとしては、「家事などのヘルパー」を半数近くの人が挙げた（47.7%）。以下「助産所等で受ける母子のケア（宿泊）」（36.9%）、「専門職による家庭訪問」（34.0%）が続く。

問 33 出産直後から 4 か月までに特に重要だと思うサポート
<MA> (N=5,242 ※不明除く)

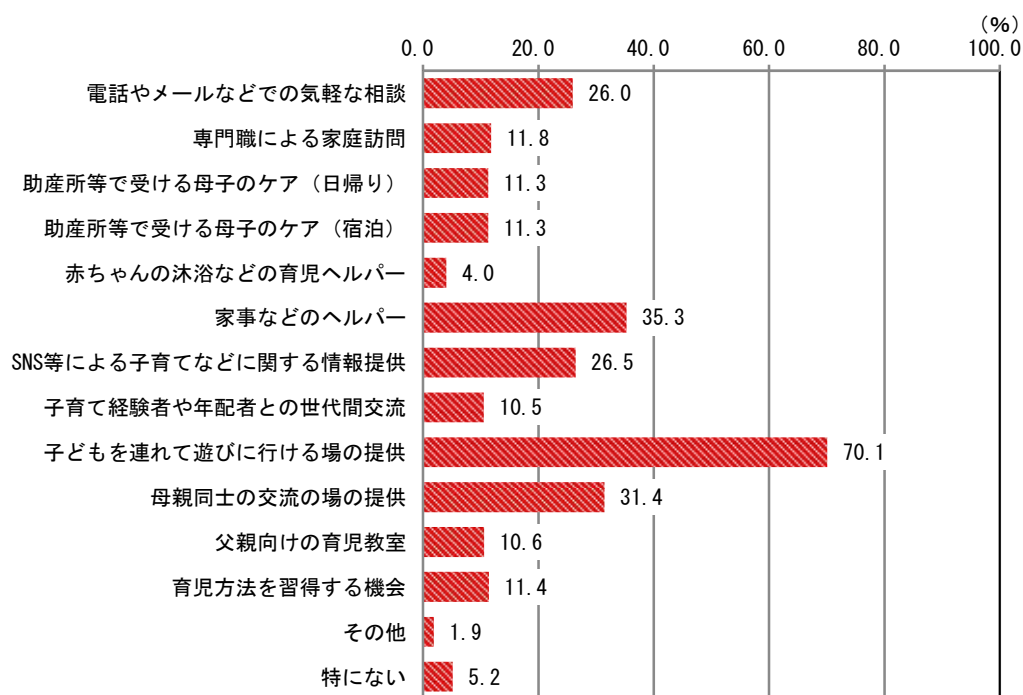


その他

- 母親の精神・身体のケア・リフレッシュの機会・場（21）
- 経済的な補助（交通費、保育料無償化、物品支援等）（17）
- 配偶者・家族の理解・協力、これらの促進策（14）
- 一時保育・ベビーシッター（12）
- 育児等について学べる場・情報提供・アドバイス（8）など

○5 か月から 2 歳時までに特に重要だと思うサポートとしては、7 割の人が「子どもを連れて遊びに行ける場の提供」(70.1%) を挙げている。「家事などのヘルパー」(35.3%)、「母親同士の交流の場の提供」(31.4%) が次ぐ。

問 33 5 か月から 2 歳時までに特に重要だと思うサポート
<MA> (N=5,217 ※不明除く)



その他

- 経済的な補助 (医療費、保育料無償化、物品支援等) (17)
- 一時保育・ベビーシッター (12)
- 母親の精神・身体のケア・リフレッシュの機会・場 (11)
- 配偶者・家族の理解・協力、これらの促進策 (11)
- 育児等について学べる場・情報提供・アドバイス (11)
- 職場の理解・サポート・育休を取りやすい環境等 (8) など

問 34 宛名の方（お子さん）が生まれた時、母親、父親はそれぞれ育児休業を取得しましたか。（それぞれ○は1つだけ）

母親	父親
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した	2. 取得した
3. 現在、取得中である	3. 現在、取得中である
4. 取得していない	4. 取得していない

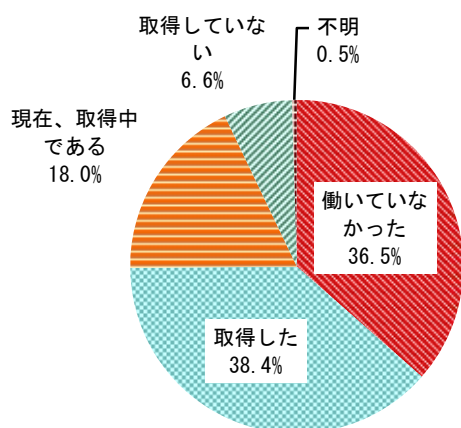
問 34-1 問 34 で「4. 取得していない」に○をつけた方にうかがいます。 取得していない理由をお答えください。（それぞれ○はいくつでも）

母親	父親	取得していない理由
1	1	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったため
2	2	仕事が忙しかったため
3	3	（産休後に）仕事に早く復帰したかったため
4	4	仕事に戻るのが難しそうだったため
5	5	昇給・昇格などに影響がありそうだったため
6	6	収入減となり、経済的に苦しくなるため
7	7	保育所（園）などに預けることができたため
8	8	配偶者が育児休業制度を利用したため
9	9	配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかったため
10	10	子育てや家事に専念するため退職したため
11	11	職場に育児休業の制度がなかったため（就業規則に定めがなかった）
12	12	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかったため
13	13	育児休業を取得できることを知らなかったため
14	14	その他（ ）

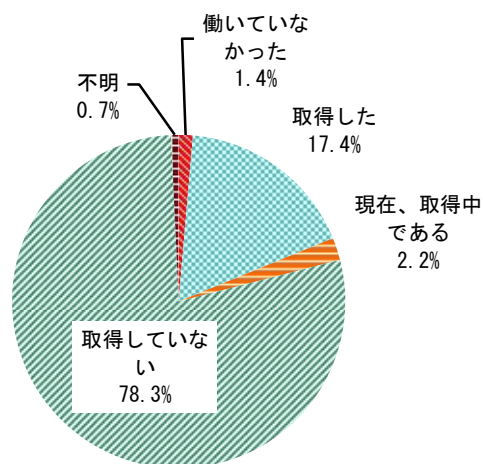
○出生時における育児休業取得の有無を聞いたところ、母親については、「取得した」「現在、取得中である」は計 56.4%と半数を超えた。

○一方、父親については計 19.6%と 2 割以下にとどまっている。

問 34 母親は子の出生時に育児休業を取得したか
<SA> (N=5,374)

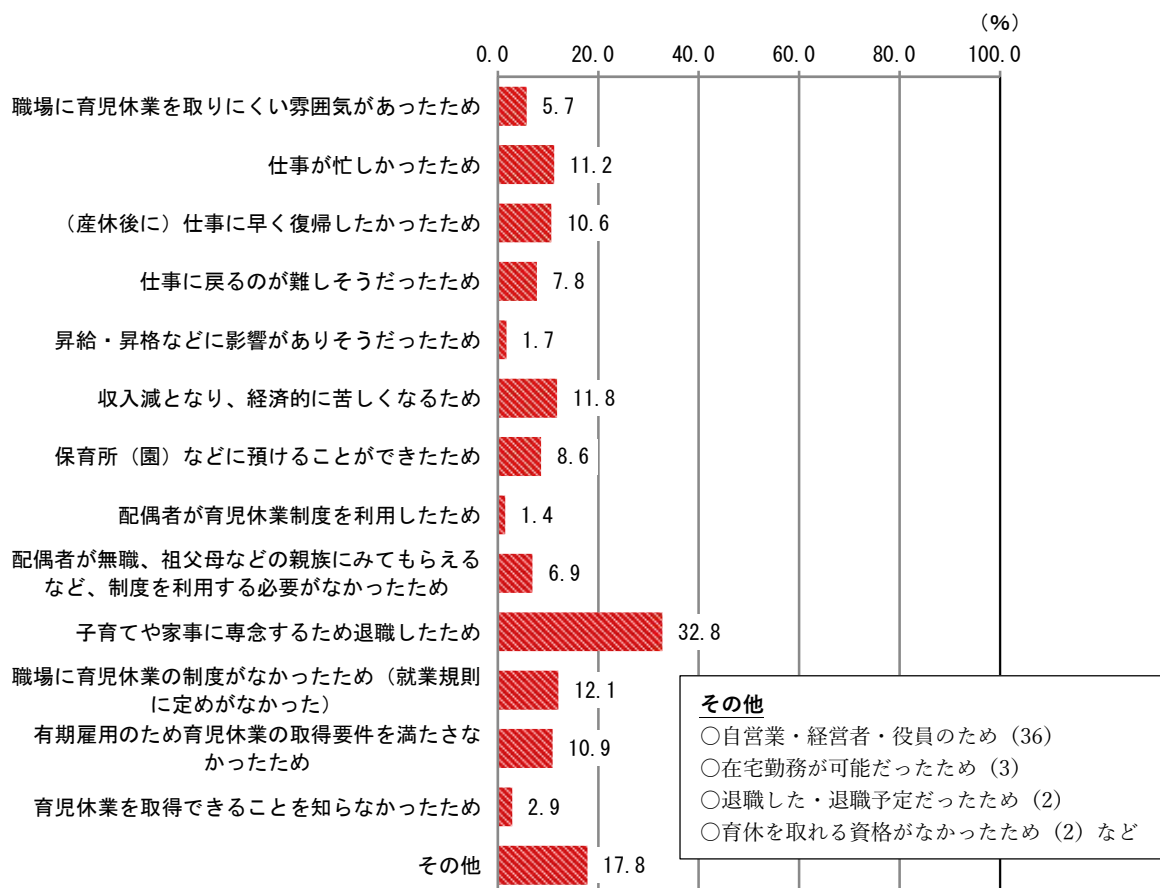


問 34 父親は子の出生時に育児休業を取得したか
<SA> (N=5,122)



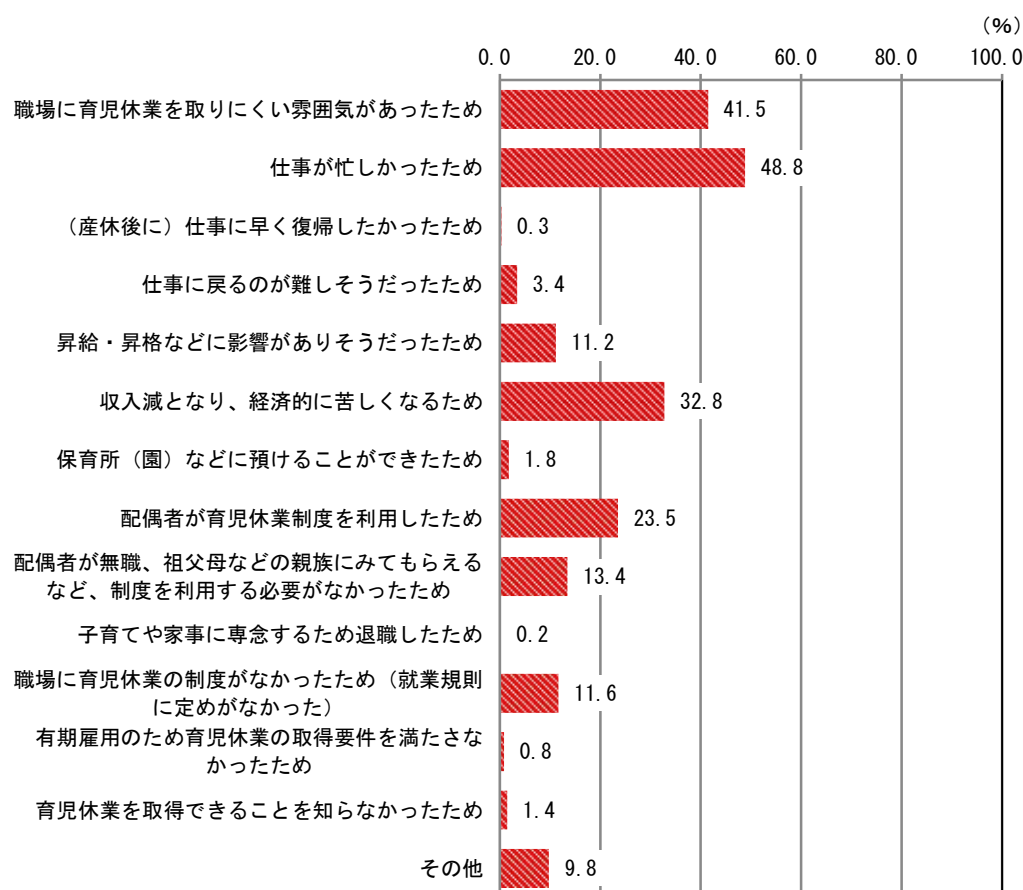
○母親が育児休業を取得しなかった理由としては「子育てや家事に専念するため退職したため」(32.8%) が最も多く挙げられた。

問 34-1 【育児休業を取得しなかった方限定】
母親の育児休業を取得しなかった理由<MA> (N=348 ※不明除く)



○父親が育児休業を取得しなかった理由としては、「仕事が忙しかったため」(48.8%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったため」(41.5%)、「収入減となり、経済的に苦しくなるため」(32.8%)の順で多く挙げられている。「配偶者が育児休業制度を利用したため」も2割を超えている(23.5%)。

問 34-1 【育児休業を取得しなかった方限定】
父親の育児休業を取得しなかった理由<MA> (N=3,916 ※不明除く)



その他

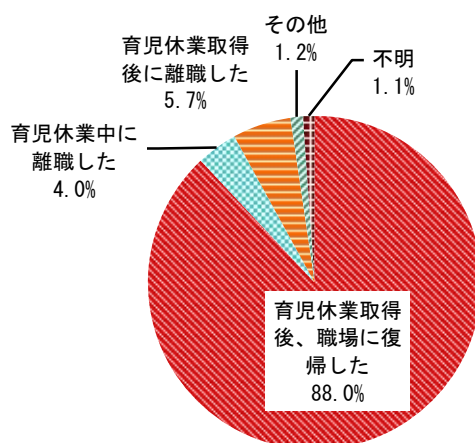
- 自営業・経営者・役員のため(121)
- 育休を取る気がなかった・考えもしなかったため(38)
- 有給休暇等を利用したため(30)
- 職場が育休を取れる環境・雰囲気・状況ではなかったため(28)
- 父親が取得する必要があると考えたため(26)
- 在宅勤務が可能だったため(17)
- 職場に育休制度・前例がなかったため、取得の資格がなかったため(15)
- フレックス制度等で勤務時間に自由度があったため(14)
- 入社・転職したばかりだったため(14)
- 職場から却下された・取得しないよう圧力があったため(11)
- 育児は母親がすればよいと考えているため(10)
- 給与・収入・評価等に影響するため(9) など

問 34-2 問 34 で「2. 取得した」に○をつけた方にうかがいます。 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（それぞれ○は1つだけ）

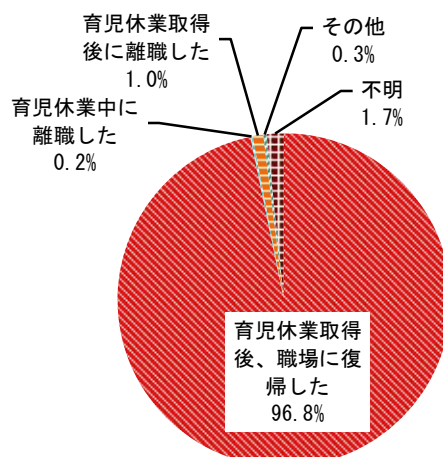
母親	父親
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 育児休業中に離職した	2. 育児休業中に離職した
3. 育児休業取得後に離職した	3. 育児休業取得後に離職した
4. その他（ ）	4. その他（ ）

○母親については 88.0%が、父親については 96.8%が「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答している。ただ、母親については「離職した」との回答者（「育児休業中に離職した」「育児休業取得後に離職した」回答者）も 9.7%と約 1 割いる。

問 34-2 【育児休業取得者限定】母親が育児休業取得後職場に復帰したか<SA>（N=2,064）



問 34-2 【育児休業取得者限定】父親が育児休業取得後職場に復帰したか<SA>（N=893）



問 34-3 問 34-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。 育児休業から「実際に」職場復帰したのは宛名の方（お子さん）が何歳何か月のときでしたか。また、ご希望としては何歳何か月まで育児休業を取得したかったですか。

母親	父親
実際の職場復帰： お子さんが□歳□□か月のころ 希望： お子さんが□歳□□か月のころ	実際の職場復帰： お子さんが□歳□□か月のころ 希望： お子さんが□歳□□か月のころ

問 34-4 問 34-3 で実際の職場復帰が希望より早かった方にうかがいます。 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。（それぞれ○はいくつでも）

母親	父親
1. 勤め先の制度や指示のため仕方なく 2. 希望する保育所（園）に入るため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 5. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 6. その他（ ）	1. 勤め先の制度や指示のため仕方なく 2. 希望する保育所（園）に入るため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 5. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 6. その他（ ）

問 34-5 問 34-3 で実際の職場復帰が希望より遅かった方にうかがいます。 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。（それぞれ○はいくつでも）

母親	父親
1. 勤め先の制度や指示のため仕方なく 2. 希望する保育所（園）に入れなかったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 5. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 6. 子どもをみってくれる人がいなかったため 7. その他（ ）	1. 勤め先の制度や指示のため仕方なく 2. 希望する保育所（園）に入れなかったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 5. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 6. 子どもをみってくれる人がいなかったため 7. その他（ ）

問 34-6 問 34-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。（それぞれ○は1つだけ）

母親	父親
1. 短時間勤務制度を利用した 2. 短時間勤務制度を利用しなかった	1. 短時間勤務制度を利用した 2. 短時間勤務制度を利用しなかった

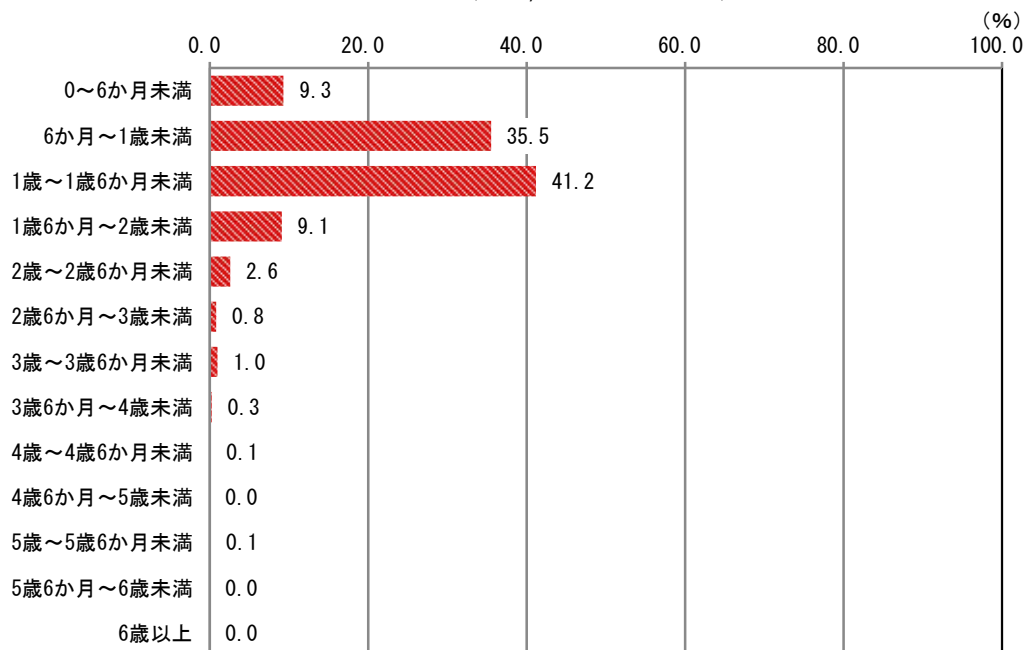
問 34-7 問 34-6 で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」に○をつけた方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。（それぞれ○はいくつでも）

母親	父親	利用していない理由
1	1	職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため
2	2	仕事が忙しかったため
3	3	短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなるため
4	4	配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用したため
5	5	配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかったため
6	6	子育てや家事に専念するため退職したため
7	7	職場に短時間勤務制度がなかったため（就業規則に定めがなかった）
8	8	短時間勤務制度を利用できることを知らなかったため
9	9	その他（ ）

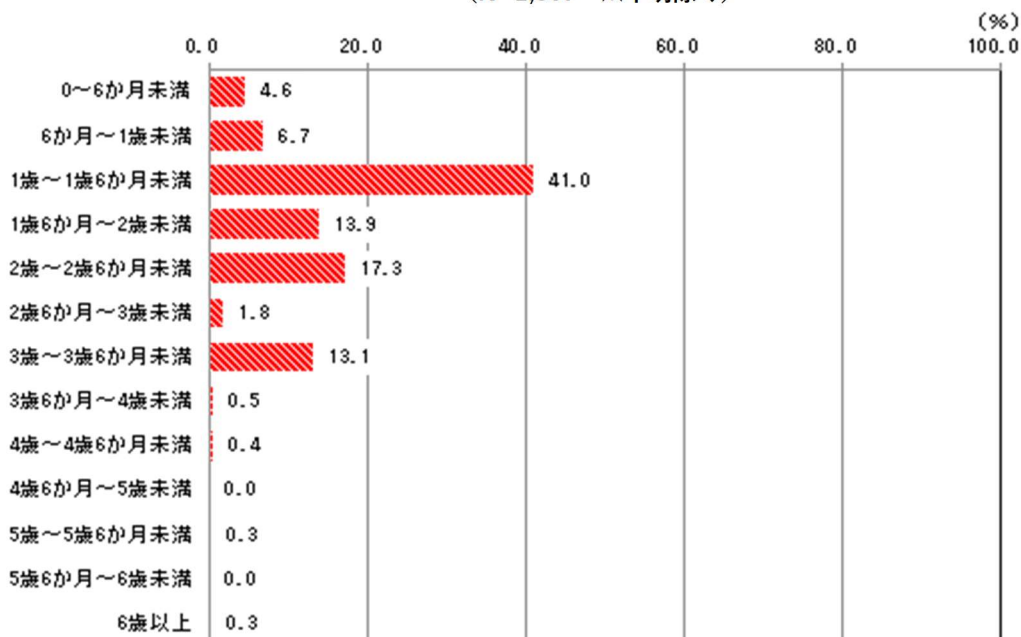
<母親の育休後の職場復帰時期等>

○育児休業取得後の職場への復帰について「実際」と「希望」を比較すると、母親の46.1%が、子が1歳6か月～3歳6か月未満のときに復帰を希望していた一方で、実際にその時期に復帰している母親は13.5%にとどまっていること、1歳未満までに復帰したいと希望している母親は11.3%だったが、実際には44.8%の母親が同時期に復帰していることがわかった。

問 34-3 【育児休業取得後、職場に復帰した方限定】
母親は子が何歳の時に職場に復帰したか（実際）＜IN＞
(N=1,813 ※不明除く)



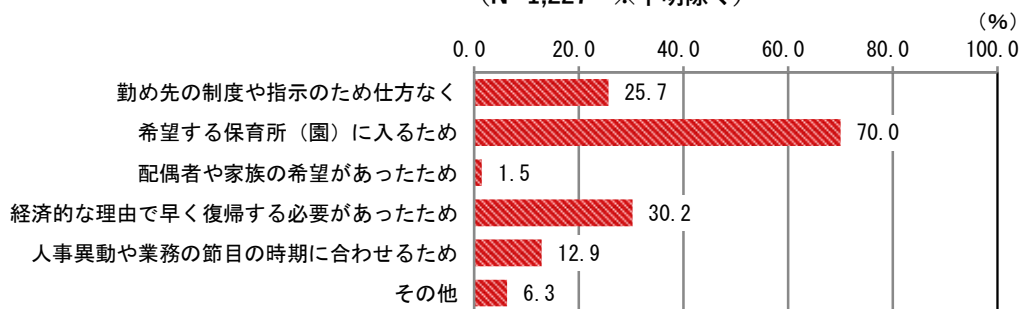
問 34-3 【育児休業取得後、職場に復帰した方限定】
母親は子が何歳の時に職場に復帰しなかったか（希望）＜IN＞
(N=1,807 ※不明除く)



○母親の育児休業取得後の職場復帰が希望より早かった理由としては、「希望する保育所（園）に入るため」を7割（70.0%）の人が挙げている。

○育児休業取得後の職場復帰が希望より遅かった理由としても「希望する保育所（園）に入るため」（78.7%）が最も多く挙げられている。

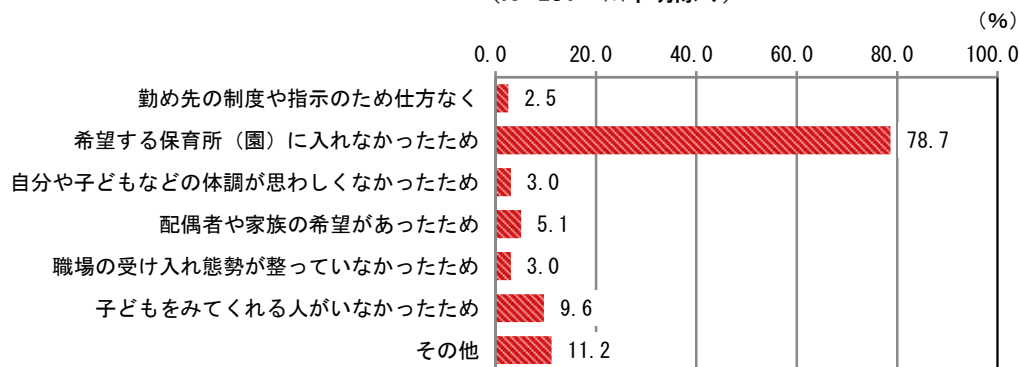
問 34-4 【育児休業取得後の職場復帰が希望より早かった方限定】母親が希望の時期に職場復帰しなかった理由<MA>
(N=1,227 ※不明除く)



その他

- 職場が人手不足のため・職場等から頼まれたため・キャリアのため（20）
- 保育園の入園時期・条件の関係で（14）
- 育児疲れ・育児以外のことをしたかった・仕事をしたかったため（7）など

問 34-5 【育児休業取得後の職場復帰が希望より遅かった方限定】母親が希望の時期に職場復帰しなかった理由<MA>
(N=197 ※不明除く)

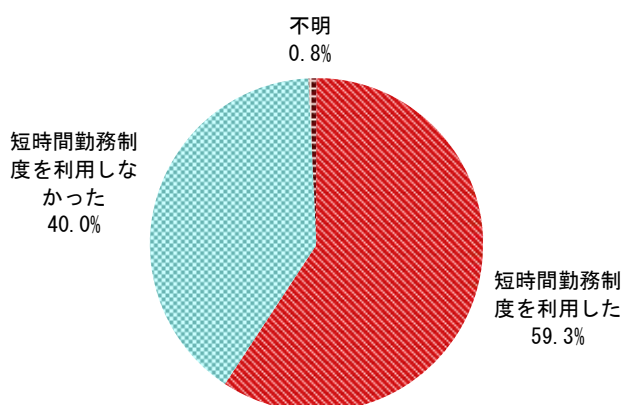


その他

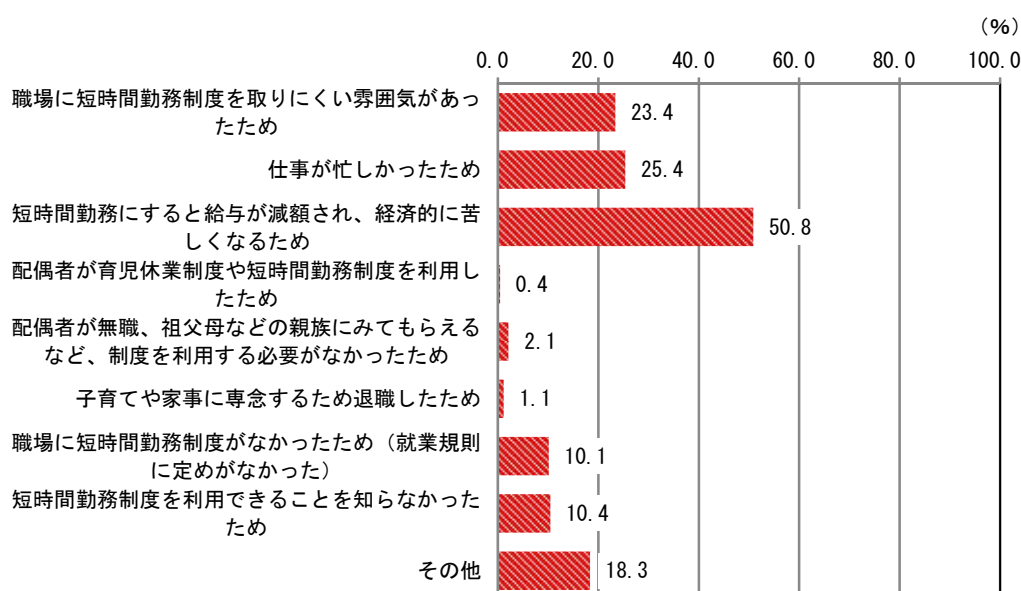
- コロナ禍の影響（7）
- 次の子の育休と重なったため（4）など

- 育児休業からの職場復帰後「短時間勤務制度を利用した」母親は59.3%であった。
- 短時間勤務制度を利用しなかった理由としては、半数の人が「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなるため」(50.8%)を挙げている。「仕事が忙しかったため」(25.4%)、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があったため」(23.4%)も2割以上の人が挙げている。

問 34-6 【育児休業取得後、職場に復帰した方限定】
母親は復帰後、短時間勤務制度を利用したか
<SA> (N=1,817)



問 34-7 【短時間勤務制度を利用しなかった方限定】
母親が利用しなかった理由<MA> (N=710 ※不明除く)



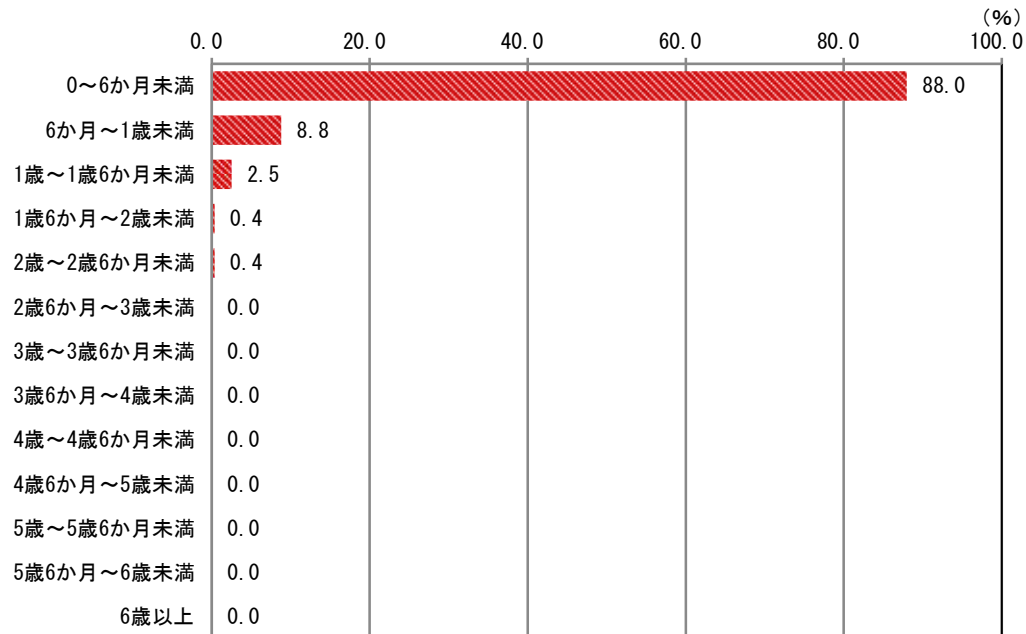
その他

- 短時間勤務・パートタイムのため (51)
- 利用する必要がなかった・必要性を感じなかったため (10)
- 働きたかったため・フルタイムで働きたかったため・働けると思ったため (7)
- 仕事量が多かったため・時短のメリットがなかったため (7)
- 利用できる役職・仕事内容・勤務形態ではなかったため (6) など

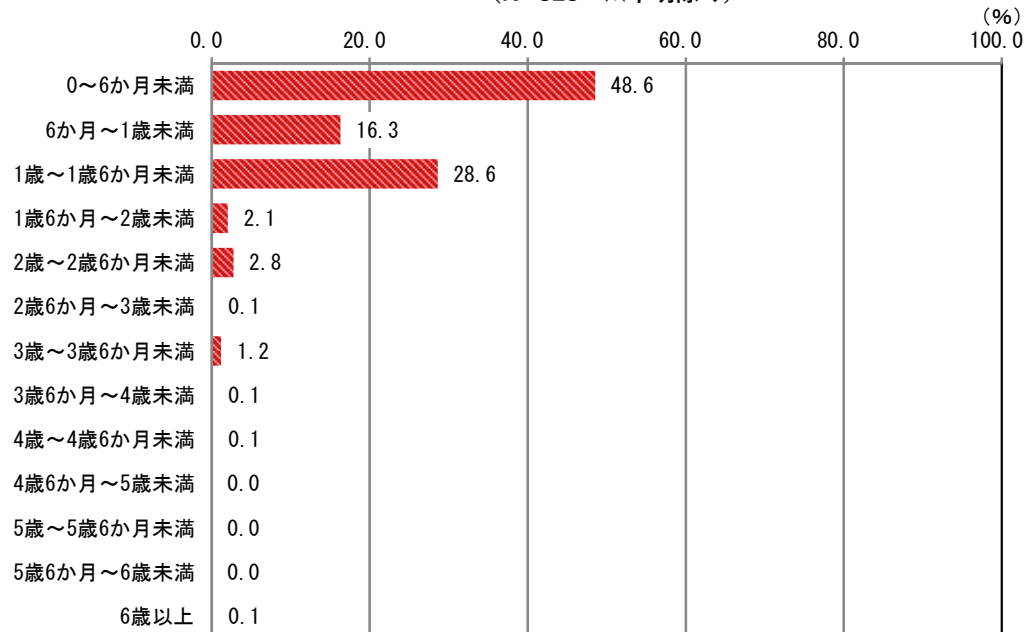
<父親の育休後の職場復帰時期等>

○父親の育児休業取得後の職場への復帰状況だが、「0～6 か月未満」の復帰を希望していた人は48.6%だったが「実際」は88.0%の人が同時期に復帰していた。

問 34-3 【育児休業取得後、職場に復帰した方限定】
父親は子が何歳の時に職場に復帰したか（実際）<IN>
(N=830 ※不明除く)



問 34-3 【育児休業取得後、職場に復帰した方限定】
父親は子が何歳の時に職場に復帰したかったか（希望）<IN>
(N=828 ※不明除く)

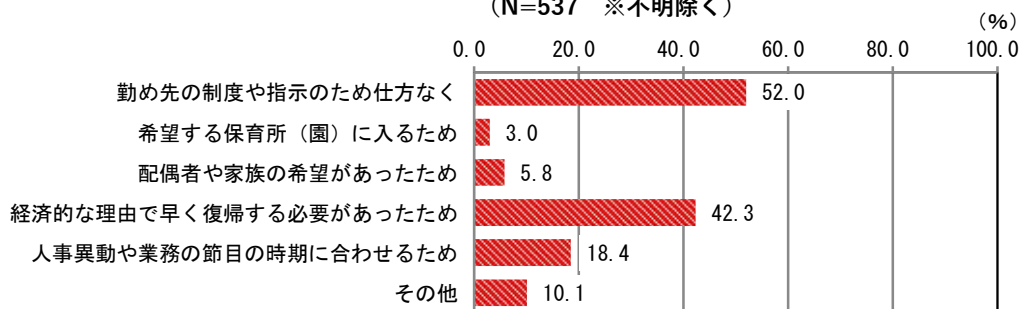


○父親の育児休業取得後の職場復帰が希望より早かった理由としては「勤め先の制度や指示のため仕方なく」(52.0%) が最も多く挙げられている。「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」(42.3%) も 4 割超の人が挙げている。

○育児休業取得後の職場復帰が希望より遅かった理由を挙げた人は 9 人とどまった。うち 5 人 (55.6%) が「配偶者や家族の希望があったため」を挙げた。

問 34-4 【育児休業取得後の職場復帰が希望より早かった方限定】父親が希望の時期に職場復帰しなかった理由<MA>

(N=537 ※不明除く)

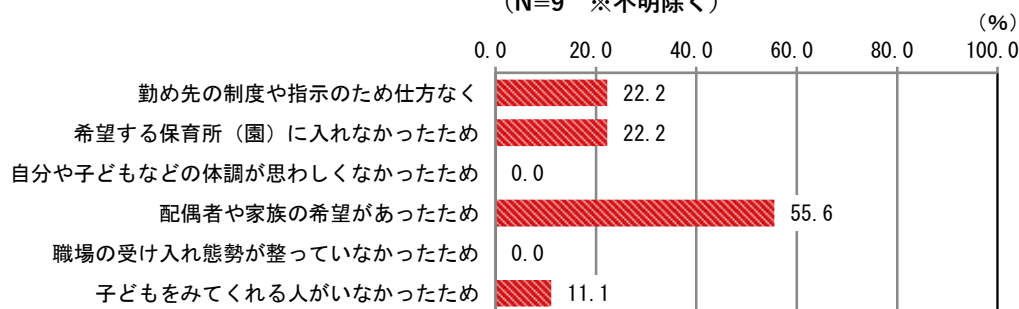


その他

- 職場が長く育休を取れる雰囲気・環境ではないため (15)
- 仕事が忙しかったため・仕事があったため (9)
- キャリア・評価・給与・収入に響くため (8)
- 人手不足のため・同僚等に負担をかけてしまうため (6)
- 本人が希望したため (5)
- 育休を取る人がほとんどいないため・前例がないため (5) など

問 34-5 【育児休業取得後の職場復帰が希望より遅かった方限定】父親が希望の時期に職場復帰しなかった理由<MA>

(N=9 ※不明除く)

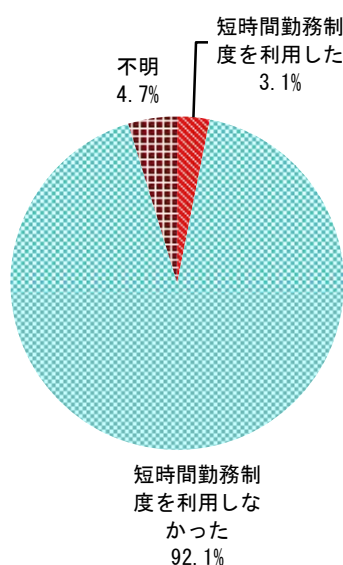


その他

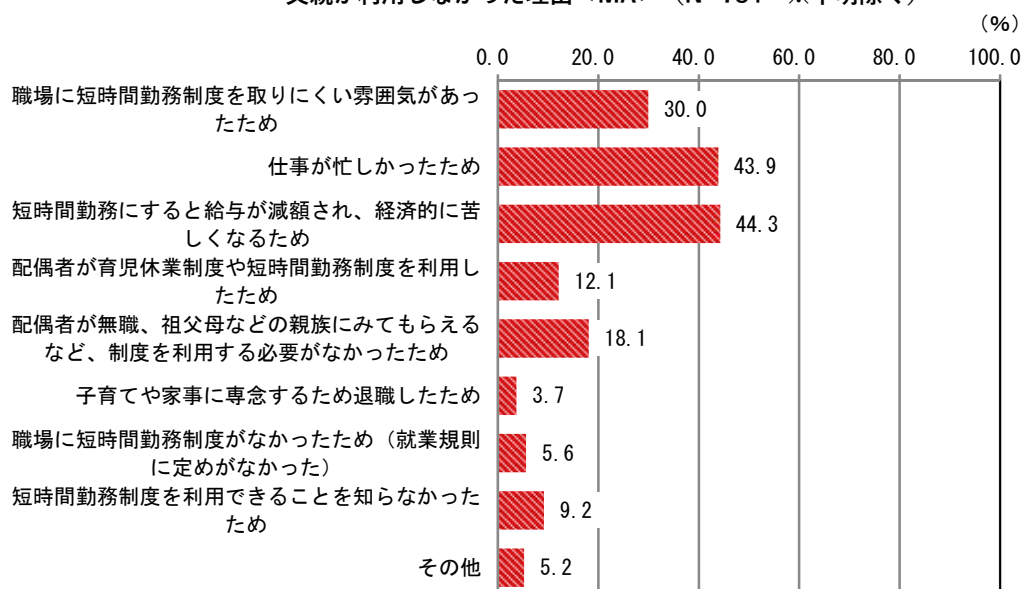
- 保育園に入れず母親と交代で育休取得のため

- 育児休業取得後、職場に復帰した父親の復帰後の短時間勤務制度を利用有無だが、92.1%が「短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した。
- その理由としては「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなるため」(44.3%)、「仕事が忙しかったため」(43.9%)がほぼ同率で多く挙げられている。

問 34-6 【育児休業取得後、職場に復帰した方限定】
父親は復帰後、短時間勤務制度を利用したか
<SA> (N=864)



問 34-7 【短時間勤務制度を利用しなかった方限定】
父親が利用しなかった理由<MA> (N=784 ※不明除く)



その他

- 利用する必要がなかった・必要性を感じなかったため (11)
- 在宅勤務・フレックス勤務が可能だったため (5)
- 査定・昇進等に響くため (3)
- 利用できる雰囲気ではなかった・同僚等に負担がかかるため (3) など

問 35 あなたは、仕事と子育ての両立について、調和がとれていると思いますか。(○は1つだけ)

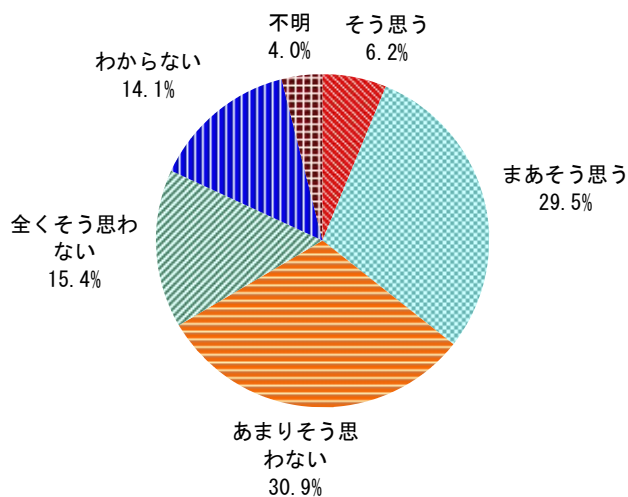
- | | | |
|-------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. あまりそう思わない |
| 4. 全くそう思わない | 5. わからない | |

問 36 あなたは、どうしたら、「仕事」と「子育て」の調和がよとりえるようになると思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 労働時間(残業時間を含む)が短縮されること |
| 2. 突発的な休暇や早退がとしやすいこと |
| 3. 職場の上司や同僚の理解が高まること |
| 4. 家庭での家事や育児の分担ができること |
| 5. 自分の自由な時間が持てること |
| 6. 話し相手や相談相手ができること |
| 7. 経済負担が軽減されること |
| 8. 子育てに関する情報が気軽に得られること |
| 9. 一時預かり等の子育て支援サービスが利用しやすくなること |
| 10. 子どもの祖父母や親せきの協力が得られること |
| 11. 友人や知人の協力が得られること |
| 12. その他() |
| 13. わからない |

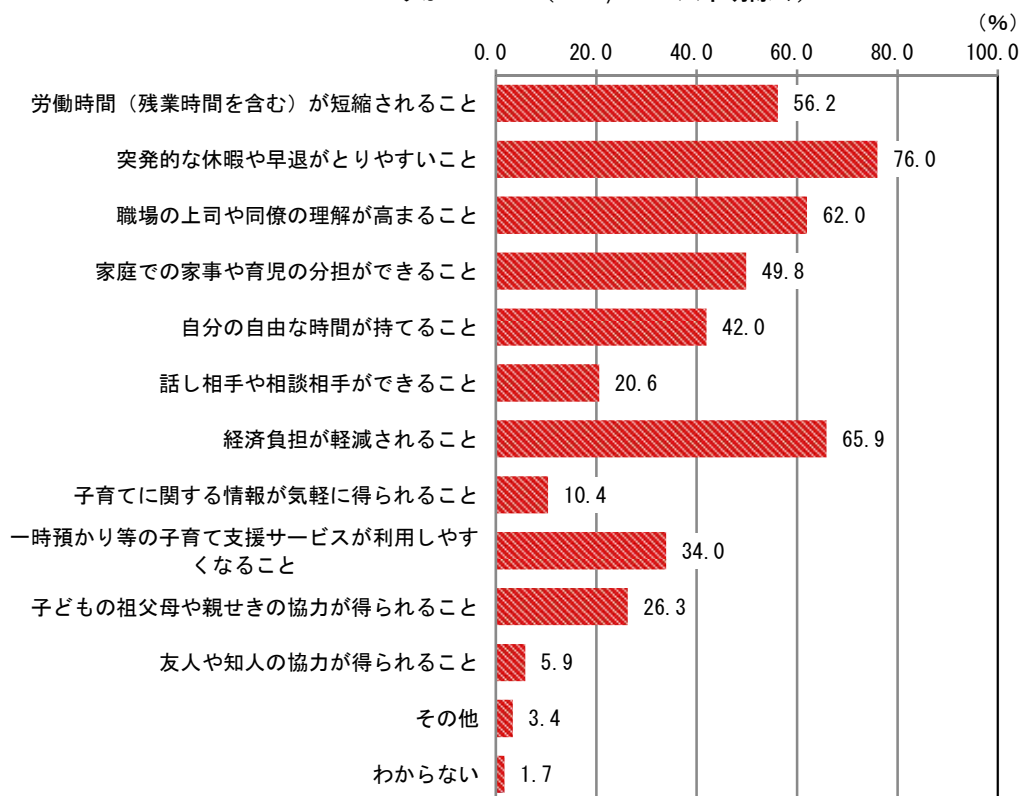
○仕事と子育ての両立について、調和がとれていると思う回答者(「そう思う」「まあそう思う」回答者)は計 35.7%、調和がとれていないと思う回答者(「あまりそう思わない」「全くそう思わない」回答者)は計 46.3%となっており、「調和がとれていないと思う」が上回っている。

問 35 仕事と子育ての両立の調和が取れていると思うか
<SA> (N=5,394)



- 「どうしても仕事と子育ての調和が取れるようになると思うか」との問に対しては「突発的な休暇や早退がとりやすいこと」(76.0%)、「経済負担が軽減されること」(65.9%)、「職場の上司や同僚の理解が高まること」(62.0%)、「労働時間（残業時間を含む）が短縮されること」(56.2%)を半数以上の人が挙げている。

問 36 どうしたら仕事と子育ての調和が取れるようになると思うか<MA> (N=5,268 ※不明除く)



その他

- 十分な収入、補助・減税、片親の収入だけで子育てができる社会・景気 (24)
- 育児中の時短勤務制度・収入補償、業務量・勤務日数・勤務時間の削減 (20)
- 保育園に入りやすく・利用しやすくなること (16)
- 親・子が病気等のときに利用できる託児の充実（病児保育・一時保育）(13)
- 柔軟な就業が可能になること（フレックス、リモートなど）(10)
- 育休・時短勤務・定時退社を可能とする職場の制度・配慮 (10) など

(13) 子育て支援施策に関するご意見・ご要望

問 37 札幌市の子育て支援の取組について、何かご意見がありましたら自由にご記入ください。

○2,212 人が回答した（「特になし」等は除く）。

○特に多かった意見・要望の分野は下表のとおりである。

順位	意見・要望の種類・分野	該当数
1	医療費・教育費・交通費等の経済的な支援・減税、これらの所得制限緩和・撤廃	726
2	保育園・幼稚園・こども園にかかる費用	263
3	保育園・幼稚園・こども園入園の容易化・整備・職員増、待機児童の解消	261
4	屋内型の遊び場の整備等	259
5	職場・社会の子育て・子育て世帯への配慮・意識改善（産育休・短時間勤務等）	228
6	一時預かり（病児・病後児保育以外）	165
7	相談（窓口、保健師・行政等の対応、検診）	125
8	親・子が病気時の託児（一時保育・病児・病後児保育）	123
9	子育て支援等に関する情報	118
10	物品・物品購入の支援（ゴミ袋、オムツ、米、牛乳、その他）	108
11	子育てサロン	73
12	産後ケア・産後ケア事業	62
13	学童保育（児童クラブ、民間児童育成会、児童館）	55
14	保育士・幼稚園教諭・児童会館職員等の待遇改善・スキルアップ	48
15	公園等屋外の遊び場の整備、遊び場全般	47
16	延長保育、土日祝日・長期休暇時の保育等	44
17	小児科・医療機関の充実、受診・予約の容易化等	44
18	バリアフリー化（公共空間・交通機関等）	42
19	子連れで行ける店舗・場所の普及・情報提供	39
20	医療的ケア児、障がい・発達障がい	34

上位 10 種類・分野の代表的な意見・要望

医療費・教育費・交通費等の経済的な支援・減税、これらの所得制限緩和・撤廃

- 所得制限により医療費無償化や子ども手当が受けられないことの負担が大きく感じる。また、不公平感も感じるため、所得制限は撤廃してほしい。
- 医療費軽減や保育料負担軽減全てに所得制限があり、子ども達にかかる負担まで差別されるのは大変不公平。札幌市は他の市町村と比較して、子育てしにくい。年齢差がある兄弟では、保育料の負担軽減もなくなり、負担が大きい。子育てにかかる費用は家計にかかわらず、平等にしなければ、少子化が進むと思う。
- 医療費助成はあれど、往復のバス代と初診料、薬代(たまに取られます)の積み重ねがばかになりません。就学前の子どもと一緒に親もバス代無料になると良いなと思います。
- 早生まれの子にも児童手当が均等に受けられるようにしてほしい。現在の児童手当ではかなり金額が違う。それを補うような経済的負担を軽くしてほしい。早生まれで生んでしまって申し訳ないという思いと、どんな時期に生まれても喜ばしいことなのに素直に喜べないことはおかしいと思う。
- 所得制限なしの支援にしてほしいです。親の所得で支援が受けられないのは不公平です。
- 子ども医療費無償化に所得制限は設けなくて欲しい。累進課税であるのに、行政サービスを受ける際に逆差別されるのは理解できない。
- 医療費、学費、給食費など、子育てにかかる費用が少しでも減ると大変ありがたいです。
- 学費での貯蓄で先が見えないので東京で先進的に始まった高校の学費免除や大学の学費免除の制度の検討を札幌でも行って欲しい
- 給付金よりまずは恒久的な給食無償化を。次に、どの小学校で必ず使う教材である絵の具セット、習字セット、裁縫セット、鍵盤ハーモニカ、リコーダー、彫刻刀の無償配付を。これでどの家庭も小学生一人当たり 34 万円位の補助になるのではないかな。どの子も平等にとっても助かります。
- せめて中学生までの交通費負担減にして欲しい。義務教育なのになぜ?と思う。中学生になると塾にも通うので何かと交通機関の利用が増えて、子どもが大きくなるにつれお金がかかる。

保育園・幼稚園・こども園にかかる費用

- 保育料 2 人目無料を長子が在園中か否かに関わらず実施して欲しかった。子育てに必要なお金は歳の差があってもなくても変わらない。進級よりも進学の方が、必要経費がかかる。病児保育や病児のシッターサービスを使いやすくしてほしい。
- 高所得者の保育料が高すぎる。また前年の年収で決まるため、第二子育児休業中で所得が 200 万円以上落ちている中、負担するのが本当に厳しいです。我が家はあと数か月で 3 歳無償化が開放されますが、同じ思いのご家庭は多そうです。第一子 0~2 歳の無償化もぜひご検討いただきたいです。医療費無料の年収上限も 2,000 万円とかもっと高くてもいいのではないかと思います。
- 子どもが小さいうちは時短勤務等により収入が減るので保育料の減額等金銭面のサポートが欲しいです。
- 幼稚園の冷暖房費が高いと思います。子どもが快適に過ごすには市や道が援助すべきだと思います。収入は変わらないのに、値上げ値上げでおむつや粉ミルク、赤ちゃんの必需品に凄く費用がかさみ出費が絶えない。児童手当の金額を見直すべきだと思います。
- 保育園無償化などは、同じ幼稚園に入れようとしたら実質賃上げになっていて無償化前と比べて高くなっています。経済的負担が上がり続けているのに子どもなんて増えるわけないと思いますが？札幌市だけのせいではありませんが。
- 幼稚園の満 3 歳以降無料について 誕生月ではなく、学年で分けてもらいたい。3 月生まれなため、2 才の年年少から入るのをあきらめました。
- 保育料が高いです。保育料のために仕事をしています。
- 近所の保育園に入園できず、認定こども園の幼稚部に通っています。就業のため夏休み、冬休み中の預かり保育を利用していますが。助成金(1 日 450 円)をいただいても、1 日あたり約 1,000 円の負担があり保育園との費用格差が気になっています。新 2 号に対して、長期休暇中の助成金を増額していただけると大変助かります。
- 働きたいが。子どもを 3 歳以下で預けると、保育料が高すぎて働いても意味がなくなる。だから若い世代が子どもをあきらめてる人も多いのでは、30~40 代で初産が多くなり子どもも 1~2 人になってしまうのでは。
- 一番驚いたのは、保育園(認可、こども園含む)の利用料が高いことです。育休中の雇用保険から出る手当ででの生活も苦しいですが、あまり差がない生活になりそうです。これでは働くことが損に感じてしまいます。仕事を続けるために復職しますが、職場が休いで良い雰囲気であれば 2 才まで育休取得したいところです。オムツ、ミルクも物価高で値上がりしているので、児童手当も上げてほしいです。母乳を与えることができない母親なので、ミルク代はとてもかかります。結果として、0 才がミルク代、オムツ代と消費が激しいのに保育料が一切無料になる対象が 3 才~なのにも納得できません。

保育園・幼稚園・こども園入園の容易化・整備・職員増、待機児童の解消

- 転勤で札幌市にきたため希望する園に兄弟ともに同時に入るとは出来なかったですが熱心に話を聞いてくれて助かっています。保育施設が増えてくれるとありがたいです。入れなかった児童の一時預かり先が民間でもあれば紹介してほしい。
- 子育てサービスが充実するのはありがたいですが、保育士小中学校の先生たち現場の負担が増えないよう、人員配置が十分できる体制が必要だと思います。学童の指導員やスクールソーシャルワーカーなどの質も確保できるよう不安定な雇用形態ではなく、安定した環境が望まれます。何でも無料にしてほしい訳ではないので、子どもに関わる分野で志ある人材が続けられるよう環境が整うのであればそこに税金が投資されると嬉しいです。
- 認定保育園に入りやすくしてほしい。子どもの病気や怪我で母親ばかりが休み、パートの為、有給もなく、手取りがただ減り、生活が苦しくなるだけです。働きたくても働けない状況をなんとかしてほしいです。
- 働いている人が働きやすいように認可保育園へ兄弟揃ってスムーズに入園させたい。
- 札幌市は保育所や病院といった施設が多いため、施設利用は大変便利だと思います。他方、保育所に入所しにくかったり、サポートの制度が複雑だったりすること、情報の入手や相談といったソフト面での利用のしづらさなどは感じています。前年まで他市町村にいたので、そこと比較したときの印象です。
- 保育園に気軽に預けられるようにしてほしい。そのために保育園の先生方の給与を大幅に上げてほしい。
- 年々保育園や子育てサービスが増えうれしく思います。しかし、なお希望した保育園に入れるか・子育てにお金がかかりすぎることは大きな不安です。更なる園の増設、保育料は全員無料、先生方の余裕の為に園への補助金の増額などお願いしたいです。20年後も札幌市が魅力あるまちであり続けるためにも価値ある税金の使い方をしてください!!
- 行きたい保育園やこども園に入園できるように、保育士の方が増えるような、処遇改善に取り組んで頂きたいです。
- 保育所に看護師さんを雇ってほしい。そうすれば、安心して預けられる(多少の風邪症状があっても)
- 育休終了後の2歳、3歳でも保育園に入りやすいようになつたら嬉しいです。保育士さんがどこも人手不足の印象を受けます。保育士さんへの支援を充実させて、保育士をやめたいと思う人を少なくするのも大切かと思います。

屋内型の遊び場の整備等

- 赤ちゃんが無料で遊べる室内施設はたくさんあるように思いますが、小中学生が気軽に友達と遊べるような室内施設はあまりないと感じます。最近では夏でも暑すぎたりしてなかなか外で遊ぶのも難しい時が多いので、ぜひ室内で（できれば無料で）遊べる場所を作ってください！
- 最近地方では室内遊び場や公園が整備されて、乳児から幼児、児童まで遊びやすい場所が増えてきているが、札幌市内には夏休みなど長期休みの間や悪天候時、平日休日問わず遊べる所がないので作って欲しい。
- 冬の寒さが厳しい地域であり、人口も多い市であるにも関わらず子どもの室内遊び場が圧倒的に足りていないと感じる。
- 3歳の子どもの育てております。豪雪地帯にもかかわらず、屋内の遊び場がとても少ないと感じます。私は車を運転できないため、公共交通機関での移動が主ですが、屋内の遊び場は郊外が多く、行くのは大変です。再開発で札幌駅周辺にあった遊び場も無くなってしまい、とても不便です。子どもがのびのびと遊べる場を札幌駅や大通駅周辺に市として作ってほしいと思います。
- 屋内の遊び場を充実させて欲しい（石狩市のふれあいの杜、江別市の「ぽこあぽこ」、恵庭市の「りりあ」のような施設）。雪の降り始めや雪解けの時期に公園に行けないので、身体を動かせる場が必要。
- 公園などは多く屋外で遊べる場所は多いと思います。しかし、屋内で遊べる場所が少なく雨天時や冬の遊び場所に困っているのももう少し増えると良いと思います。
- 子どもが遊べる遊び場がとても少ない。無料で気兼ねなく遊べる場所を増やしてほしい。屋内の芝生のみスペースでもよい。
- 子どもの屋内遊び場が充実していない。南幌「はれっば」、恵庭「りりあ」、岩見沢「であえーる」のような、屋内遊戯施設を増やして欲しい。
- 体育館等がある大きな室内の遊び場を増やして欲しい。年齢が上がると、狭いスペースだけでは赤ちゃんに怪我をさせてしまいそうで怖い。石狩市の子育て支援センター（フレって）は連れて行きやすい。隣に公園があるのもとても良い。
- 子どもを連れて遊びに行ける大きな屋内施設が近所に欲しいです。夏場は公園などに行けませんが、冬場、特に冬休みの間は外も寒く、家の中でずっとテレビを見るしかなく、困ります。飲食店が併設されていればなおいいです。是非お願いします。

職場・社会の子育て・子育て世帯への配慮・意識改善（産育休・短時間勤務等）

- 育休延長、それに伴う手当延長が、希望すれば誰でもできるようになってほしい。せめて、子が2歳になるまで。可能なら3歳になるまで。
- フルタイムで育児をしている時は、子どもとの時間が取れず、育児家事に追われて常に変身でした。夫も仕事が遅くワンオペでした。フルタイムで働くなら、働く日数を減らすなど、子どもとの時間を増やせたら、子育てイベントにも参加しやすく、子育ての悩みも1人で抱え込まず相談しやすくなるかなと思います。短時間勤務も選択していましたが、1時間短くなってもあまり変わらないなと、思いました。
- 子育て世代の仕事での時間的な負担軽減(勤務時間、日数等)を市から積極的に推し進めて欲しい。父親の早出残業は子育て中も変わらず。母親が仕事をセーブしているが、共働きには変わりないのでとても大変なんです。父親が19時に家にいたら最高だと思う。札幌が日本の中で率先して、定時帰宅の社会を作って欲しい。行政の指示であれば職場も対応して欲しいと思うので。
- 旦那の育休明けの月は給料が下がりました。それはわかっていましたが、冬のボーナスも休暇扱いのため6万も引かれました。育休推奨しているにも関わらず、したらしでそのような扱いを受ける旦那が可哀想で仕方なかったです。育休中も休まず私や子どものケアをしていていました。育休取得まで引き継ぎなどで残業続きだったし、育休中は休まず家のことをしてくれていました。子どもが産まれることはおめでたいことなのに、給料が引かれるなど、こんなに扱いが酷いものなのかと、子どもを産んで感じました。産後の母親のメンタルケアと同時に、育休明けの父親のケアも会社で行ってほしいです。仕事も育児に負担が多すぎだと思います。
- 育児休暇の取得や完全週休二日制（それに準ずる休み日数）を企業に推奨して欲しい。特に市の入札に関する加点項目等にしたり、模範的企業とアピールしたり…。労働環境が良くない親は多いと思うので、少しずつ新しい価値観が浸透して行くように市から何らかのアクションをして欲しい。市の施設を委託管理しているのに、休みが少なすぎて辛いのでよろしくお願いします。
- 前の職場は、正社員だったにも関わらず、職場は妊娠したら退職しかない雰囲気だった。今の職場も、パートでも産育休とれることをココシェルジュの方に確認したにも関わらず、2人目妊娠時、実際現場には産育休は社員しかとれないと勘違いしてる上司がいて、制度を理解していない人が多い。週5ほぼフルタイムで1年以上継続してるのに、また自分で調べて、上司に説明、確認を促さなければならなかった。産休や育休を知らない人が多いので、現場にも制度を浸透させてほしい。
- 仕事したいけど、かぜひいたりすると休まなくてはならなくて、子どもがひいたら自分もかぜひいたりするので1週間とかあつというまに休むことになる。もっと、休みをとりやすい環境の仕事場が増えてほしいです。

- 子どもを 1 人育てるのに何千万というお金が必要と言われる時代なのに職場や上司の理解が得られないのはおかしいと思う。どの職業にも障害者枠というのがあるのなら、子育て母親枠などを作ってもいいのではないかと思う。それかデータ入力など、家でも出来る仕事を子育てしている母親などに割り当てれば、お金の不安がすこしは軽減されるし、社会から取りのこされていると感じることもないし、仕事することで子育てのストレスが発散されるなど一石三鳥の効果があると思う。
- 子どもを連れての公共交通機関の利用のハードルが低くなるといいと思う。親切な人もたくさんいますが、嫌な顔をする人いじわるをする人(わざとぶつかってくる人など)がいるので、利用するのをためらうし不安になる。
- 育児をしながらフルタイムで働いている。働きながら子育てする上で業務量を調整できたり、職場への育児への配慮や理解したりと、浸透しつつあると思う。しかしながら、体感として40~50代以上の男性労働者で育児経験は乏しい印象がある。そのため、育児中では残業できない、帰宅後も家で業務に関わる調査、持ち込み残業をする余裕はないのだが、そのことで仕事での評価が良くないと感じている。負い目を感じる。実状は子育てしながら働きやすい環境にはなっていない。札幌市には企業や団体に対して、「育児と労働を両立することがいかに大変か」、理解を促して欲しい。

一時預かり（病児・病後児保育以外）

- ファミリーサポートセンター事業に登録しており、これまで利用したことはないが、いつでも子どもを預けられる場所があるのはとても心強いと感じている。近隣の保育園の一時預かりにも登録したが、1日に預けられる人数が決まっておりに希望が叶わないことも考えられるため、保育園などの施設でもいつでも気軽に子どもを預けられる体制が整えられるようになればいいと感じる。
- 一時保育受け入れ可能施設のアクセスが悪く、車が無い家庭は通うことも難しい。かろうじて行ける距離であった豊平区の自宅近くの保育所は、保育士の不足により受け入れ不可と言われた。中央区の一時保育を申し込んだが行くだけで大変なうえ、受け入れ可能枠は争奪戦である。アクセスのいい場所に受け入れ可能施設がないと使用が難しく、通院等もできない状況である。
- 一時保育を預け安くして欲しいです。場所を増やす、ネットで予約できるようにする、価格を安くするなど。
- 育児支援ヘルパーさんを利用するにあたり、補助金が出るとありがたいです。月に一度、1日3時間でも嬉しいです。
- ちあふるが全区にあるが、一時保育の枠があまりに少なすぎて、すぐに枠が埋まってしまう。希望日2週間前の応募開始日の朝いちばんに連絡しても予約できず、使えた試しがない。他の保育園も一時保育が使えることは非常に稀で、子どもが保育園に入所できるまでは本当に預け先に苦労した。一時保育の枠を大幅に増やす必要がある。

相談（窓口、保健師・行政等の対応、検診）

- 産後の家庭訪問は結構負担が大きいです。身体測定などがありたく、話を聞いてもらえればいいのですが、プワッと必要事項の説明をされて帰られ、毎回ドッと疲れます。
- 自身が子育てに本当に困っていた時に、相談にのり、具体的かつ現実的な打開策を提案してくれる様な窓口がなかった。また、幼児と就学児の合わせ技の悩みがあっても、窓口がそれぞれ異なる為、同時に相談に乗ってくれる窓口がなかった。相談に行くにも仕事を休まなければいけないことが多く、結局負担が増えるので行けなかった。
- 診断がつかない程度の発育・発達が気になる児童が気軽に、臨床心理士や作業療法士などの専門職に相談できる場や、交流の場がもっとたくさんできてほしいです。発達クリニックを受診することも、予約が取れずかなりハードルが高いので。
- 産後や子どもが小さいうちは、外出自体が大変なため、保健センターやサロンに行くことが億劫になっている。家庭訪問やネットでできることなどを増やすと市のサービス利用の機会が増えてありがたいと思う。
- 乳幼児健診や助産師訪問の際、困っていることを話しても「配偶者や祖父母に頼れないか」と言われたり(頼れるならとくに頼っている)、ファミサポ等の利用案内をされるが利用できるまでの手続きのハードルが高かったりするので、「困っている、限界」の声に、即手助けできるようなスピード感のある支援をしてほしい。

親・子が病気時の託児（一時保育・病児・病後児保育）

- 病児保育、日曜祝日の預け先、長期休暇中の預け先が少ない 日祝が繁忙な職種だが、休みを取るしかない。職場の理解は得られている方だが、忙しいときに休んでいる精神的負荷が多い。仕事と育児の両立は学校が開いている時間に収まる職業でないと難しい。
- 病後児保育施設が少な過ぎる。どうしても利用したい時ですら満員。午前中に熱で呼び出され、そのまま病院、病後児保育の予約をしたのにも関わらず定員いっぱいと言われる。何度か繰り返してその状況だったため、もう利用する気にもなれず 5 年ほど電話すらしていない。せめて学校区に 1 つくらいの割合で作ってもらいたい。
- 病児保育の枠が足りない。産後、仕事に就くことができたが子どもの病欠のための欠勤が多くなりクビになりそうで大変困っている。ファミサポは何の役にも経っていないし、素人に預けるのは不安でしかない。ファミサポ事業よりも公的機関での病児保育の拡充を進めてほしい。
- 子どもが熱を出すなどして急な休みを取得する際、理想としては職場の理解を得て休むことであるが、社会資源として病児保育やベビーシッターをもっと身近なものとして活用できる社会になってほしい。第一子妊娠後、子育てサポートの登録をしたが、手続きの手順など、活用までに敷居が高いと感じた。
- 急な病気の場合でも、できるだけ簡単に預けることができる場所があったらいい。預けるまでの手続き、事前登録、予約等が手間取りすぎて無理に感じる。安心、安全に気軽に預かってもらえる所があると助かる。短時間でもあるとすごく助かると思う。親の病気の場合、病院に行く間だけでも見てもらえるなどあれば助かると思う。

子育て支援等に関する情報

- 4 月から住み始めたので、2 歳前後の支援内容は全く分からない。転入の時に区役所の方から、予防接種の冊子があることを教えてもらえなかったのは残念だった。転入者のための案内はかなり少なかったと思う。
- ウェブサイトがとにかく見にくい。子育てアプリも結局はウェブサイトへの入口になっているだけで、行政サービスの申請ができるわけでもない情報収集機能のみのアプリをわざわざ開いて能動的に見るインセンティブがない。ウェブサイトも PDF が多すぎ。
- 遊び場や無料のサービス、イベントなど定期的に広報やメールなどで情報を流してもらえるとありがたい。自分から探さないとなかなかわからない。家事、育児、仕事、探す時間がなかなかとれない。
- 札幌市の子育て支援のネットで調べても必要な情報や申請方法がわかりにくいし、直接保健センターに行き聞いても人によって散えてくれる内容など異なる。なんなら全く違った情報を教えられたりしました。パンフレットもいいが、紙ペラ 1 枚とかで相談サービスやつかえる制度を教えてほしい。母子手帳もらうときや 1 か月健診のときに配布するとか。
- 市の HP、アプリが使いにくい、見にくいため、インターフェースをもう少し改善してほしい。特に子育てアプリの予防接種表は非常に見にくく、入力もしにくいため他の民間アプリなど参考にして使いやすくしてもらえるととても活用できると思う。

物品・物品購入の支援（ゴミ袋、オムツ、米、牛乳、その他）

- 牛乳とお米券は利用させていただき、ありがたいと思いました。しかし、子育ての段階によって、必要なものやお金がかかるものは違うため、同じ経済的支援であれば、自由度の高い商品券やポイントの方がありがたいとも感じました。
- ゴミ袋の給付ではなく、オムツ引換券やベビー用品店で使えるクーポンを支給して欲しい。ベビーカーやベビーベッドなど揃えなければいけないものが、少しでも手軽に手に入るようにしてほしい。
- お米・牛乳子育て応援事業はとても助かりました。経済的に厳しいので、給付金や経済的な支援やおむつ・ミルク・おしり拭き…等子育てで必須の消耗品などがあったら助かるなど思いました。
- 我が家は双子ですが、札幌市から頂いたゴミ袋はあっという間になくなりました。今はオムツが外れるのが遅くなっていると聞きますが、我が家もまだオムツです。ゴミ箱はあっというまにパンパンになります。ゴミ袋が高すぎて買う度小さなストレスが貯まります。また、子どもがいるとゴミはどうしても増えます。大きさはおまかせするのでどうかゴミ袋の配布を子育て世代にお願いできないでしょうか。半額補助券などでもありがたいです。
- 子どものいる世帯にお米券配布などがあるがお米・牛乳と限定するのではなく食品全般に使えるクーポンにして欲しいです。